

財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成8～11年度）

「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点  
を克服するための指導法の開発」に向けて  
— 学習者の意識調査とその考察 —

英 語 小 委 員 会







財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成 8 ～ 11 年度）

「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点  
を克服するための指導法の開発」に向けて  
— 学習者の意識調査とその考察 —

英 語 小 委 員 会







## ●はしがき

言語教育振興財団は言語教育に関して研究開発を行う小学校、中学校、高等学校、大学、教育研究団体等に対して研究助成を行い、その研究成果の普及をはかり、わが国の言語教育の振興に寄与することを目的としている。言語科学や教育研究に対する助成は今日にいたるもきわめて少ないから、この財団による研究助成はきわめて有難いことといわねばならない。

本財団は平成8年度と9年度の2年間で「コミュニケーション能力をはかる音声言語に関する教材または指導法を開発する。そのために国語教育、外国語教育、日本語教育の3分野が共同して研究を行い、相互の関連性を明らかにし、それを基にそれぞれの分野における指導の改善に役立てる」ことを目指した共同研究委員会を発足させた。このことは、また大変有意義なことである。というのは、わが国の言語教育はそれぞれが熱心に研究、実践をするが、各言語を横断的に越えて共同で研究する傾向はほとんどない。英語の教師は国語教育については無関心の人が多く、日本語教育についても同じことがいえる。同じ言語教育の分野での比較、共同研究は他の世界のこともわかるが、自己の分野の発見にも通じるもので、新しい展開をみせることにもなる。この呼び水になるのが言語教育3分野の共同研究への助成であり、研究チームの共同研究である。

さて、このなかで英語部門をもつ英語小委員会は「生徒・学生のコミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発」について研究をすることになった。まず、生徒・学生の内面の学習動機を失わせる原因として、彼らの情意面での問題だけでなく、学習の場面である教室での授業法、学習形態にあるのではないかという仮説がなりたつのではないかと考えた。

そこで、アンケートをとる対象を中学生、高校生、大学生とし、「英語の授業全般について」18問、「学習の目的・到達目標などについて」9問、「英語での自己表現について」3問、「教室（人前）で話をするについて」3問、「言語活動全般について」2問、計35の質問に厳選して調査を依頼した。

調査にご協力いただいた方は中学校892名、高等学校1134名、大学1123名、計3149名であった。その結果は以下のように集約できる。

1. 教員が授業改善の努力をしているにもかかわらず、依然として単調な授業や分かりにくい授業を指摘する生徒・学生が多い。
2. 実用英語の授業が「実際の役に立ちそうにない」と考える回答者が、中学、高校、大学と進むにつれて増加するが、この傾向は特に大学女子で著しい。



3. 英文解釈や文法を嫌う傾向には性差が見られ、特に高校女子が強い。
4. 英語を学ぶ意味や動機付けは、男性の方が消極的である。
5. クラス・サイズが10人になると、クラスでの発言への抵抗を感じる回答者が急増する。その一方で、発言への抵抗はないにもかかわらず発言する意欲がわからないという回答者も全体の約25%にものぼり、この傾向は特に男性が強い。
6. 国語と英語の関係について、2つの科目に共通点を感じないという回答者が全体の3割近くおり、特に高校期にもっとも多い。
7. 英語では語彙力と表現力とを結びつける傾向が強いが、国語では読解力との結びつきも強い。

以上に示されるように、結論的にまとめていえば、興味が持てる内容や教材を用い、性差も考慮しながら動機付けを高めてより実際の役に立ちしかもよくわかる授業をすることが、教える側に与えられた課題だといえよう。これは、厳し過ぎる注文であるかもしれないが、生徒・学生の教師や授業に対する視線は想像以上に鋭いことは、本調査結果からも明らかである。

終わりに、ご多忙にもかかわらず、このアンケートにお答えいただいた生徒・学生諸君に感謝するとともに、その労をいとわずご協力くださった諸先生にあつくお礼を申し上げたい。

本研究は表題にあるような研究の第一歩にすぎない。しかし、国語部門、日本語部門の研究成果をも勘案しつつ、このアンケートの分析を十分におこない、学習者の英語コミュニケーション能力を育成するための教授法、学習法についてより一層の知見を得られるようにつとめたい。

英語小委員会代表 小 池 生 夫  
(明海大学教授、大学英語教育学会会長)



# 目 次

● はしがき	iii
I 研究・調査の計画	1
1 共同研究の経緯	3
2 研究テーマ	4
3 調査方法	5
(1)英語小委員会の構成	5
(2)調査用紙の内容および構成	5
4 調査実施の方法	7
5 データの処理について	7
6 調査依頼先	8
II アンケート結果と分析	11
英語の授業全般について (Q1～Q10)	13
学習の目的・到達目標などについて(Q11～Q15)	36
英語での自己表現について (Q16)	45
教室(人前)で話をすることについて(Q17)	48
言語活動全般について (Q18、19)	51
III 全体を通して	55
IV 資 料	65
1 アンケート用紙	67
2 アンケート結果データ	73
● あとがき	113





## I. 研究・調査の計画





## 1. 共同研究の経緯

本研究は平成8～11年度の言語教育振興財団（光村図書出版）の助成金研究事業である共同研究の一部である。この共同研究は国語小委員会、日本語小委員会、英語小委員会と財団委員で構成された共同研究委員会で行われた。この冊子は英語小委員会の研究をまとめたものである。

平成7年10月27日に第1回の共同研究委員会が開かれ、3つの小委員会の全てのメンバーが集まり、共同研究の意義や各分野の現状と問題点などが話し合われた。

なお、共同研究委員会発足時のメンバーは以下の通りである。

### 財団委員

熱海則夫（昭和女子大学教授）  
倉澤栄吉（日本国語教育学会会長）  
小池生夫（大学英語教育学会会長）  
西尾圭子（国際日本語普及協会理事長）  
西池和巳（光村図書出版顧問）  
紀伊萬年（光村図書出版英語部長）

### 国語小委員会

倉澤栄吉  
森久保安美（前産能大学教授）  
深澤完興（山梨県昭和町押原中学校長）  
桑原隆（筑波大学教授）

### 英語小委員会

小池生夫  
醍醐路子（杉並区済美教育研究所副所長）  
志村修司（都立立川高等学校教諭）  
高本裕迅（白百合女子大学助教授）

### 日本語小委員会

西尾圭子  
カッケンブッシュ寛子（国際基督教大学教授）  
鮎澤孝子（国立国語研究所言語教育部部長）



国語教育、日本語教育、英語教育はそれぞれ分野は異なるが、いずれも言語教育という点で共通している。しかし互いに情報交換をしたり、互いに補い合って教育するようなことをこれまであまり行わなかった。しかし、音声を中心とした言語教育という観点から現状を見ると、今後これら異なる分野が互いに情報交換し、相互に補い合っていけば、もっと効果的な教育ができるのではないかと考えられる。また小学校あるいは中学校から大学までの教育の流れの中での役割を明確にすることによって、さらに効果的な教育ができるのではないかととの考えのもとに、共同研究の運びとなった。

平成7年12月にも共同研究委員会の全体会が再度開かれたが、日本における言語教育の現状や、今後研究すべき各分野の研究課題などについて話し合った。

その後、各小委員会の代表者が集まりさらにその後の日程や事務的な手続きのことなどについて話し合い、各委員会で個別にテーマ設定のための協議をし、代表者がその結果をもちより、互いに関わり合いをもったテーマの設定に向けて努力をした。

## 2. 研究テーマ

日本人が国際的な場で英語によるコミュニケーションができないとか、そのようなことが不得意であると言われて久しい。もっと使える英語を学校で教えるべきであるとか、英語でコミュニケーションができるよう生徒・学生を教育してほしい等の社会の要求に応えるべく、近年学校現場ではコミュニケーション重視の授業が多く見られるようになってきた。しかし、中学校から高校へ、高校から大学へと上級の学校に進んでもコミュニケーションをはかろうという積極的態度や意欲が相変わらず培われず、ともすると低下さえしているという声も聞こえる。そこで英語小委員会はそのようなことが起こる原因としては、基礎的な英語力も問題となるが、それ以上に日本人の持っている人前で話すことに対する抵抗感のような情意面での問題点を生徒・学生がもっていないだろうか、学校やクラスという集団が個人に何らかの影響を及ぼしていないだろうか、また教室における口頭での言語活動が正しく評価されていないために生徒・学生のコミュニケーションに対する意欲をそいでいないだろうか等の問題があるのではないかと考えた。

そこで平成8年2月下旬に英語小委員会では、平成8年度から行われる研

究のテーマを「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発」に決めた。そしてまず、コミュニケーションをしようという積極的態度が養われない問題点を明らかにするために生徒・学生のコミュニケーションに関する意識や態度の実態を把握するためのアンケート調査を実施し、その後にそのアンケート結果をもとにしてコミュニケーション能力の育成を阻害すると考えられる要因はどのようなものであるのかをはっきりさせ、その要因をできるだけ取り除いた指導法の開発を目指すこととした。

### 3. 調査方法

#### (1) 英語小委員会の構成

本小委員会は、次のメンバーによって構成されている。

代 表 小池生夫（明海大学教授、大学英語教育学会会長）

委 員 醍醐路子（杉並区立阿佐谷中学校教頭）

志村修司（東京都立小平高等学校教諭）

高本裕迅（白百合女子大学助教授）

研究協力者 平出 敏（田無市立田無第四中学校教諭）

（平成12年6月現在）

#### (2) 調査用紙の内容および構成

実態調査は、予備調査から本調査へと段階的に実施された。予備調査は、回答者数を中学・高校・大学それぞれの学校段階について100名程度にし、主に調査内容の妥当性をはかるために行われ、その結果に基づき、本調査での質問項目の修正と絞り込みをした。

本調査の質問用紙は、コミュニケーション能力育成上での阻害要因を解明しそれを除去する可能性を探るという本研究のテーマから次のような構成とした。なお、質問への回答法は、問題の内容により、単一選択、複数選択、記述式とした。\*

1) 英語の授業全般について（18問）

2) 学習の目的・到達目標などについて（9問）

---

\* 13ページ以降の各質問事項の後にある（ ）内の略記号の意味は、次のとおりである。  
SA：1つ選択、2LA：2つ選択、3LA：3つ選択、MA：複数選択。

3) 英語での自己表現について (3 問)

4) 教室 (人前) で話をする事について (3 問)

5) 言語活動全般について (2 問)

1) は、次のような下位項目に分けられる。まず現在の授業内容、教材などの観点から、学習者の興味をそいでいる要因を明らかにすることである。中学から大学までの期間に、授業が面白いまたはつまらないと思ったことがあるかを質問し、それらの理由をあげさせている。選択肢として設定した項目は、教員、教材、授業内容やその実用性、クラス発表、受験、教材や授業の難易度など、学習者の興味に影響を与えると思われる様々なものから成っている。

次に、学習者が希望する授業の在り方を尋ね、彼らがどのような領域を重点的に学習したいかを問い、また授業以外での彼等の英語との関わりについて、映画や歌の利用状況、英語雑誌、留学、インターネットや電子メールへの興味についても調査した。ここでは、これまでの英語学習の効果、つまり学習した英語がどのような時に役に立ったかについても尋ねた。

最後に、成績評価についての質問を 3 問設定し、現状での教員の評価法に対する学習者の理解度を把握すると同時に、学習者の評価法への反応と、今後への期待を調べた。

2) においては、「読み」「書き」「話す」「聞く」の 4 技能の内、学習者が向上させたい技能について調査し、彼らの希望する学習目的と到達目標を明らかにしようとした。

3) と 4) は、自己表現に関する調査である。クラスでの口頭発表という形の自己表現を阻害する要因、また自信を失わせている原因を調査するのを目的とした。人前で話すこと自体への抵抗感だけでなく、発表に対して消極的にさせている要因を、文法、発音、語彙その他の理由ともあわせて考えた。

5) は、質問数はわずか 2 問であるが、他の質問とは大きく性質が異なっている。まず、8 項目と 11 項目という二つの項目郡を組み合わせることによって回答するという複層的な構造になっている。さらにこの問題は、英語だけでなく、国語についても全く同一の質問をすることにより、英語と国語の両言語についての考え方の共通点と相違点を探ろうとしている。これにより、他の小委員会との関連性を見出そうという試みである。



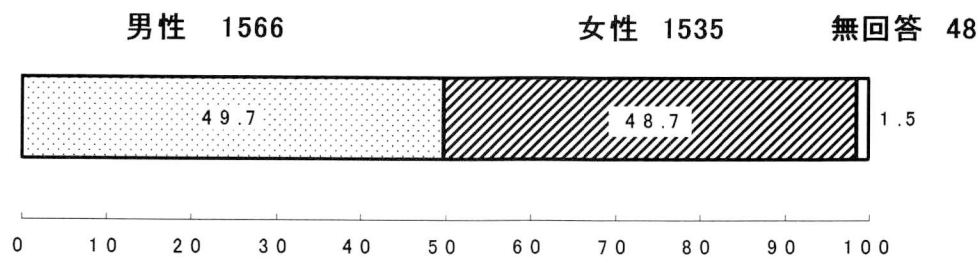
4. 調査実施の方法

予備調査は、平成9年春に、中学・高校・大学のそれぞれについて約100名の回答者に依頼した。その結果にもとづいて修正された本調査は、同年の9月～11月にかけて関東一円を中心に行われた。調査用紙は、あらかじめ調査協力の上承を得ている各学校の教員あてに調査の趣意書とともに郵送され、その教員によって実施された。

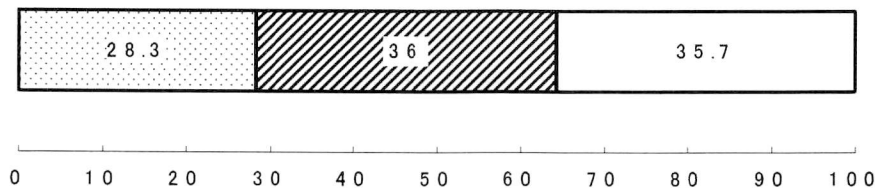
5. データの処理について

本研究の最大の特徴の一つは、中学・高校・大学の3つの学校段階を通し、また性差をも考慮した実態の把握にあるが、回答者の性別、所属、さらに中学・高校・大学の学年別の回答者数は次の通りである。

F1 性別 回答総数 3149

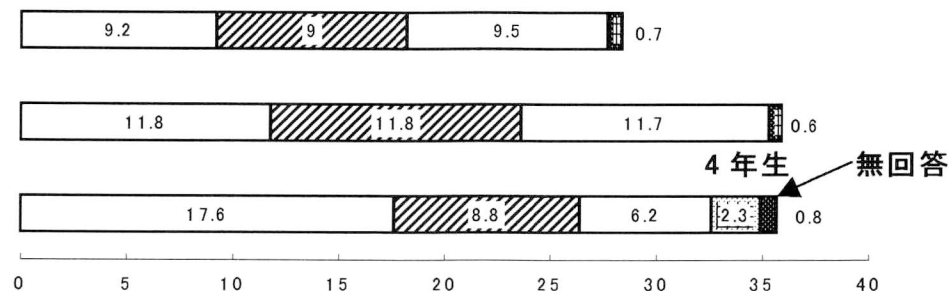


F2 学校段階別 回答総数 3149



F3 学年別 回答総数 3149

所属×学年



回答済みの用紙は、いったん醍醐（中学）、志村（高校）、高本（大学）に返送され、内容の一通りの点検を済ませた後、情報処理機関に入力を依頼し、そこでコンピューターによる入力処理が行われた。入力前に、入力方法についての事前打ち合わせを行った。

データ結果は、性別、学校段階別、学年別に読み取りが可能になっており、これにより様々な傾向の違いを詳細に把握できる仕組みになっている。無効回答の処理については、基本的には削除することにした。

なお本文中のグラフにおいて、各項目のパーセントの合計が0.1%位の過不足で100%にならないところもあるが、これは小数点第2位を四捨五入したために生じたものであることを予めお断りしておく。

巻末に情報処理会社からプリントアウトされたアンケートのデータをそのまま掲載したので、今後さまざまな研究の基礎資料としていただきたい。

## 6. 調査依頼先

お忙しいところ本研究にご協力いただいた学校と先生方は以下のとおりである。ここに深く感謝の意を表します。（先生方の勤務校は、調査を依頼・実施した平成9年9月時点のものである。）

### 中 学 校（順不同）

杉並区立松溪中学校	（平出 敏教諭）
杉並区立神明中学校	（石川史子教諭）
杉並区立宮前中学校	（春日陽子教諭、醍醐委員）
品川区立浜川中学校	（柏木流弥子教諭）
練馬区立開進第四中学校	（大野路介教諭）
板橋区立上板橋第三中学校	（五十嵐克史教諭）
渋谷区立鉢山中学校	（大川さち子教諭）
小金井市立小金井東中学校	（平山正堂教諭）
千葉市立真砂第一中学校	（北條洋子教諭）

### 高 等 学 校（順不同）

東京都立大崎高等学校	（山崎友子先生）
東京都立清瀬東高等学校	（佐藤留美先生）
東京都立神代高等学校	（三橋通弘先生）
東京都立成瀬高等学校	（平山たみ子先生）

東京都立東村山高等学校	(中島和夫先生)
神奈川県立麻溝台高等学校	(岡崎盛治先生)
神奈川県立座間高等学校	(五十嵐雅美先生)
神奈川県立保土ヶ谷高等学校	(滝口正一先生)
埼玉県立熊谷高等学校	(長瀬健一先生)
茨城県立土浦第一高等学校	(倉持正男先生)

## 大 学 (順不同)

明の星女子短期大学	(寺内正典先生)
川村短期大学	(田中実先生)
常磐大学	(川成美香先生)
成城大学	(窪田三喜夫先生)
明海大学	(湯舟英一先生)
中央大学	(木村耕児先生)
国際武道大学	(立山利治先生)
青山学院大学	(田嶋宏子先生)



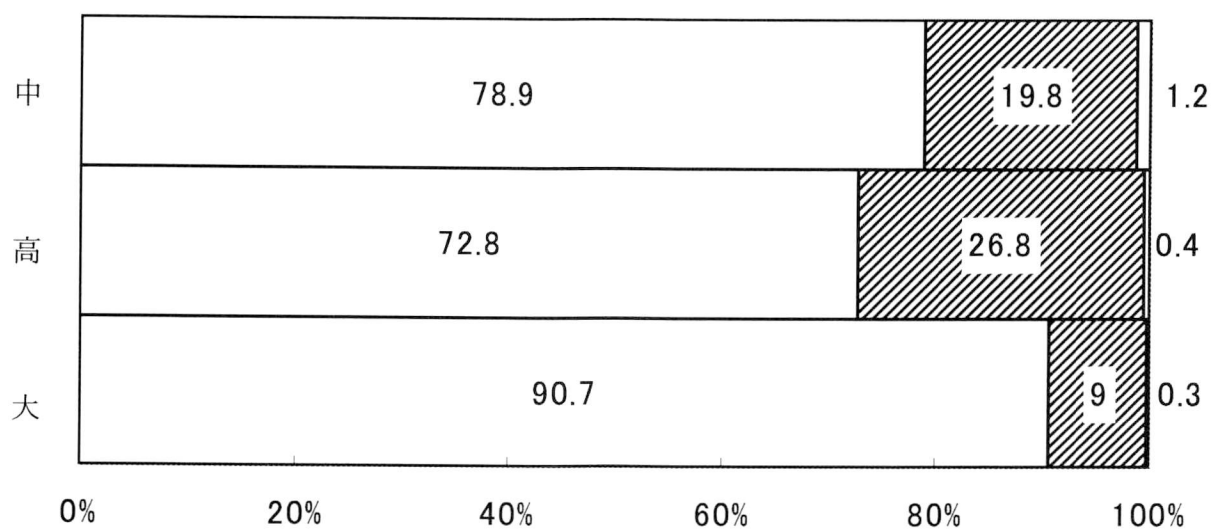
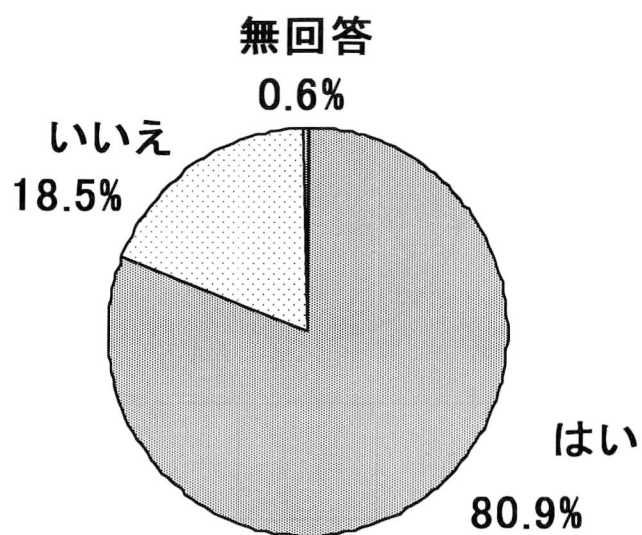


## II. アンケート結果と分析



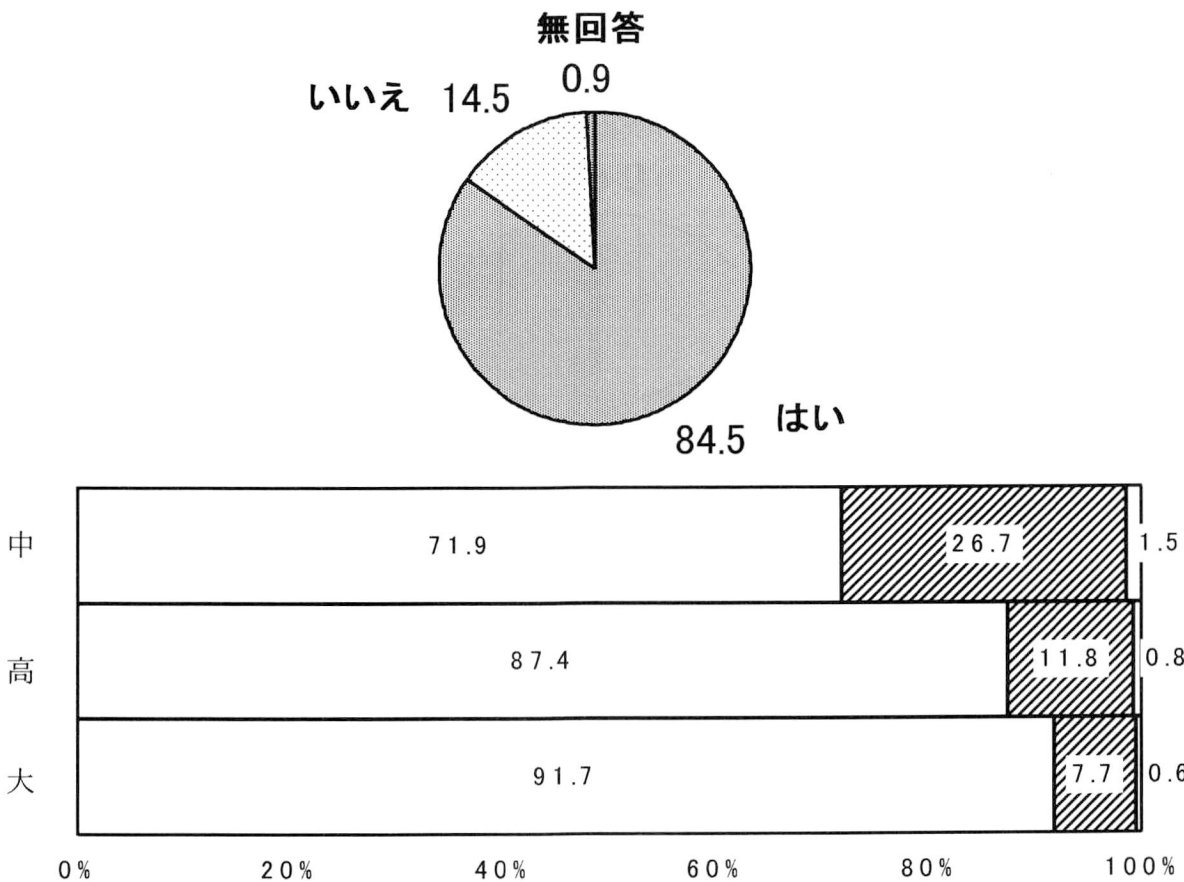
## 【英語の授業全般について】(Q1～Q10)

Q1. いままでに英語の授業がおもしろいと思ったことがありますか(SA) 回答数 3149





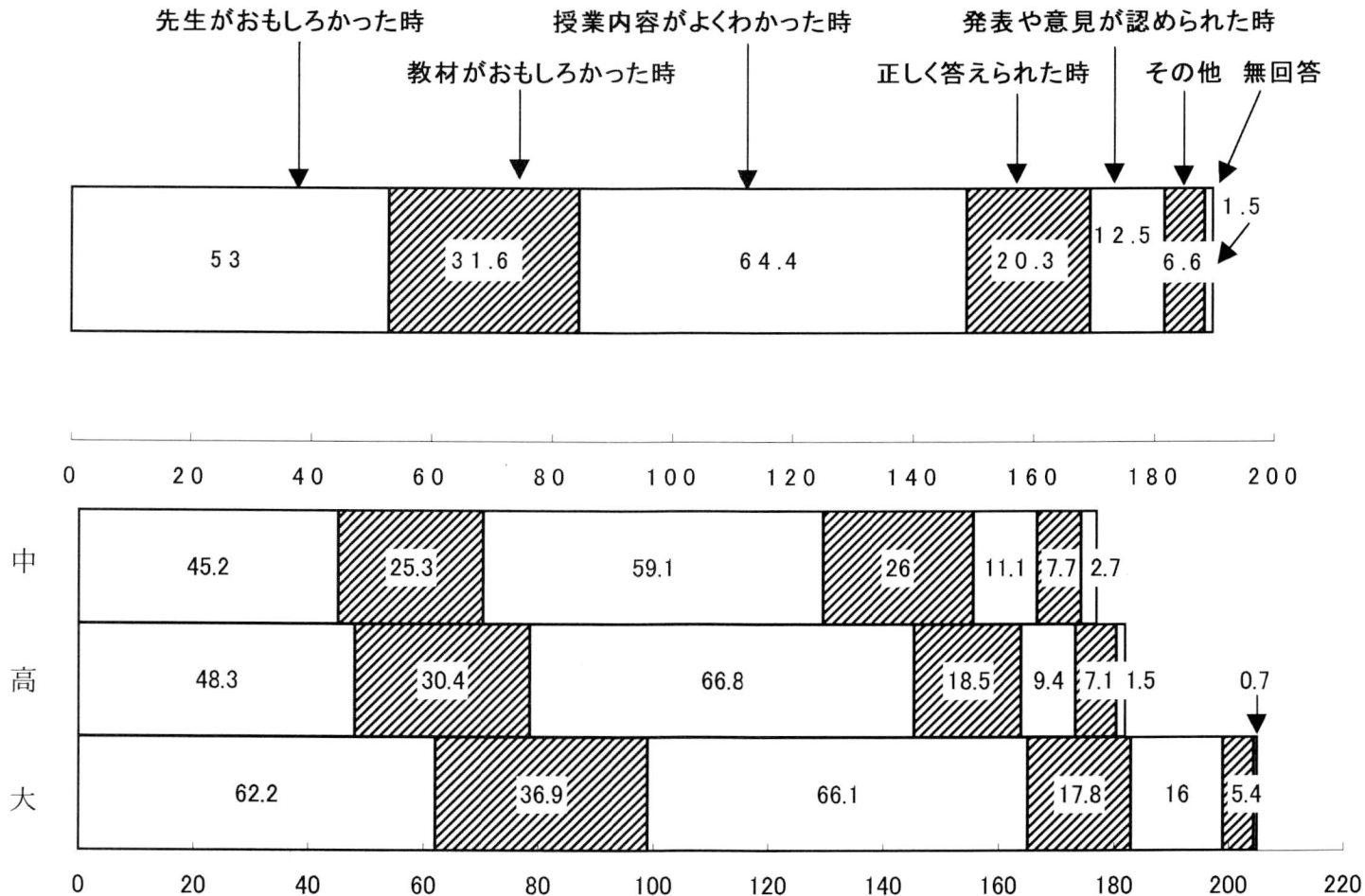
Q2. いままでに英語の授業がつまらないと思ったことがありますか(SA) 回答数 3149



Q1とQ2を比較することにより、英語への興味の全体的な傾向を検討したい。Q1において、いままでに英語の授業が面白いと思ったことがあるという単一選択の質問に対し、「はい」と答えた人が80.9%、「いいえ」が18.5%であり、中学校、高校、大学の間に多数の回答者が面白いと感じた経験を持つ事がわかる。学校段階別では、中学校が78.9%、高校が72.8%、また大学が90.7%となっている。一方で、Q2で「つまらないと思ったことがある」という回答者も84.5%と高い数値を示しており、「面白いと思ったことがある」を上回っている。中学校71.9%、高校87.4%、そして大学が91.7%と学校段階が上がるに従って高くなるが、授業内容が高度になり受験をひかえていることも影響してか、特に高校での大幅な増加が見られる。全体としては、Q1とQ2の両問への回答の比率がほぼ等しいということは、英語が特別に興味を持ってない科目ではないということが言える一方、つまらないという数字が上回っていることから、英語の授業が一貫した興味の持続に十分には答えられていない点も反映されていると思われる。

Q1-1. それはどのような授業の時でしたか(3LA)

回答数 2549

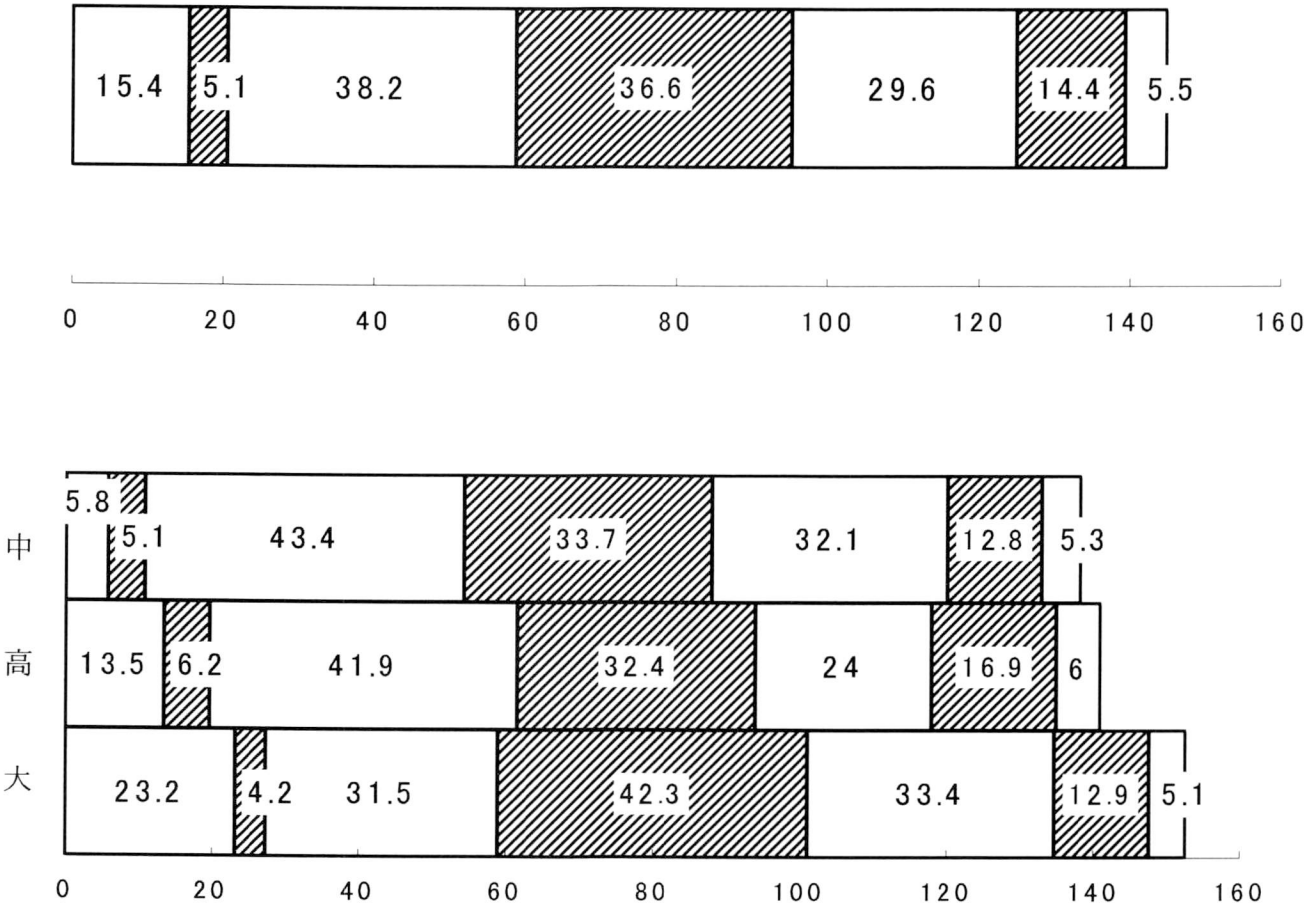


上表の「いつ面白いと思ったか」に対する理由として顕著なのは、「授業がよく分かった」64.4%で最上位で、次に「先生が面白い」53.0%となっている。その一方で、「正しく答えられた時」20.3%、また「発表や意見が認められた時」12.5%に表れているように、自分の「発信」を評価されて面白いと思った学習者が比較的少ないということである。ただ、これらの数字を理解する上で、彼らが単に教材や授業の説明によって「与えられたもの」、つまり「受信」した事柄によってのみ満足感が得られると考えるのは早計で、教材、授業内容、指導法などの点をもっと総合的に判断する必要がある。それは、次の質問に対する答えを見るとよりはっきりするであろう。

Q2-1. つまらないと思った授業内容に関して(2LA)

回答数 2662

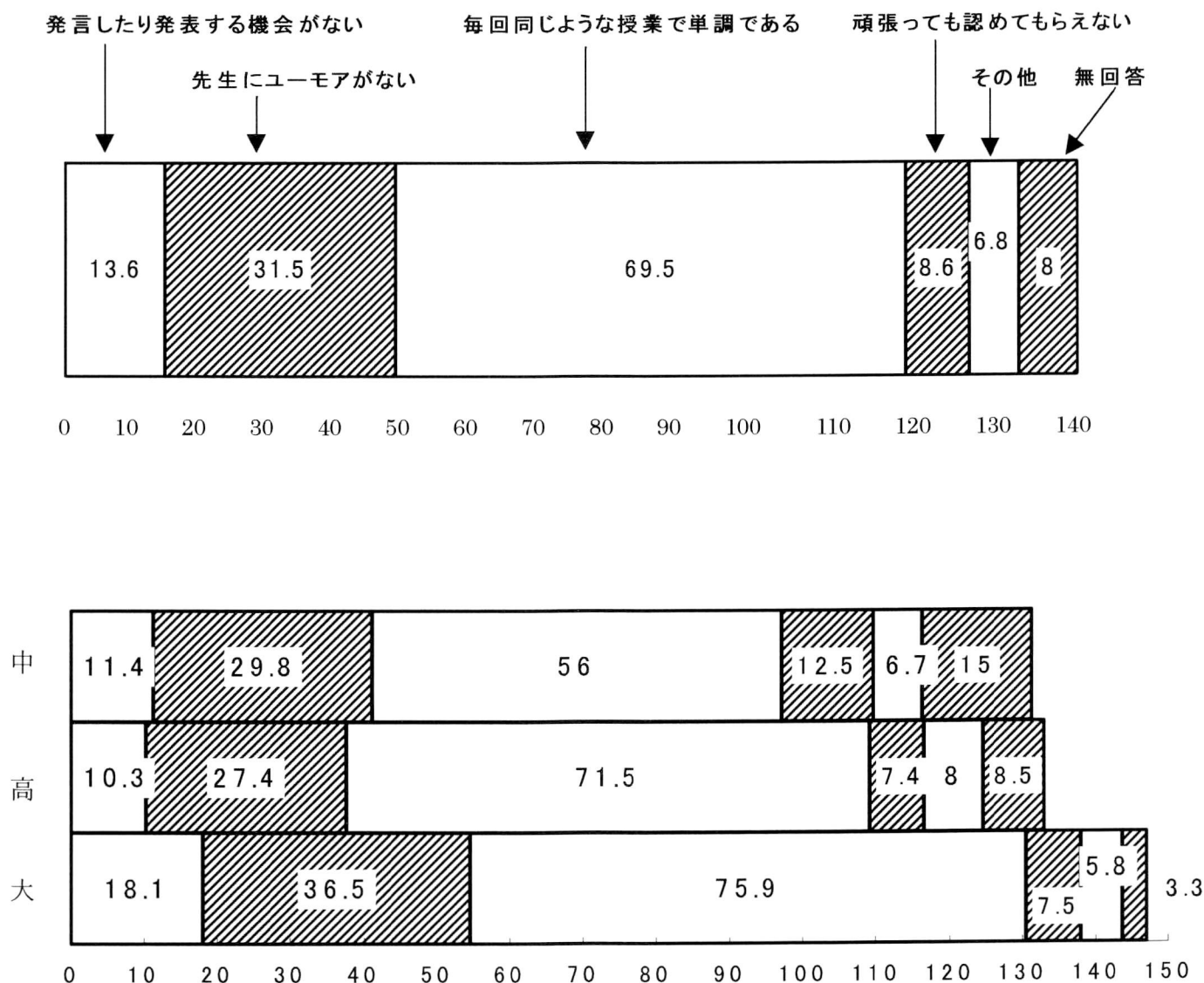
受験のことばかり	受験に役立たないことばかり	難しすぎて授業がわからない	教科書がつまらない	自分の考えが英語で言えない	その他	無回答
----------	---------------	---------------	-----------	---------------	-----	-----



上表において、「授業が難しすぎる」38.2%、「教科書がつまらない」36.6%を裏返せば、興味を持ててしかも分かることが、学習者にとっての面白さとなる。ただ、これらの理由だけでは、面白さを持続させる授業としては不十分であり、他にも考慮に入れるべき事項がある。「教科書がつまらない」という回答が 36.6%と高いが、この原因として挙げられるのが、学生の興味とのずれである。Q2-4の「授業が嫌いになったきっかけ」を参照すると、「英文解釈や文法ばかり」の授業を嫌う回答者の比率が 37.7%と高い数値を示していることから、教材、授業内容、指導法などの点において、必ずしも学習者の希望にそっていないことが分かる。

Q2-2. つまらないと思った授業方法に関して(2LA)

回答数 2662



最も高い数値を示したのが「毎回同じような授業で単調である」69.5%であった。男女間の差は見られなかった（男性 68.8%、女性 70.2%）。また、学校段階別では、どの段階でもこの選択肢は同様に高い数値になっているが、中学 56%、高校 71.5%に対し、大学が最も高く 75.9%であった。これは、ある意味で、中学から大学までの期間にわたって、変化のない授業が継続していることを示していると言えよう。他の質問に対する回答と見比べると、やはり訳読、文法中心の授業の現状がうかがわれ、また学生が希望する「話す、聴く」の実用的な側面とはかなりかけ離れていることも示しており、学年を重ねるごとにその気持ちが蓄積されていくものと考えられる。

Q2－3. いつ頃から英語がつまらなくなりましたか(SA)

回答数 2662

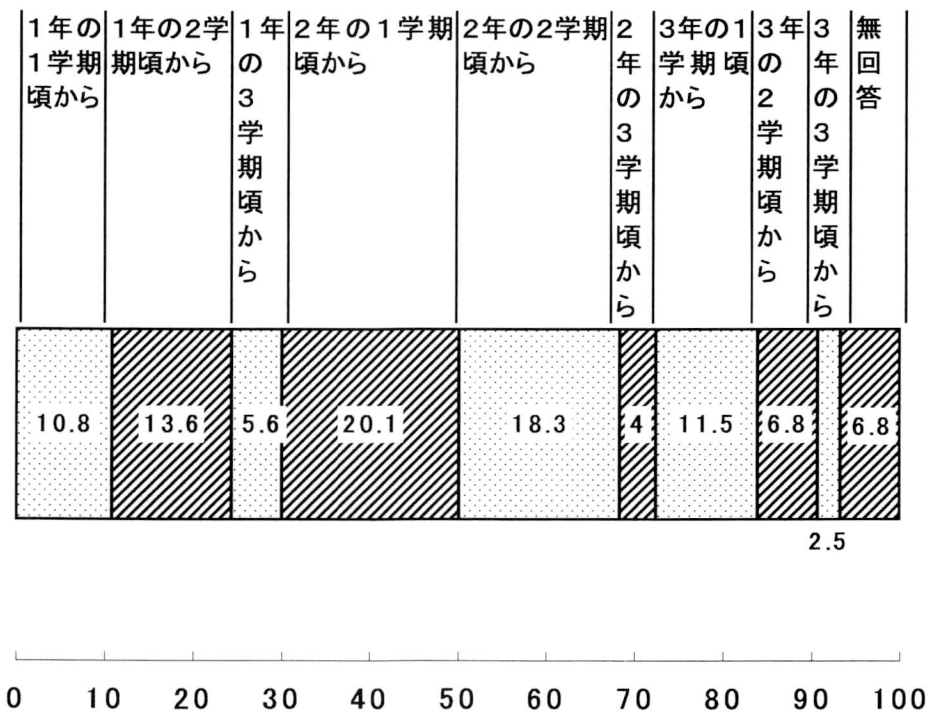
中学校期についての回答は、その時期を終了して間もない高校生の数字が信頼でき（下表の太枠部分）、また高校期以降までを含んだものについては、その時期を既に経ている大学生の回答が信頼できると思われるので（下表の網掛け部分）、それらの時期の数値を取り出して分析をする。

表 1

[中学期について]つまらなくなった時期（中・高・大生の回答）

	該 当 者	1 年 1 学期	1 年 2 学期	1 年 3 学期	2 年 1 学期	2 年 2 学期	2 年 3 学期	3 年 1 学期	3 年 2 学期	3 年 3 学期	無回 答
総数	850 100.0	108 12.7	165 19.4	69 8.1	150 17.6	133 15.6	25 2.9	76 8.9	38 4.5	12 1.4	74 8.7
中 学 生	323 100.0	51 15.8	90 27.9	38 11.8	52 16.1	41 12.7	6 1.9	18 5.6	4 1.2	－ －	23 7.1
高 校 生	323 100.0	35 10.8	44 13.6	18 5.6	65 20.1	59 18.3	13 4.0	37 11.5	22 6.8	8 2.5	22 6.8
大 学 生	204 100.0	22 10.8	31 15.2	13 6.4	33 16.2	33 16.2	6 2.9	21 10.3	12 5.9	4 2.0	29 14.2

Q2－3[中学期について]つまらなくなった時期（高校生の回答:表1の太枠部分のグラフ）





Q2－3[中学期について]つまらなくなった時期 （大学生の回答:表1の網掛け部分のグラフ）

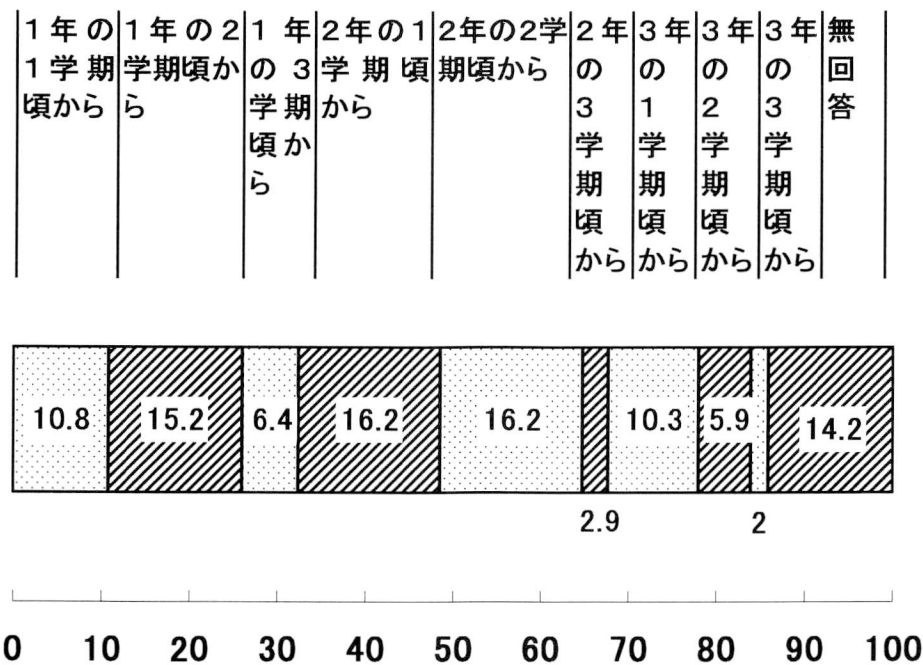


表1で中学時代に英語がつまらなくなった時期を、太枠で囲った高校生の回答で見る。「1年の2学期頃」、つまり内容がやや進んだ頃に数値が13.6%と若干上がっている。そして、「2年の1学期頃から」が20.1%、「2年の2学期頃から」が18.3%といずれも高い数値を示しており、2年の時が要注意の時期でもある。また、3年については、学年の変わり目の「1学期頃から」が11.5%と高くなっている。こういった数値の変化の傾向は、上のグラフで示した大学生の回答とも呼応しており、やはり「1年の2学期」、「2年の1学期と2学期」、そして「3年の1学期」が比較的高くなっている。

表 2  
[学校段階別にみた]つまらなくなった時期 (中・高・大生の回答)

	該当者	最初から	中学	高校	大学入学後	いつのまにか	無回答
総数	2662 100.0	279 10.5	850 31.9	611 23.0	145 5.4	526 19.8	251 9.4
中学生	641 100.0	103 16.1	323 50.4	- -	1 0.2	141 22.0	73 11.4
高校生	991 100.0	118 11.9	323 32.6	281 28.4	- -	181 18.3	88 8.9
大学生	1030 100.0	58 5.6	204 19.8	330 32.0	144 14.0	204 19.8	90 8.7

Q2－3. いつ頃から英語がつまらなくなったか（大学生の回答：表2の太枠部分のグラフ）

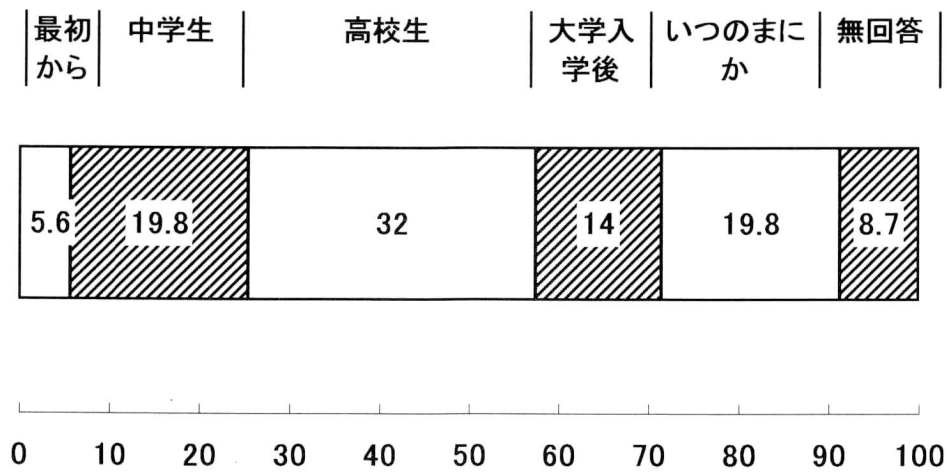
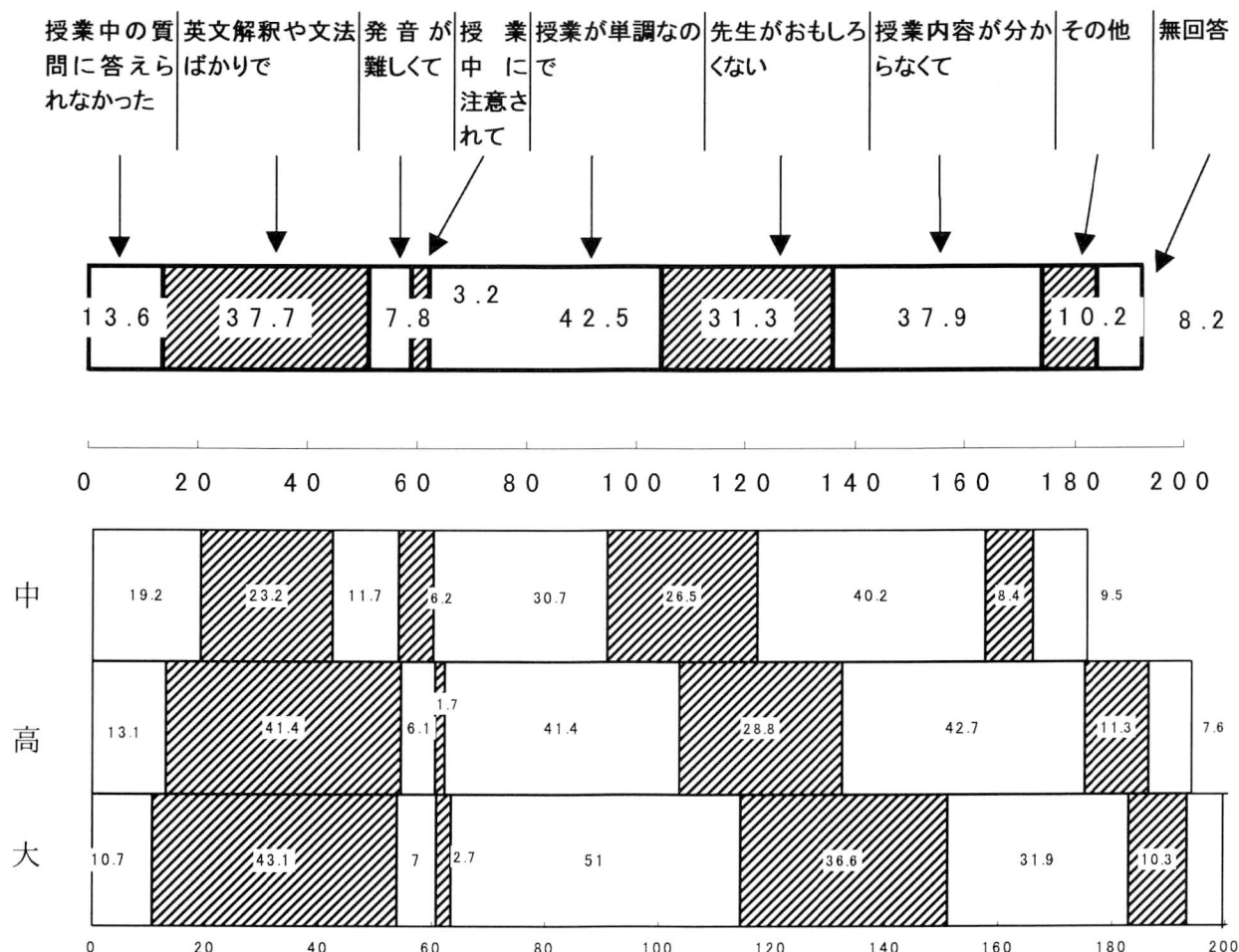


表2の太枠部分の大学生の回答を上のようにグラフ化したが、学校段階別の数値をみると、中学校 19.8%、高校 32.0%、大学 14.0%となっており、高校期に学習の難易度が高くなることと「英語がつまらなくなること」との同調が窺われる。このことから、中学から高校への橋渡しが今後の大きな課題と言えよう。

# Q2-4. どんなきっかけで英語が嫌いになりましたか(MA)

回答数 2662

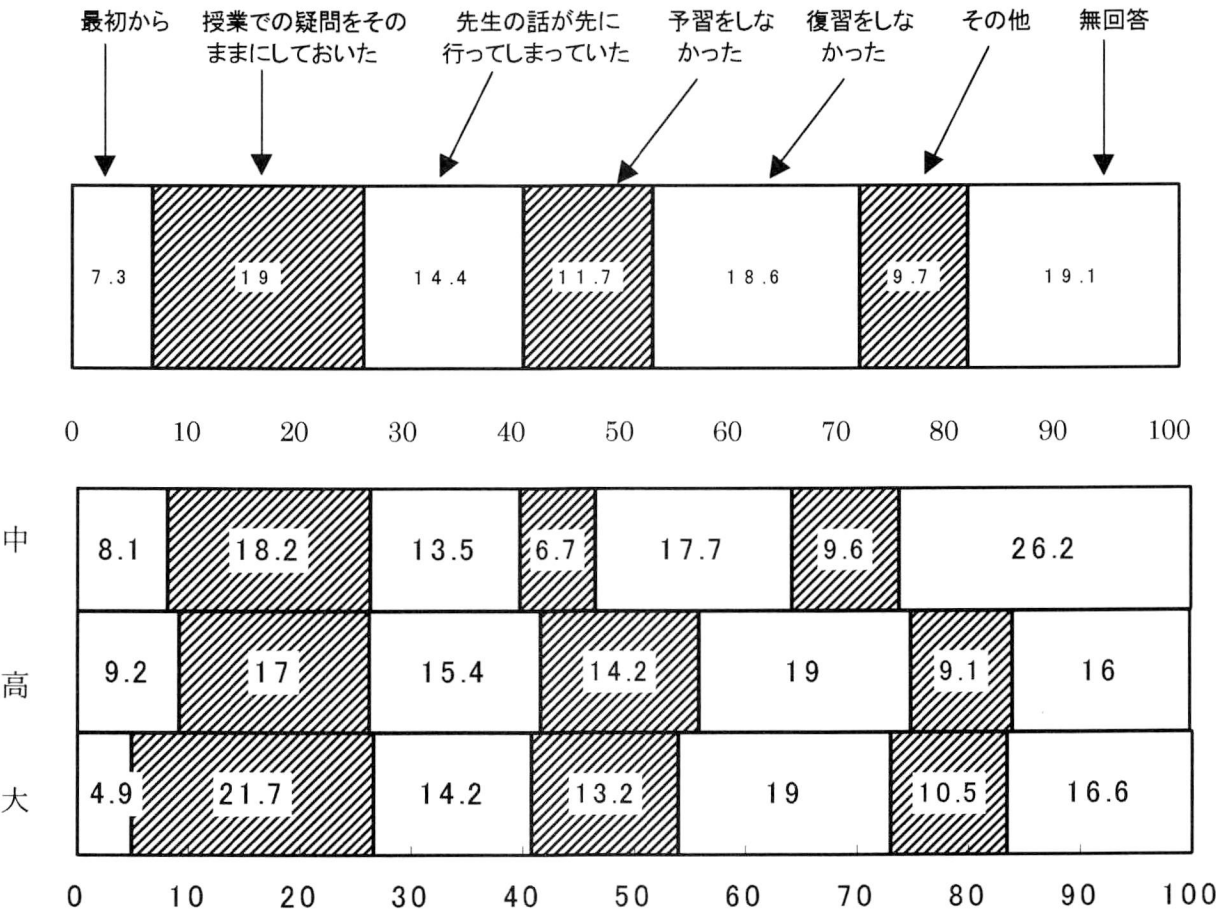


この質問は多肢選択であるが、最も多かった回答は「授業が単調」で42.5%、次いで「授業内容がわからなくて」が37.9%、「英文解釈や文法ばかりで」が37.7%、「先生がおもしろくない」が31.3%の順で高い。学校段階別では、単調な授業に対する不満が最も多いのは大学で51%に上っている一方で、中学では30.7%と比較的低い。また、中学では「英文解釈や文法ばかりで」という不満も23.2%と低いことから、高校や大学と異なり、中学期にはいわゆる知識詰め込み型の授業の負担がまだ軽いこと、あるいは、様々な活動を取り入れた授業の工夫があると思われる。大学では、単調な授業とならんで英文解釈や文法に偏ることへの不満も高いことから、学生の希望するオーラル重視の授業とは遠い文法訳読式の授業形態が多いことが観察できよう。

高校においては、「授業内容が分からなくて」と「英文解釈や文法ばかりで」の二項目間の回答の相関が高く、それぞれの選択肢の男女の数値は、男性37.5% 女性49.4%、男性35.3% 女性49.2%となっている。特に、女性が英文解釈や文法を嫌う傾向が強く出ている。

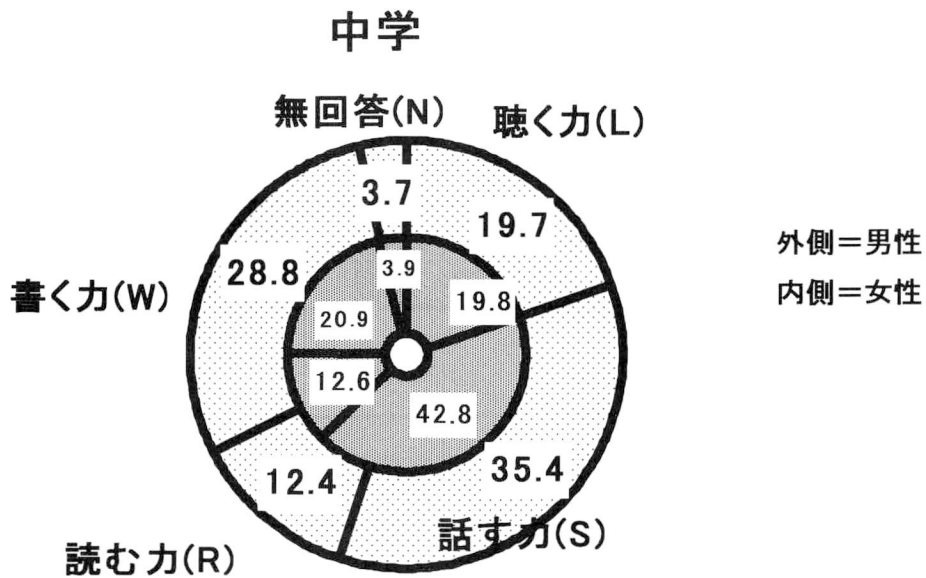
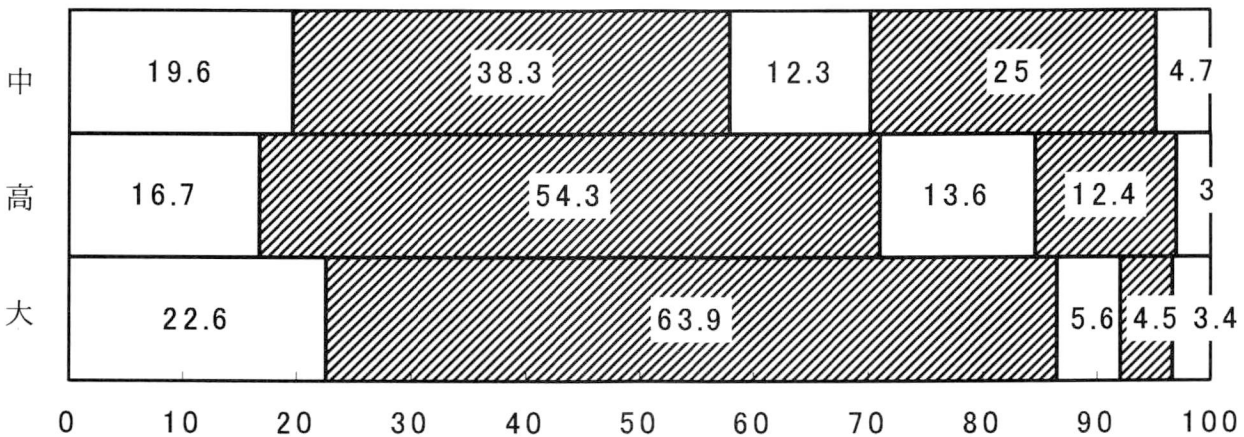
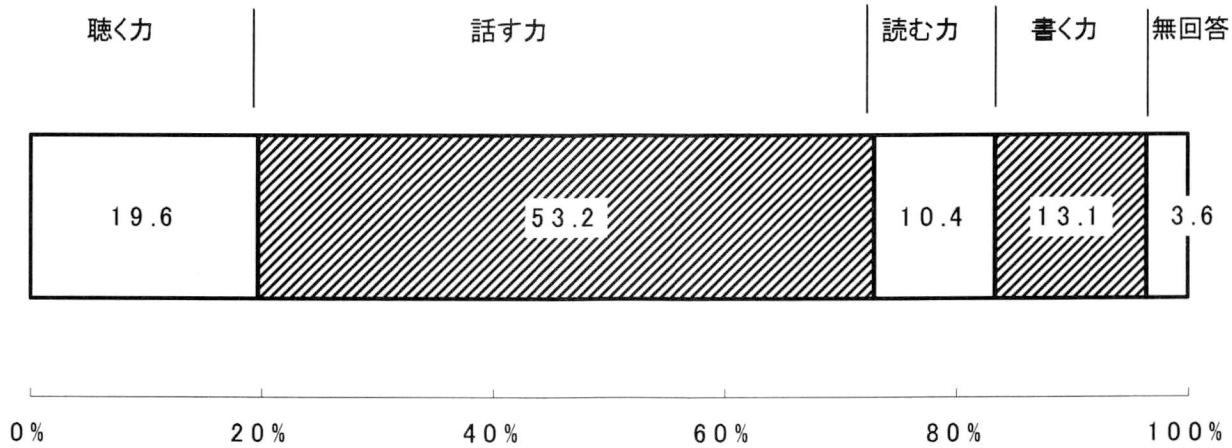
Q3. どんなことがきっかけで英語が分からなくなりましたか(SA)

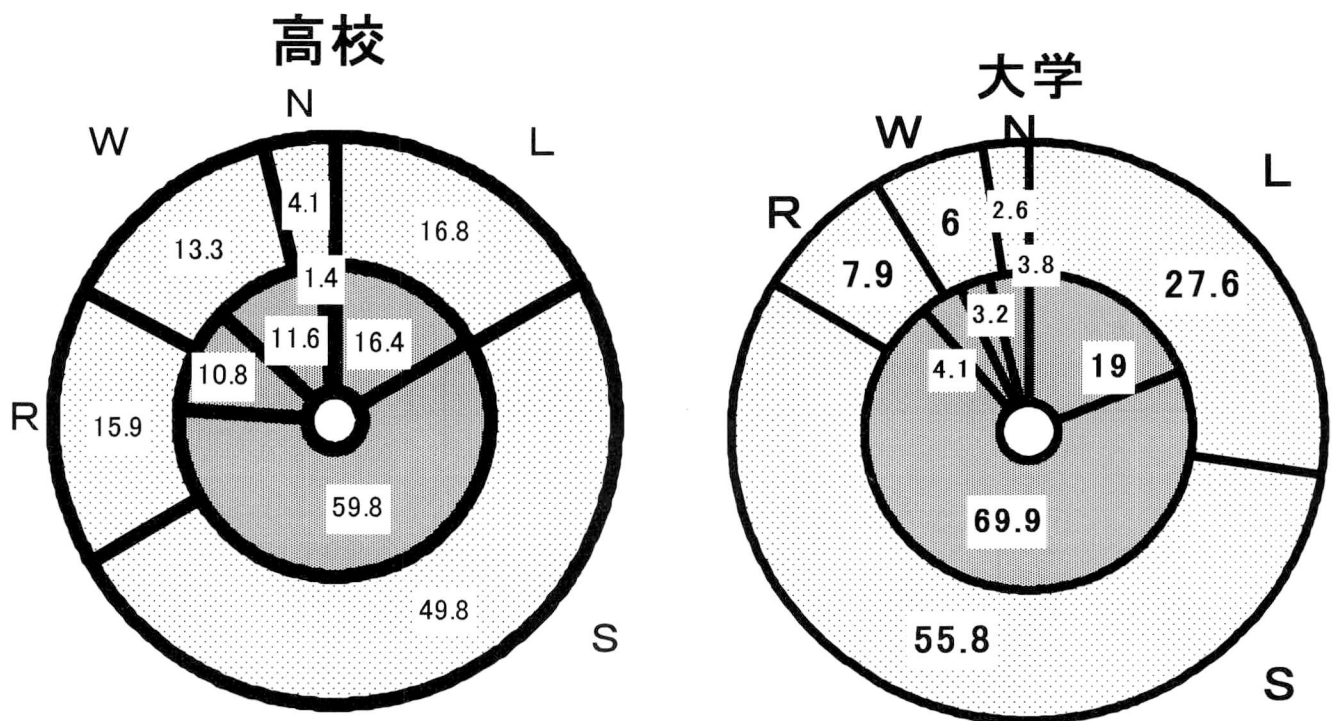
回答数 3149



これまでの質問の回答からも分かるとおり、回答者は概して冷静で客観的に授業を洞察していることが窺われる。つまり、授業内容や方法、また教材選択に関しては、教える側の不足点を鋭く指摘している一方で、自分たち自身の不足点も的確に把握し、それを率直に認めている。「授業での疑問をそのままにしておいた」という回答が最も高い 19.0%を示し、また「復習をしなかった」という者が 18.6%で続いている。授業での学習事項の疑問点を解決し、知識を定着させることの重要性は認識していると言える。ただ、「疑問点を解決しないままにしておく」というのは、他の質問への回答からも窺える通り、学習者のやや消極的な姿勢をあらわしているが、その原因が彼らの消極性だけによるものかは定かではない。また、特定の回答への偏りが少なく、各選択肢に分散しているので、「英語が分からなくなった」ことの要因は様々だと言える。ちなみに、「最初から」を選択した回答者の男女差は、学校段階別で各々中学校男性 10.4% 女性 5.4%、高校男性 10.0% 女性 7.9%、大学男性 7.1% 女性 3.5%となっている。

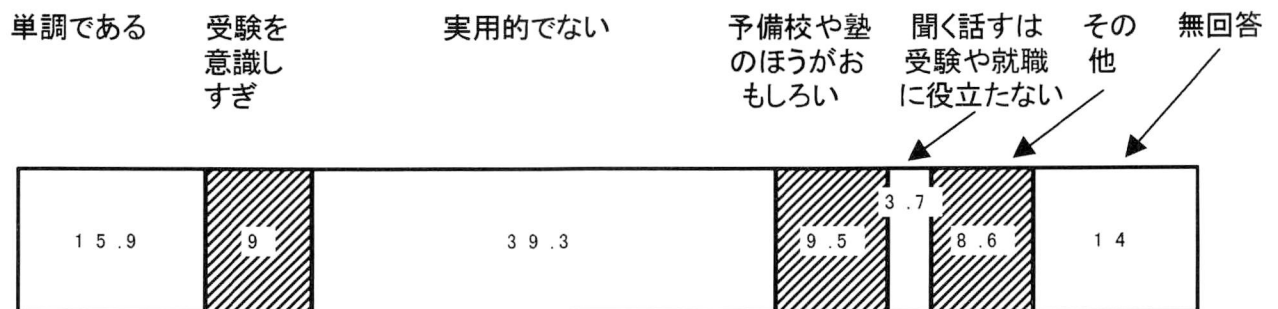
Q4. 現在の英語の授業でもっと重点的にやってほしいことは何ですか(SA) 回答数 3149



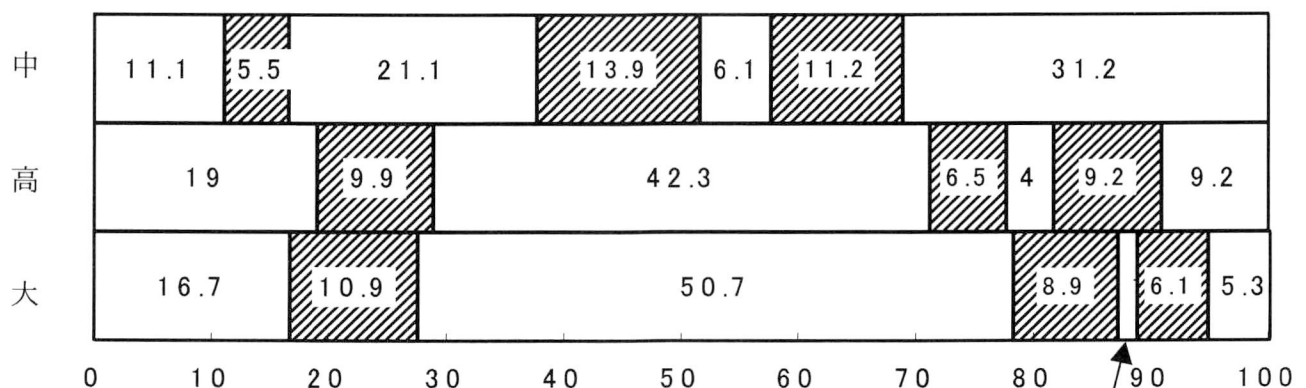


Q5. 英語の授業全般についての不満(SA)

回答数 3149



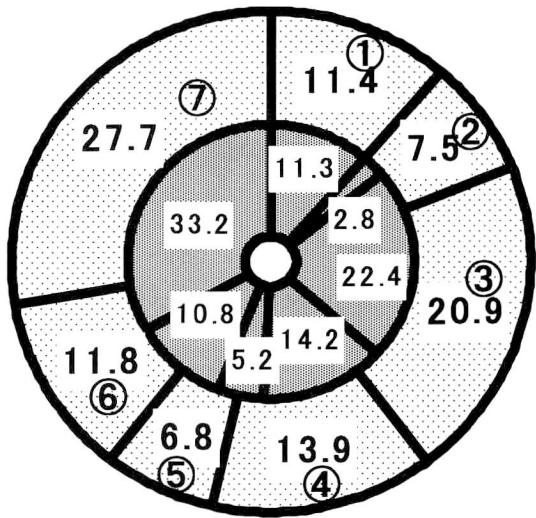
0 % 10 % 20 % 30 % 40 % 50 % 60 % 70 % 80 % 90 % 100 %



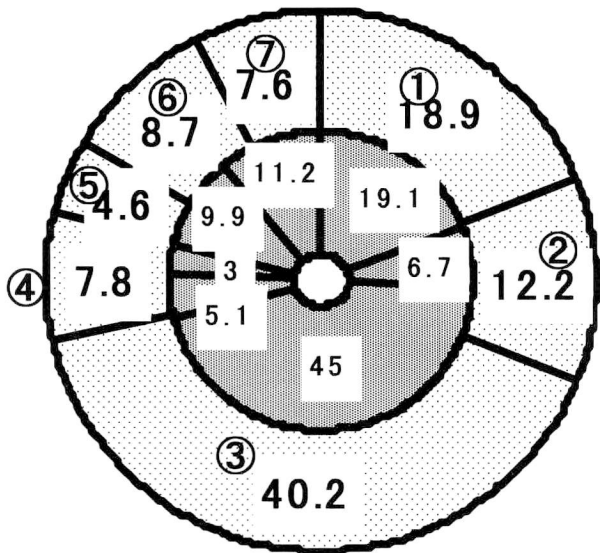


# 中学

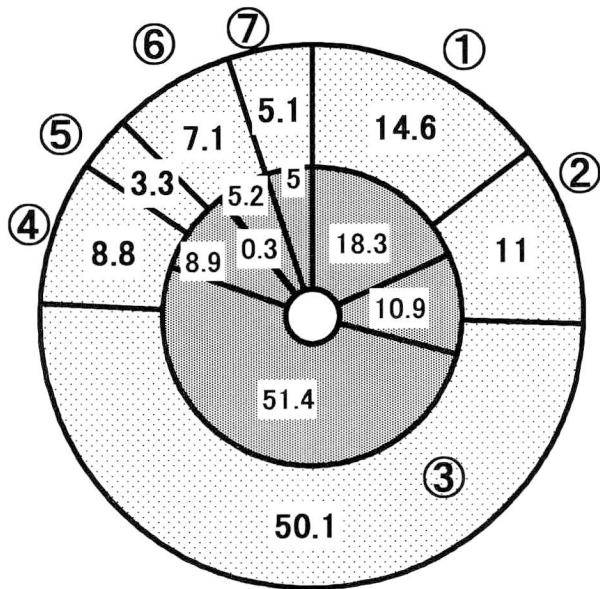
- ① 単調である
- ② 受験を意識しすぎる
- ③ 実用的でない
- ④ 予備校や塾の方がおもしろい
- ⑤ 聴く話すは受験や就職に役立たない
- ⑥ その他
- ⑦ 無回答



# 高校

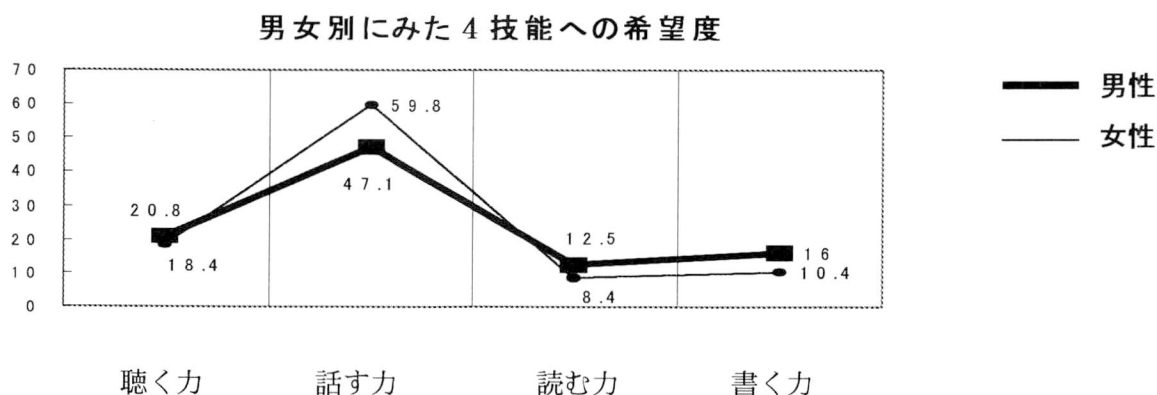


# 大学



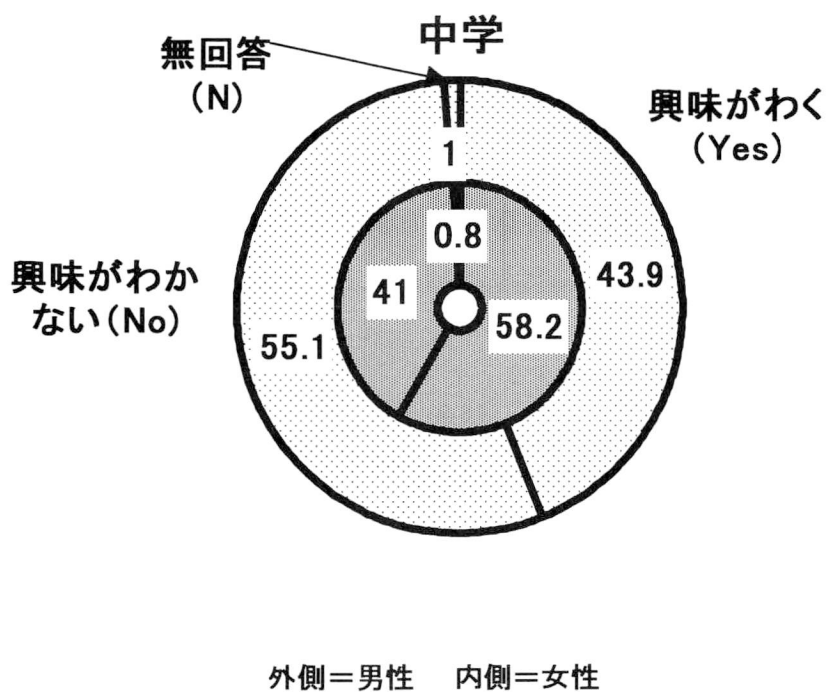
Q5 の授業全般についての不満の第 1 位が「実用的でない」39.3%となっている。これらと、Q4 の「重点的にやってほしいこと」で最高値の「話す力」53.2%とを併せて考えると、いわゆる「読み物」教材に対する希望は低く、やはり文字に依存し過ぎる現状を嫌い、口頭による発信の向上に資する教材を求めていることが分かる。これは、『このままでよいか 大学英語教育』\*の調査結果とも一致している。同書の 162 頁では、文系学科に所属する大学生の 71.2%が「聞くこと・話すこと」を挙げ、第 1 位の回答率となっている。理系の学生の回答は 50.6%とかなり差があるが、それでも第 1 位の比率である。この本において高い数値を示した他の領域は、「自国語から英語への翻訳」、「英語圏の文化や歴史の理解」が高く、特に後者は文系と理系でそれぞれ 23.3%、39.2%となっている。また、英語・英文学科学生の回答で目を引くのが、「文学作品の鑑賞」に対する希望が 4.8%と低いことである。この数値からも、文字依存度が高く実用性の低い領域を嫌い、より实际的な実用英語能力や文化理解の涵養に重きを置いた教材や授業を求める学生の実態が裏付けられよう。

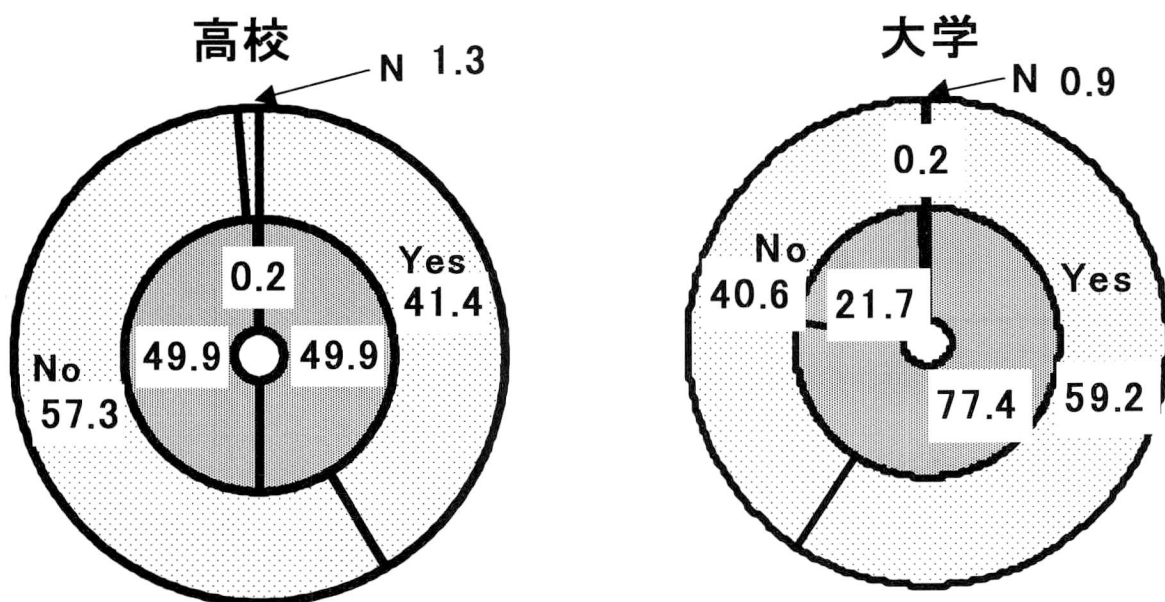
また前述の Q2 - 2 において、「単調な授業がつまらない」という回答が 69.5%と圧倒的に高い数値を示したが、全体的に文字中心の、訳読式の mono-directional な授業の現状が見えてくる。ただ、一点見逃してならないのは、Q1 - 1 で「教材が面白かった時」という回答が 31.6%という、かなり高い数値を示していることであり、学習者の興味を引く教材について今後さらに掘り下げる必要があるだろう。男女差では、下のグラフのように、「聴く力、読む力、書く力」の 3 技能については男性の方が高い数値を示し、「話す力」は女性の方が高くなっている。また、「話す力」が高い数値を示しているのは、学校段階や男女差を問わず顕著な傾向となっている。



\* 1997. 宮原文夫ほか. 松柏社.

回答数 3149





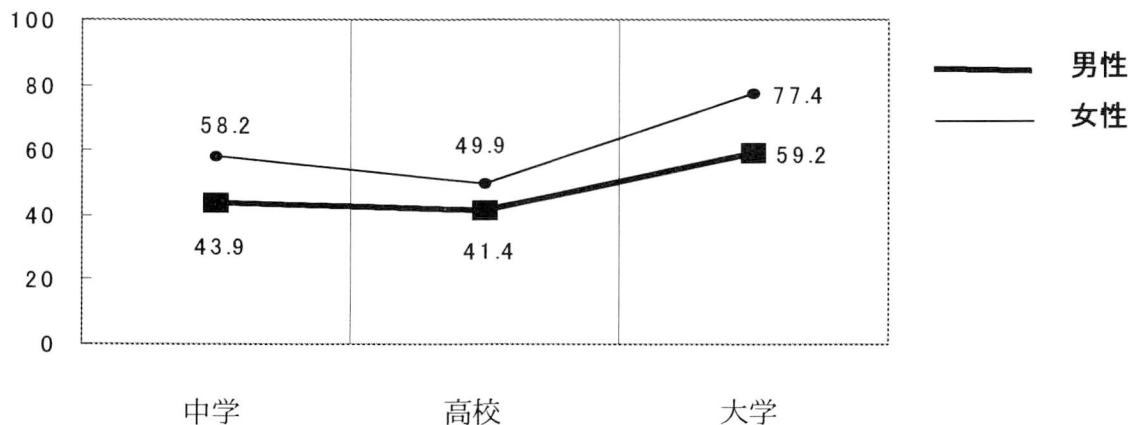
中学生では興味がわく生徒とわからない生徒がほぼ半々である。しかし 55.1%の男子が「興味がわかない」と答え、58.2%の女子が「興味がわく」と答えている。

高校生では「興味がわかない」と答えた生徒が 54.1%と高い。女子は興味がわく者とわからない者が共に 49.9%と同じ数値であったが、「興味がわかない」と答えた男子が 57.3%に上ったからである。

しかし大学生では「興味がわく」と答えた女子学生は 77.4%と圧倒的に高くなる。男子でも興味をもっているものは 59.2%と高い数字を示しているが、女性はそれを大幅に上回っている。

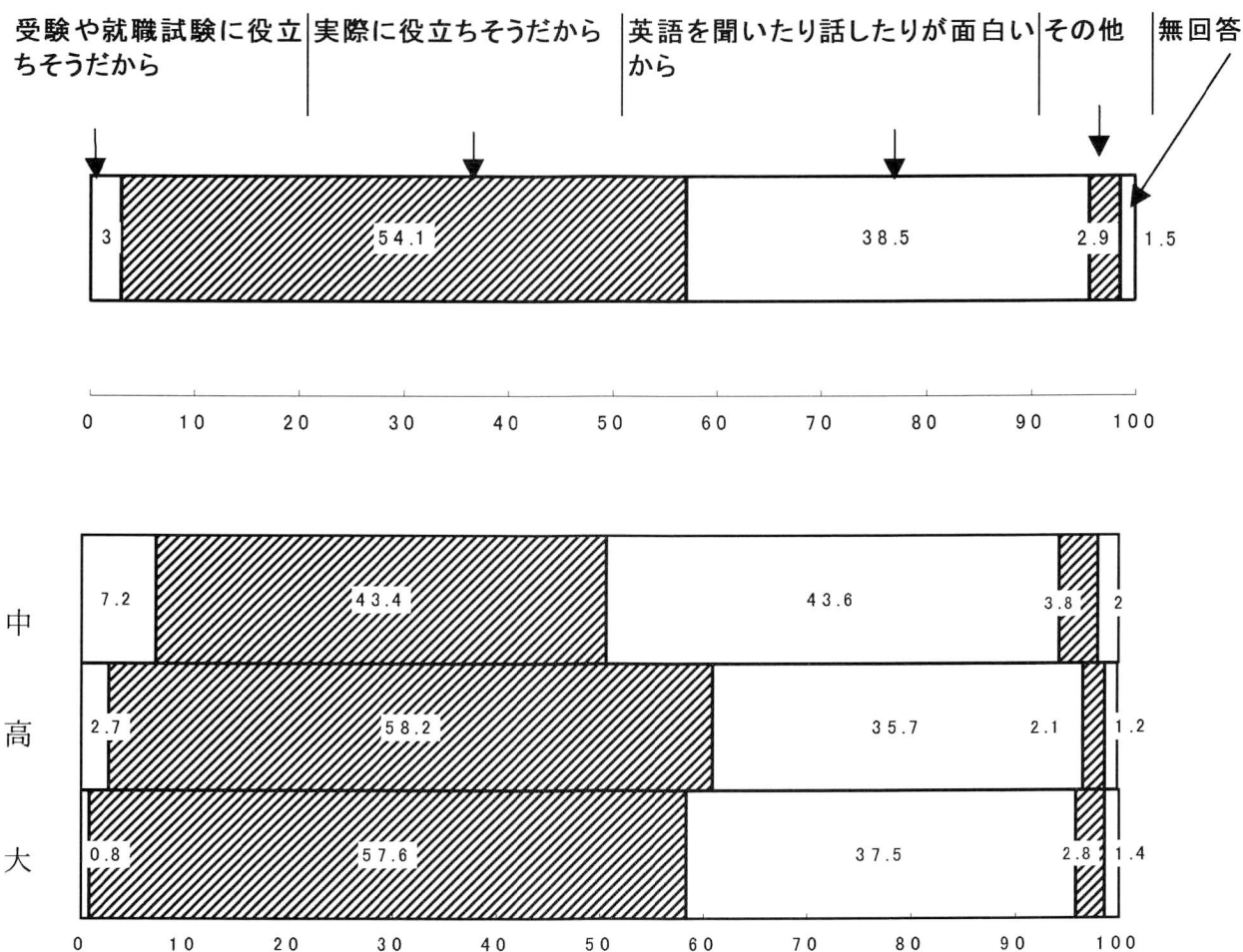
以上のことから言えることは、中学、高校、大学に共通して男子より女子の方が聞き取りや発表・会話練習に興味を持っているということである。回答者全体を見ても、興味を持っている男性 47.3%に対して、女性 63.7%である。(巻末資料参照)

#### 授業での英語の聞き取りや発表・会話練習に興味をわく(男女別、学校段階別)



## Q6-1. どのような理由で興味がわきますか(SA)

回答数 1742



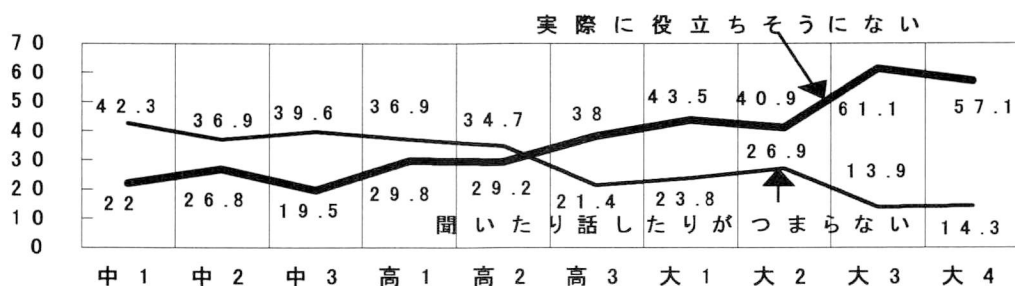
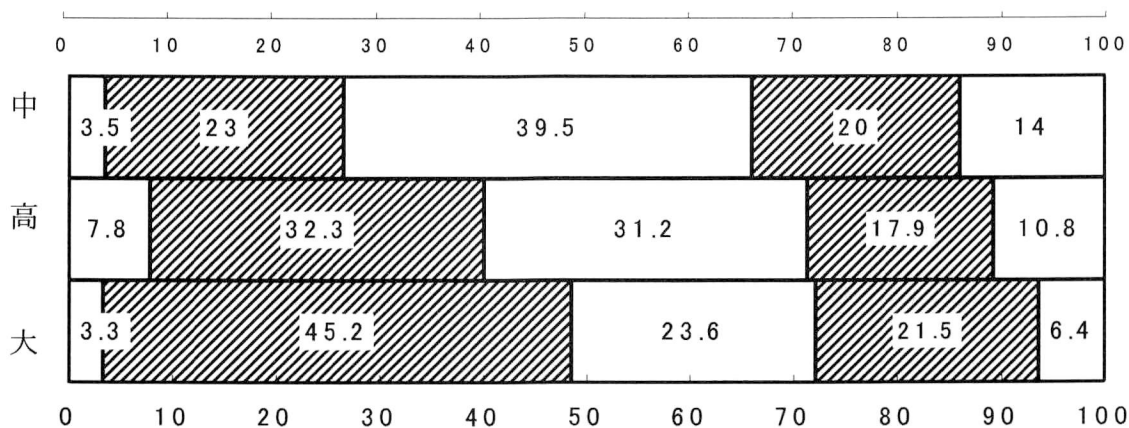
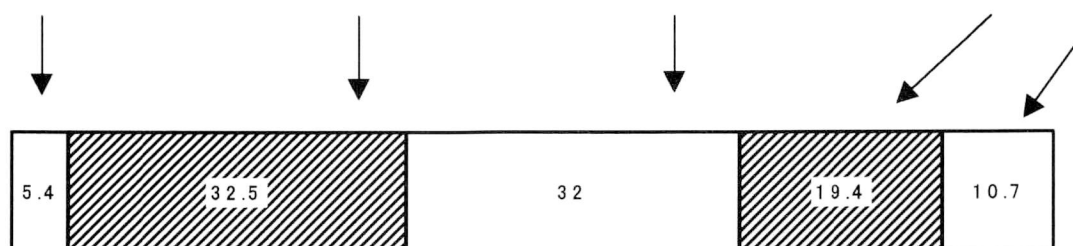
中学生は「実際に役立つそうだから」と「英語を聞いたり話したりが面白い」がほぼ同数(43.4%と43.6%)である。しかし、男子は「実際に役立つそうだから」が47.2%、「英語を聞いたり話したりが面白い」が37.3%であるが、女子は「実際に役立つそうだから」が39.4%、「英語を聞いたり話したりが面白い」49.6%となり男女で数字がほぼ逆転している。男子は実学指向、女子は英語そのものに興味があることを示している。また、中学1年生では「英語を聞いたり話したりが面白い」は57.0%となり、中学1年のときは生徒の6割弱が英語を聞いたり・話したりに興味を持っていることが分かる。

高校生や大学生では「実際に役立つそうだから」が58.2%、57.6%と高く、実学指向となる。また、高校生や大学生の男子では、「実際に役立つそうだから」と「英語を聞いたり話したりが面白い」との差が30%以上あり、女子の10%程度の差と比較すると男子の実学指向は明らかである。

# Q6-2. どのような理由で興味がわきませんか(SA)

回答数 1373

受験や就職試験に役立ちそうにないから | 実際に役立ちそうにないから | 聞いたり話したりすることがつまらないから | その他 | 無回答

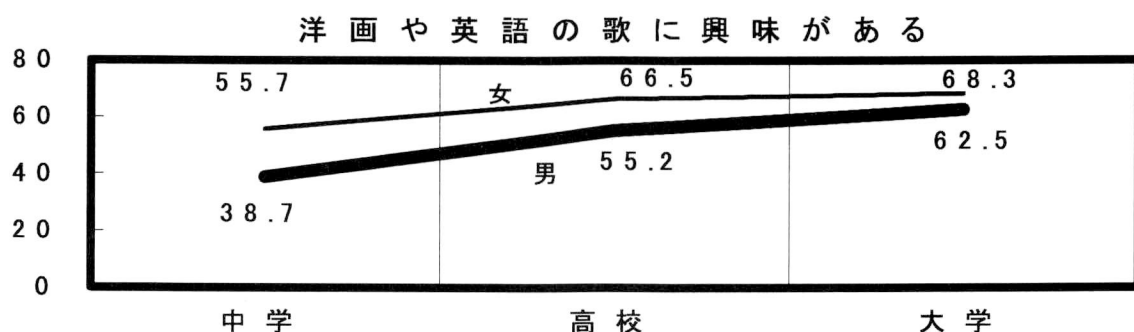
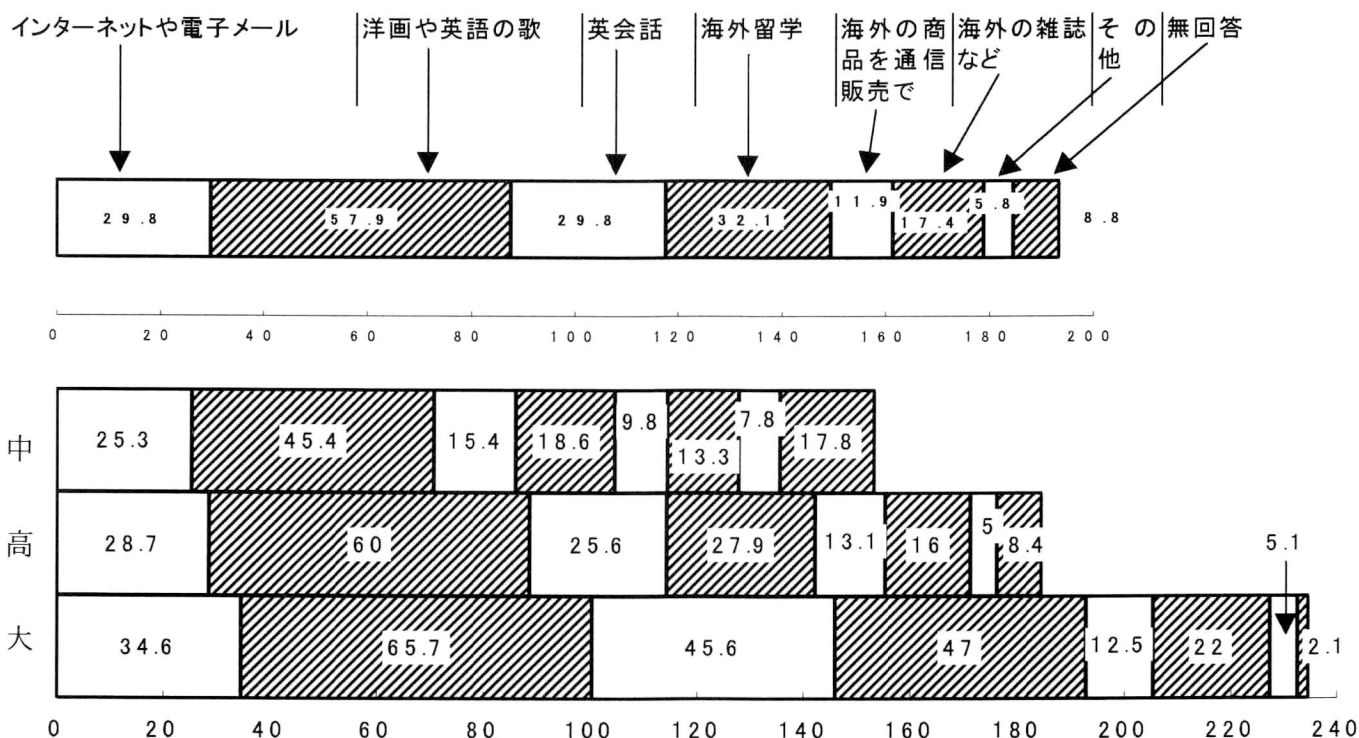


「興味がわかない」回答者全体のうち、「実際に役立ちそうにない」が 32.5%、「聞いたり話したりがつまらない」は 32.0%とほぼおなじである。中学では、「聞いたり話したりがつまらない」が 39.5%であり、与えられた選択肢の中では一番高い。大学では、「実際に役立ちそうにない」が 45.2%であり、現状に批判的な意見が出ている。

中学から大学まででいずれも1位2位を占めるのは、「聞いたり話したりがつまらない」と「実際に役立ちそうにない」であるが、これを学年別に見ると上のグラフのようになる。学年進行に従って「聞いたり話したりがつまらない」が下降し、「実際に役立ちそうにない」が上昇し、高校2年から3年になるところで順位が逆転する。上に行くに従って、教室以外の英語に触れ、より広い視野に立って英語をとらえるようになるため、オーラル授業の限界も感じ取るようになって見ることができよう。

# Q7. 現在、英語に関して授業以外で興味のあることは？(MA)

回答数 3149



「洋画や英語の歌」が全体的には 57.9%と、興味のあることのトップである。そしてこの傾向は、中学生 45.4%、高校生 60.0%、大学生 65.7%と上に行くほどパーセンテージは上がる。また上の折れ線グラフにあるように、男女の差は中学校では男子 38.7%に対し女子 55.7%と差が大きい。しかし、高校生では男子 55.2%に対し女子 66.5%、大学生の男子 62.5%に対し女子 68.3%とその差が縮まっていく。

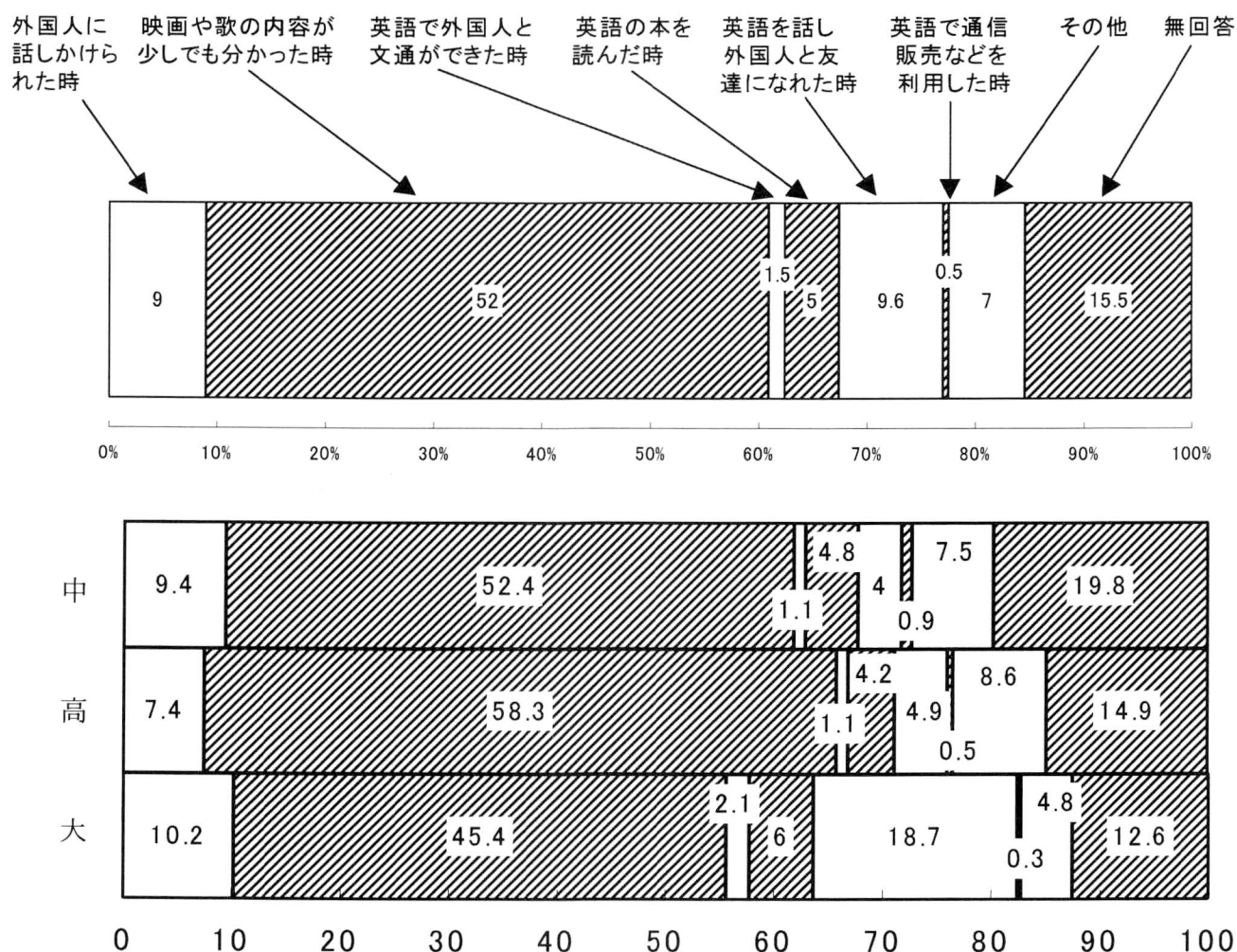
他の項目では、大学生が「英会話」45.6%、「海外留学に興味を持っている」47.0%で大きな数字が出ている。また、インターネットに対する中学生の関心は 25.3%となっており、思ったより高い数字を示している。今後授業の中でどのように扱うかが検討課題である。

また、この質問は複数回答可であり、中学生は無回答が多いが、高校生そして大学生と上に行くに従って興味の幅が広がってより多くの回答を選んでおり、無回答が減っている。



# Q8. 英語をやっていてよかったのはどんな時ですか(SA)

回答数 3149

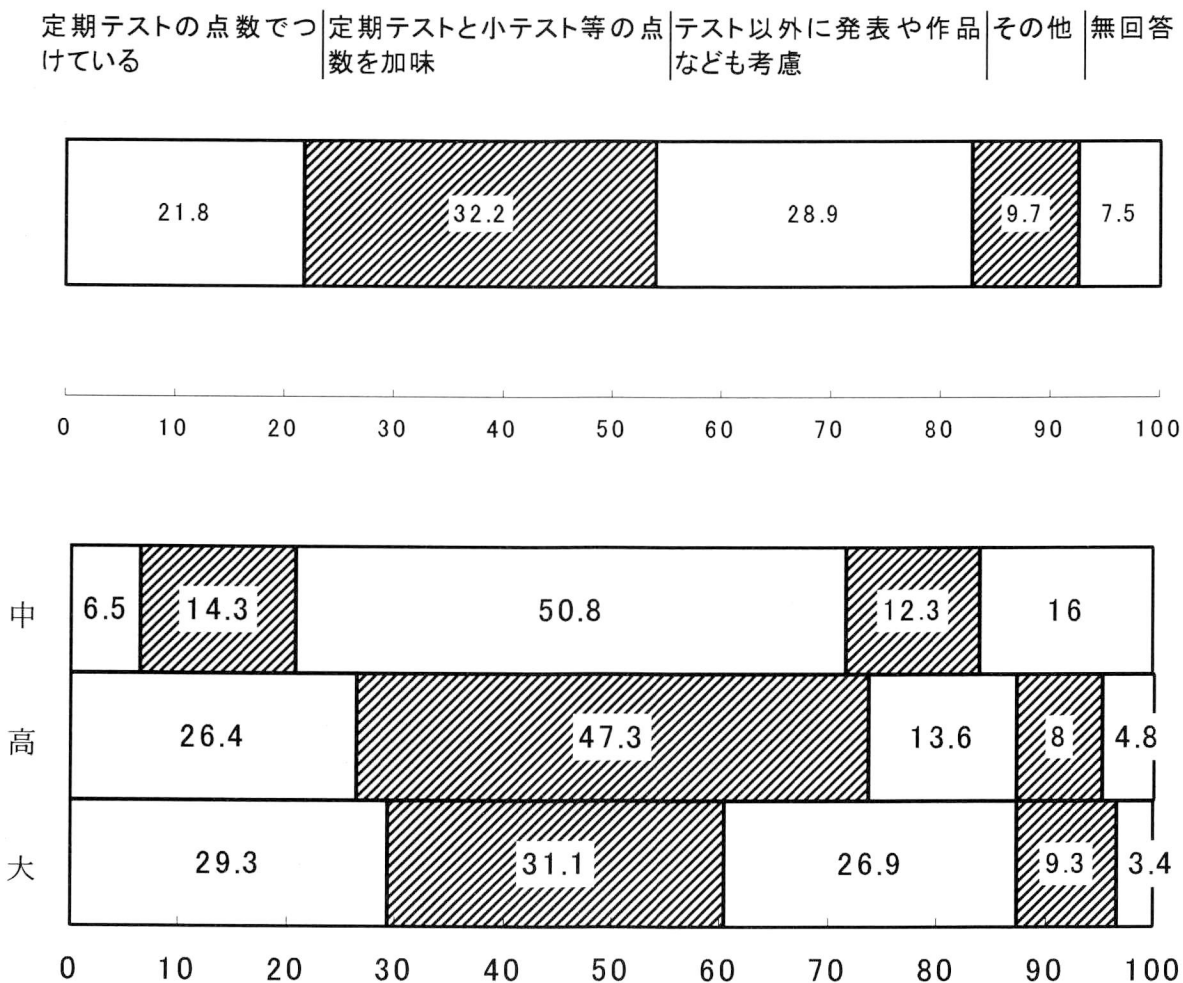


「映画や歌の内容が少しでも分かった時」を選択したのが、全体では 52.0%であり、中学生 52.4%、高校生 58.3%、大学生 45.4%と、いずれの学校段階においても選択肢の中では突出している。また、中学校と高校では女子の方が男子より高い関心を示しているが（中学男子：48.4%、女子：58.8%、高校男子：55.2%、女子：62.7%）、大学では男子の方が女子よりも高い関心を示している（男子：54.3%、女子：39.3%）。

その他の選択肢としては、「英語を話して外国人と友達になれた時」は全体では 9.6%であるが、中高生では 5%未満、しかし大学生になると 18.7%に跳ね上がる。これは女子が 22.5%という高い数値を示すためである（男子は 13.0%）。交友範囲や活動範囲が広がるためだろう。

次に多いのは「外国人に話しかけられた時」が全体で 9.0%で、中学、高校、大学と大きな差はない。

Q9. あなたの先生は、どのような方法で成績をつけていますか(SA) 回答数 3149



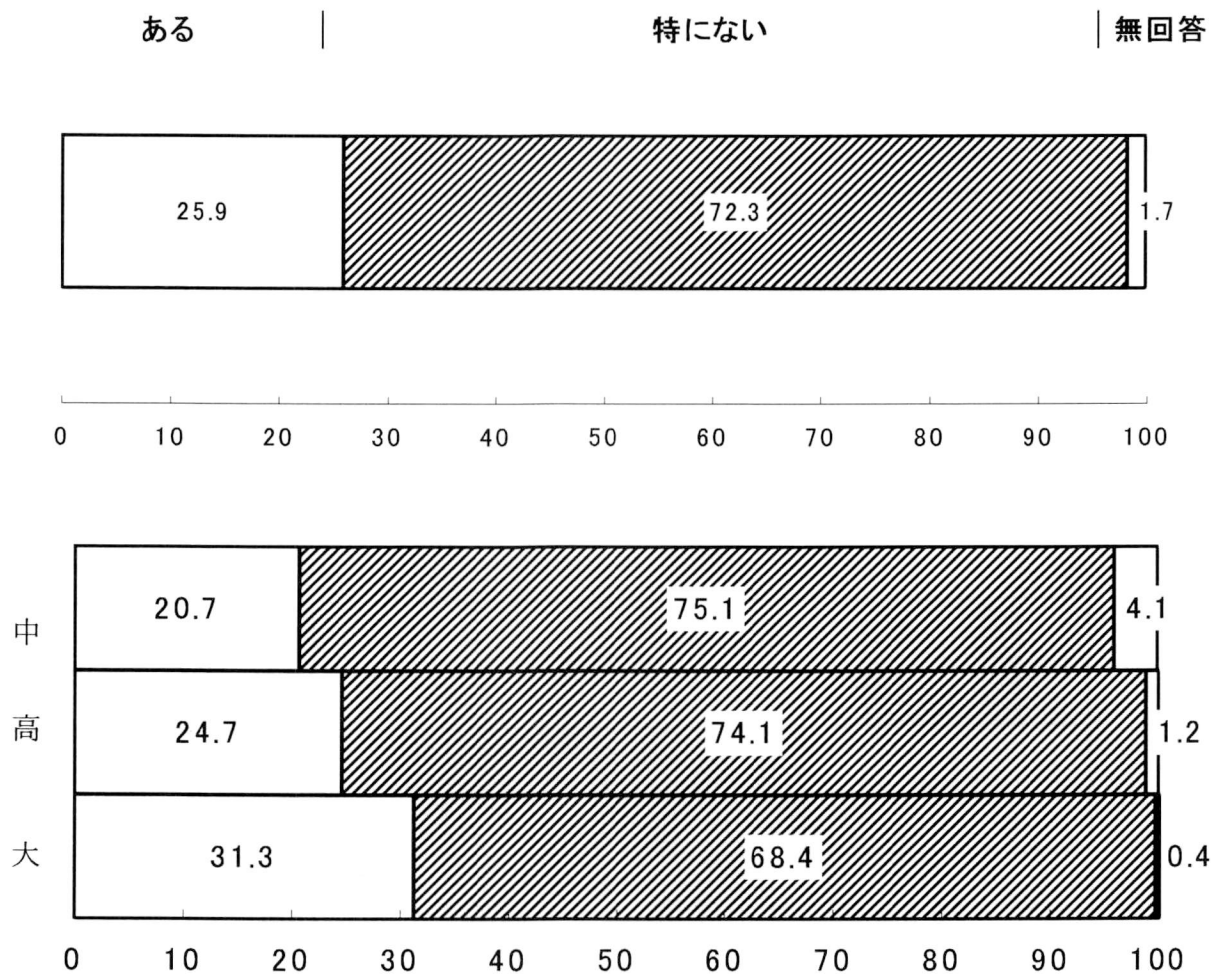
全体では最も多かったのが「定期テストの点数に、小テストなどの点数も加味している」で32.2%の数値を示した。

中学では、「テスト以外に発表や作品など考慮」が50.8%と多いが、グラフを見ても分かるようにいろいろな観点から評価していることが分かる。高校では「定期テストと小テスト等の点数加味」が47.3%と多い。大学では、選択肢の間に特に大きな差が見られないことから、成績のつけ方が分散していることが分かる。

無回答は全体では7.5%と多くはない。しかし中学1年生では26.3%もあったが、これはどのように成績がつけられるのかについて、生徒がまだ充分理解していないためだろう。しかし中学の無回答者数は学年が上がるに従って急激に減少する（1年26.3%→2年11.0%→3年7.7%）。

Q10. 今の成績のつけ方や評価の方法全般での不満(SA)

回答数 3149



中学校では評価をつける際に「1」を7%、「2」を24%つける相対評価であるので、不満を持っている生徒も多いかと予想していたが、「不満がある」は20.7%で思ったより低かった。また、中学1年生では、相対評価とはいえ若干緩やかで厳密なものではないので、不満はさらに低く15.9%である。

大学生の31.3%が評価の仕方に不満をもっているが、中学生と高校生は「特に不満がない」が75.1%と74.1%となっており、あまり評価の仕方には関心を持っていないという可能性もある。

Q10-1. どのような評価をしてほしいと思いますか(SA)

回答数 816

自分の長所・短所が分かる様な評価

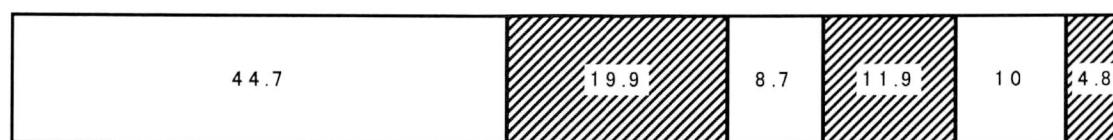
通常の授業での活動  
を重視した評価

積極的に発表する態度を重視の評価

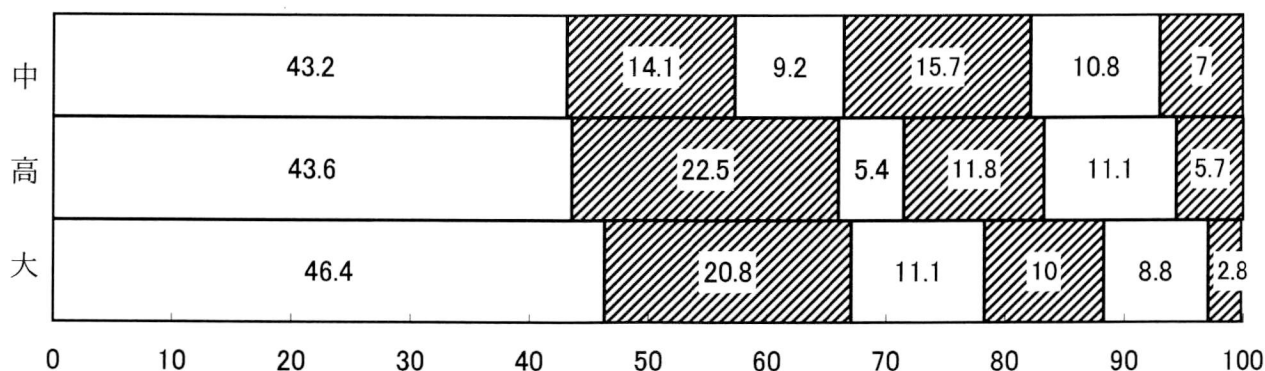
定期テストの点数のみでつける評価

その他

無回答



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100



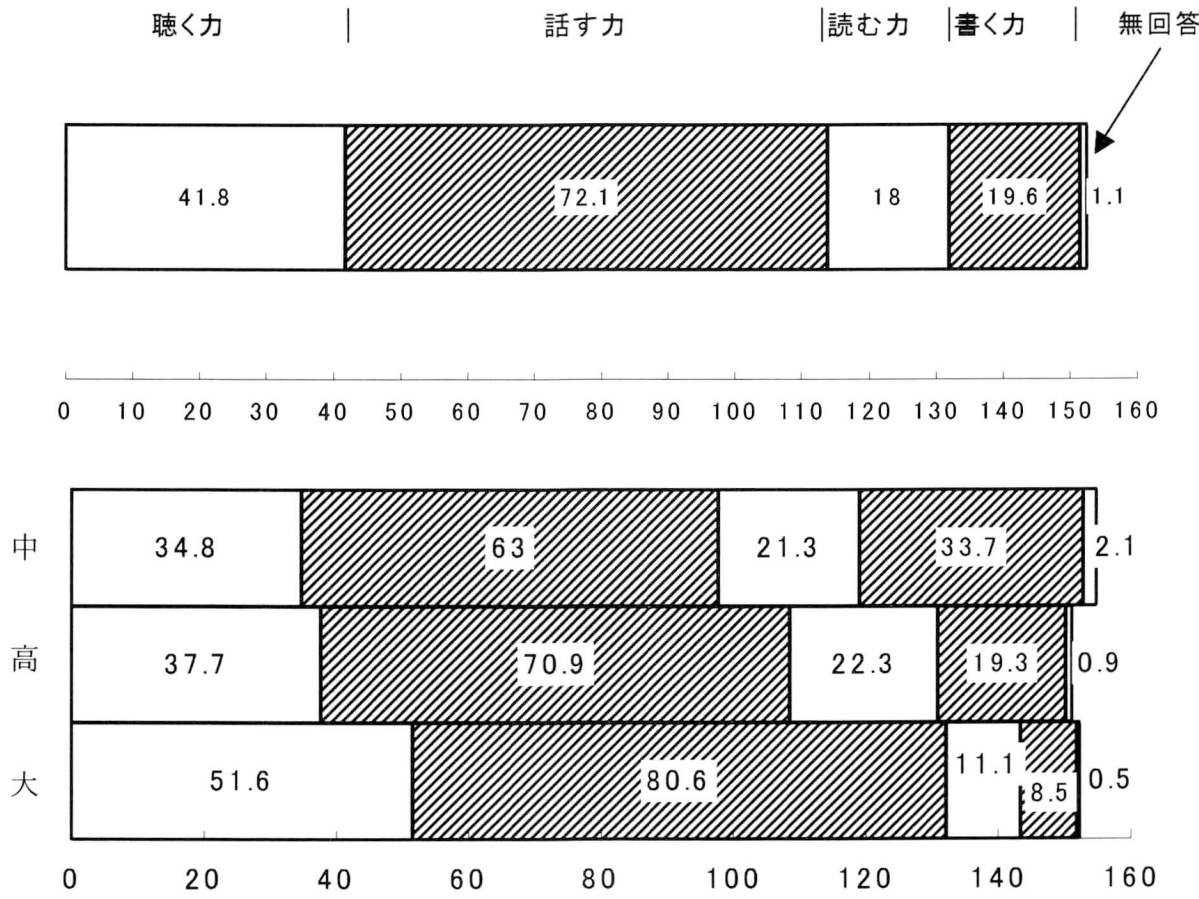
「自分の長所・短所が分かるような評価」が全体で44.7%。上の折れ線グラフのように、「自分の長所・短所が分かるような評価」は中学1年生50.0%、2年生46.0%、3年生35.7%。高校では、1年生50.6%、2年生42.9%、3年生38.1%。中学でも高校でも学年が上がるに従い受験などの影響からか、そのような評価を望む率が下がっている。

「積極的に発表する態度を重視の評価」を望む者は、中学生9.2%、高校生5.4%、大学生11.1%で、意外に少なかった。

【学習の目的・到達目標などについて】(Q11～Q15)

Q11. あなたの英語力のうち、一番伸ばしたいと思っているのは次のどれですか(2LA)

回答数 3149



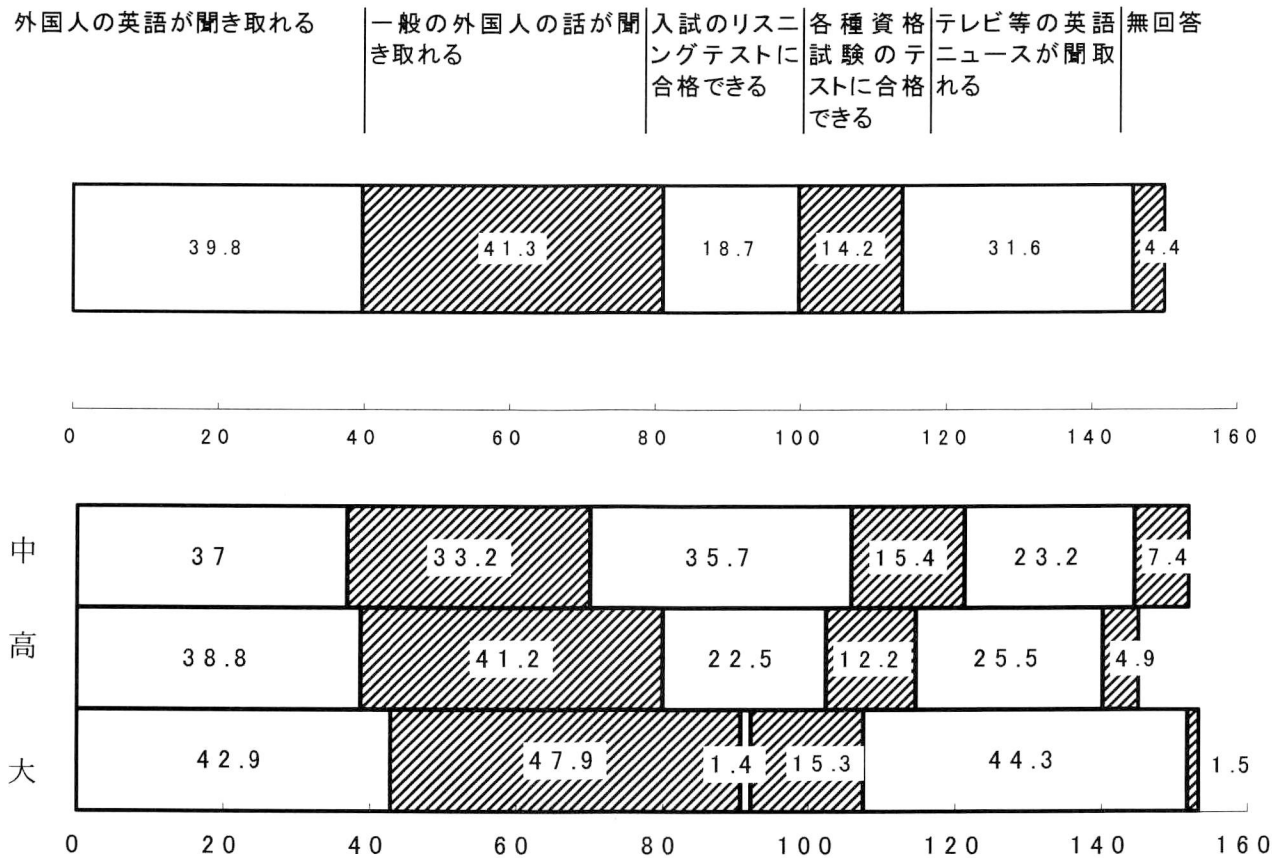
「話す力」を伸ばしたいと願う回答者が最も多く、全体で 72.1% もいる。次は「聴く力」の 41.8% と続いている。

「一番伸ばしたい英語力」ということは、設問は授業中と限定しているわけではないが、回答者は授業における「話すこと」、「聴くこと」の質・量ともに向上することを望んでいるといえないだろうか。

大学生は圧倒的に「話す力」(80.6%) と「聴く力」(51.6%) である。高校生は「話す力」70.9%、中学生も「話す力」63.0% である。しかし、中学生の希望は高校生や大学生と較べると項目間の差が小さく、中学では「書く力」は 33.7%、「聴く力」は 34.8% となり、ほぼ同じような数字となっている。この傾向は高校や大学では見られないものである。

Q12. 今の学校を卒業するまでに、どの程度の英語力をつけたいですか。Q12の1～4についてお答えください。

Q12-1. 今の学校を卒業するまでにつけたい英語力(2LA)[聴くこと] 回答数 3149

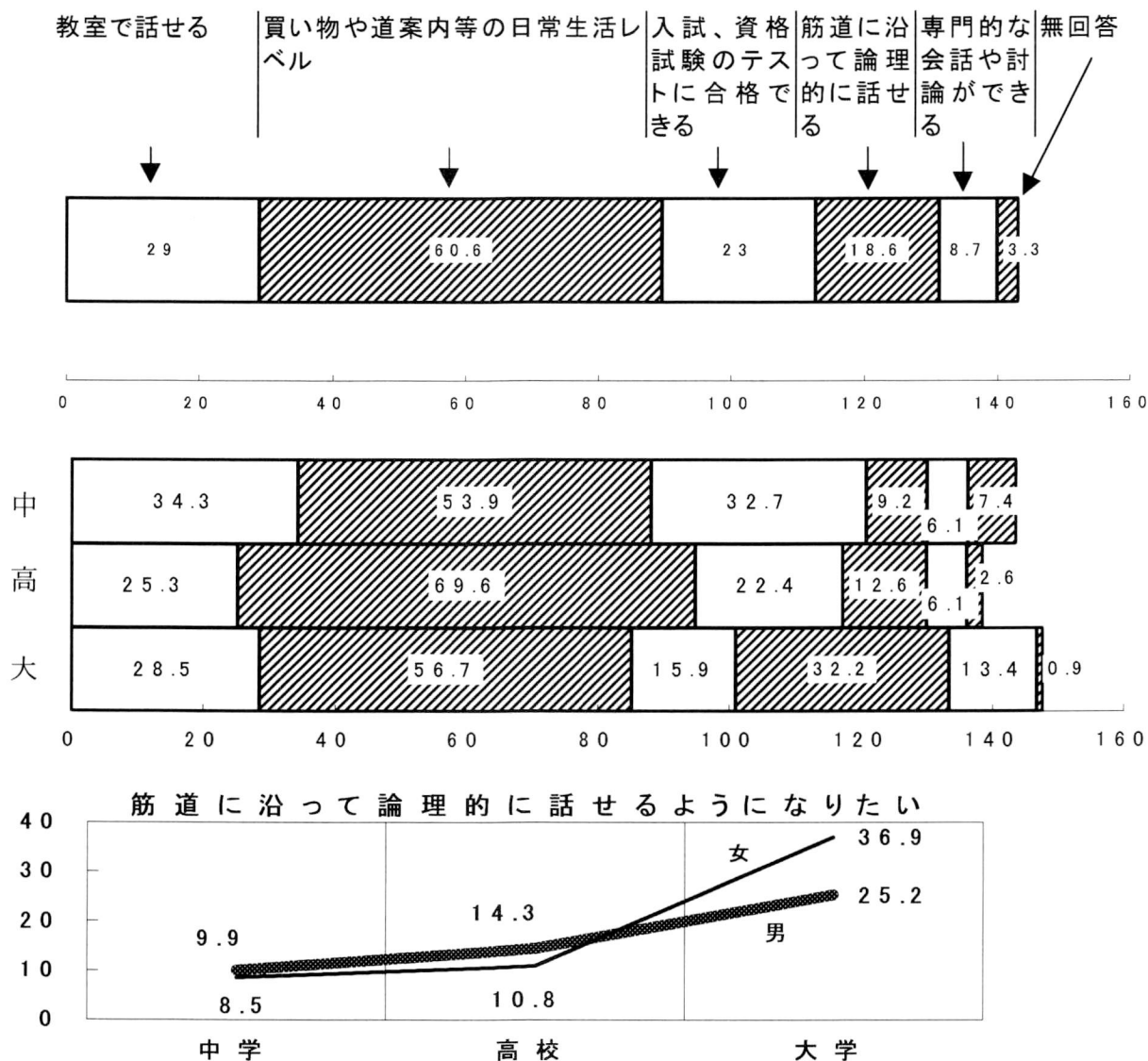


全体で上位の3位までは、「一般の外国人の話が聴き取れる」が41.3%、「外国人の英語が聴き取れる」が39.8%であり、「テレビ等の英語のニュースが聴き取れる」が31.6%という結果であった。「外国人の英語が聴き取れる」は質問の仕方が若干不充分であり、「外国人の先生の英語が聴き取れる」とすべきであった。いずれにしろ、回答者たち、特に大学生は時事英語や実際に使われている英語が聴き取れるようになりたいという願望が強い。

中学生では、「入試のリスニングテストに合格」というのは学年が上がるに応じて上がり、3年生は45.0%になるのは高校入試でもリスニングテストが行われるようになったことが大きく影響しているだろう。

「各種資格試験のテストに合格」というのが、中学から大学までを通じて予想したより低く、全体の平均で14.2%であった。

Q12-2. 今の学校を卒業するまでに付けたい英語力(2LA)[話すこと] 回答数 3149



全体としては「買い物や道案内等の日常生活レベル」60.6%で1位、「教室で話せる」29.0%、「入試や資格試験のテストに合格する」が23.0%となりそれに続く。

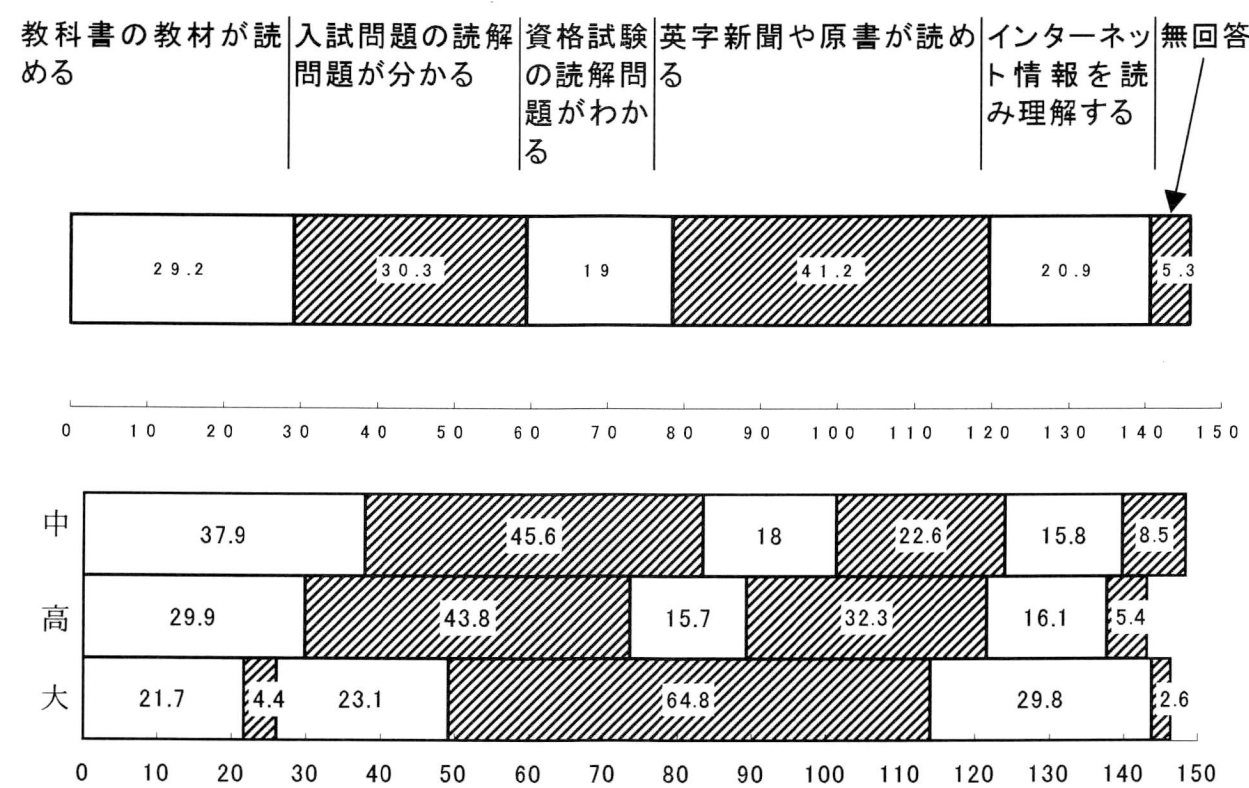
「買い物や道案内等の日常生活レベル」は中学から大学まで高い数値を示しており、特に高校生では69.6%にも達している。

「教室で話せる」は中学生が34.3%と高い数値を示しており、中学校では実際教室内で英語を話す活動が積極的に行われていることが窺われる。

「筋道に沿って論理的に話せる」は全体的には18.6%とあまり高くない。しかし中学生では9.2%、高校生では12.6%であるが、大学生になると32.2%の高い数値を示す。この項目を男女別に見ると、中学生、高校生ではいずれも男子の方が僅かに高い数値を示しているが、大学生では男性25.2%に対し、女性は36.9%と高い数値を示していることは興味深い。



Q12-3. 今の学校を卒業するまでにつけたい英語力(2LA)[読むこと] 回答数 3149



全体では「英字新聞や原書が読める」が41.2%とトップであるが、これは大学生が64.8%と高いためであり、中学生では22.6%、高校生では32.3%である。しかし、中学生や高校生のレベルを考えると、英字新聞や原書が読めることを望む数字は思ったより高いと言える。

二番目の「入試の読解問題が分かる」が30.3%になっているが、これは中学生45.6%、高校生43.8%であるが、大学生はわずかに4.4%となっているためである。中学生や高校生にとっては入試が大きな影響を与えていることが分かる。なお、中学校では高校への進学が全入に近いので、学年が上がるに従って数字も大きく変化(1年32.5%、2年45.6%、3年60.1%)していくが、高校では上級学校へ進学しない生徒もいるのでその数字にあまり変化は見られない(1年42.4%、2年44.6%、3年45.7%)。

以上のように中学、高校、大学と「読むこと」に関しては興味関心そのレベルによりまちまちであるので、それぞれの学校段階での1位と2位の項目を示しておく。

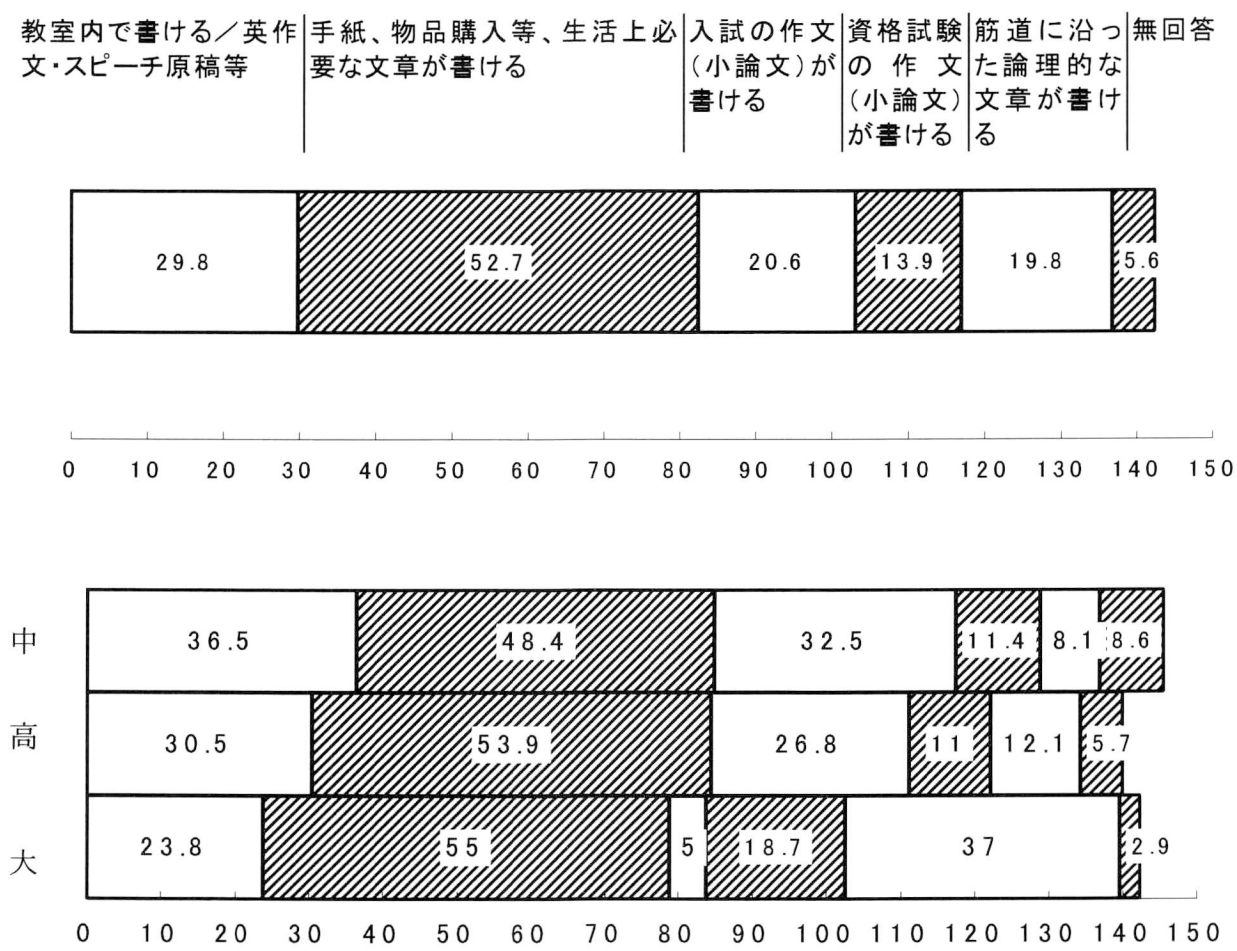
中学生：1位「入試問題の読解問題が分かる」、2位「教科書の教材が読める」。

高校生：1位「入試問題の読解問題が分かる」、2位「英字新聞や原書が読める」。

大学生：1位「英字新聞や原書が読める」、2位「インターネット情報を読み理解する」。

なお、大学生では「資格試験の読解問題がわかる」は男性17.4%に対して、女性は27.4%である。

Q12-4. 今の学校を卒業するまでにつけたい英語力(2LA)[書くこと] 回答数 3149



全体では、1位は「手紙、物品購入等生活上必要な文章」が52.7%で、2位は「教室内で書ける英作文・原稿等」で29.8%となる。

「手紙、物品購入等生活上必要な文章」は中学校から大学まで1位を占めていて、回答者の意識は外に向かっている。「教室内で書ける英作文・原稿等」は中学から高校そして大学と上に行くに従って次第に減り、「筋道に沿った論理的な文章が書ける」や「資格試験の作文（小論文）が書ける」が増えていく。書くことの目標が、教室内での書く力から社会で通用する書く力へと変化していることが分かる。

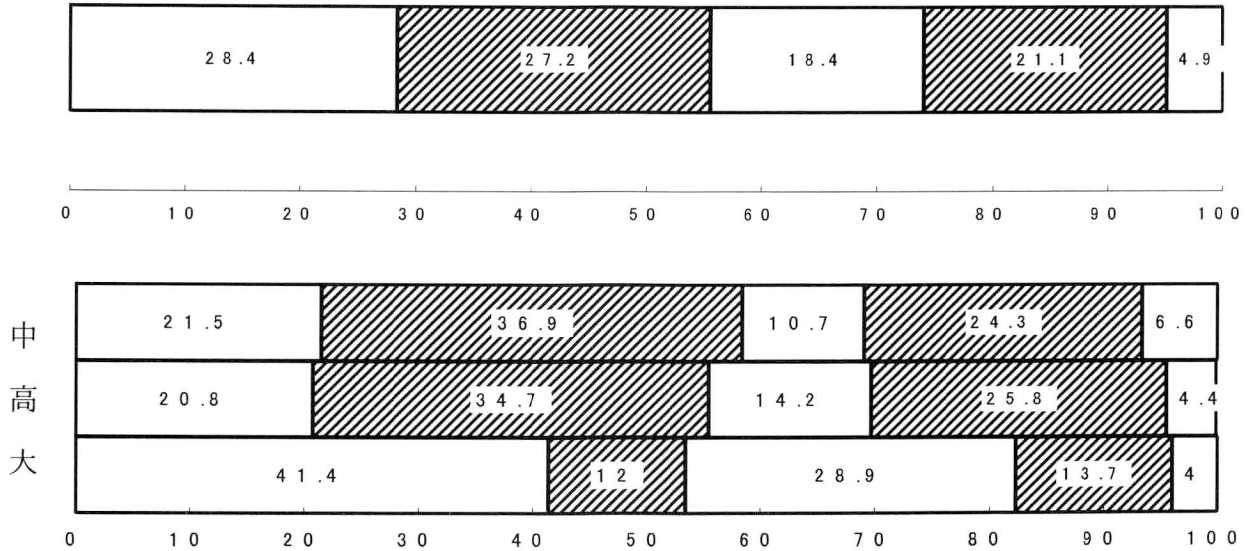
「筋道に沿った論理的な文章が書ける」が中学では8.1%、高校では12.1%である。しかし、大学では37.0%と二番目になっており、男女の内訳は男子34.0%であるが女子38.7%となり、やはり僅かであるが女子の方が高い。

中学生と高校生では「入試の作文（小論文）が書ける」が32.5%と26.8%で、ともに三番目に来ている。

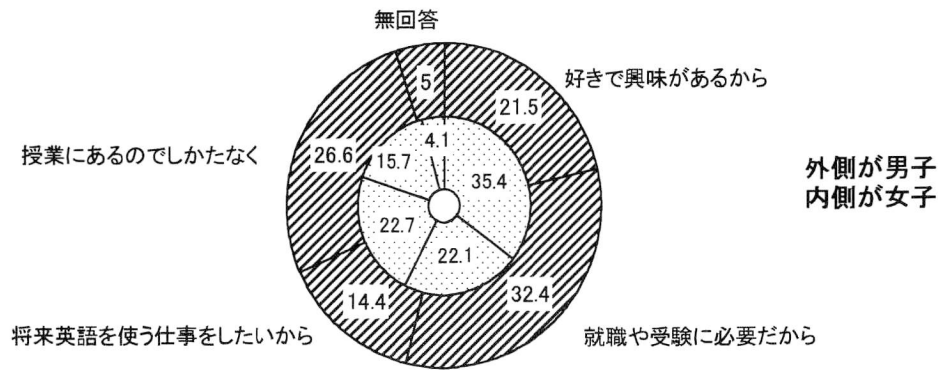
Q13. あなたにとって、英語を学ぶ意味は何ですか(SA)

回答数 3149

好きで興味があるから	就職や受験に必要だから	将来英語を使う仕事をしたいから	授業にあるのでしかたなく	無回答
------------	-------------	-----------------	--------------	-----



「積極的動機付け」と「消極的動機付け」男女別(全体)

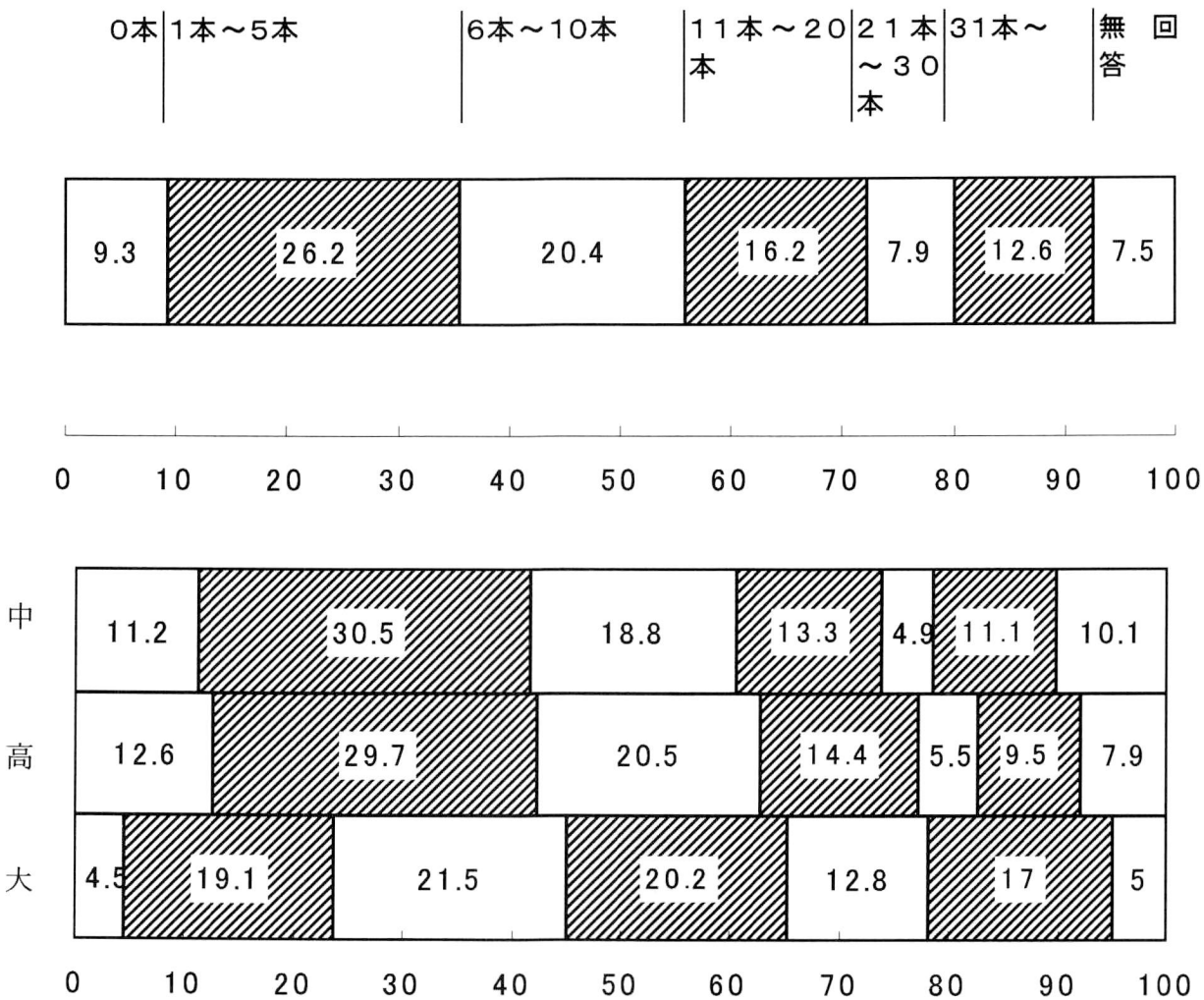


選択肢は、(1) 積極的動機付け (「好きで興味があるから」、「将来英語を使う仕事をしたいから」と (2) 消極的動機付け (「就職や受験に必要だから」、「授業にあるのでしかたなく」) に2大別できよう。男女の性差を見ると、上の円グラフのように男性全体の1位が「就職や受験に必要だから」32.4%、2位「授業にあるのでしかたなく」26.6%であるのに対し、女性は1位「好きで興味があるから」35.4%、2位「将来英語を使う仕事をしたいから」22.7%と対照的である。

大学生では圧倒的に積極的動機付けの比率が高いが、非限定群の中学生・高校生では消極的動機付けが積極的動機付けをやや上回る。特に中3では「受験のため」の理由が41.3%という高率を示し、入試のプレッシャーが相当高いことを窺わせる。

Q14. 英語の映画(ビデオ、TV放映含む)を1年間に何本ぐらい見ますか。

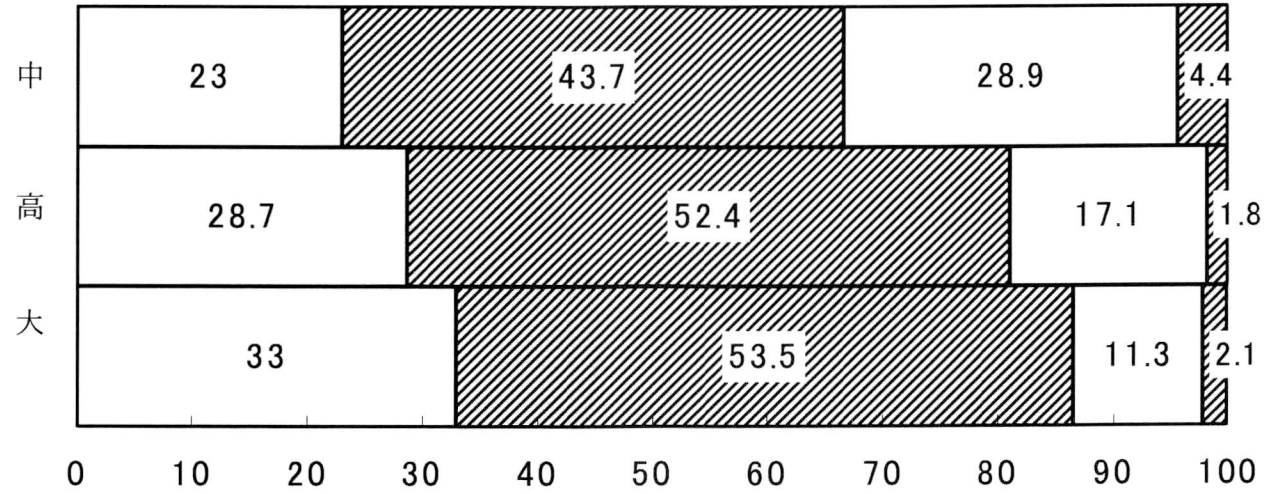
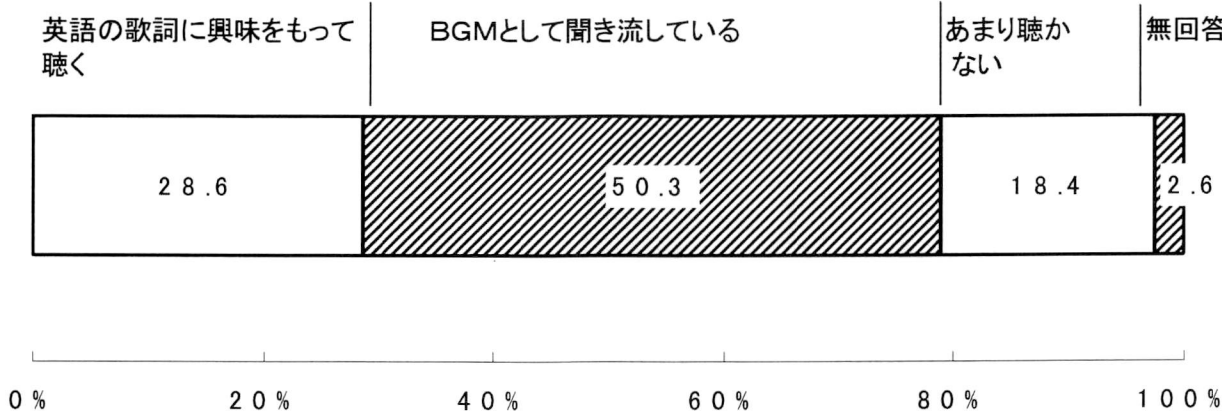
回答数 3149



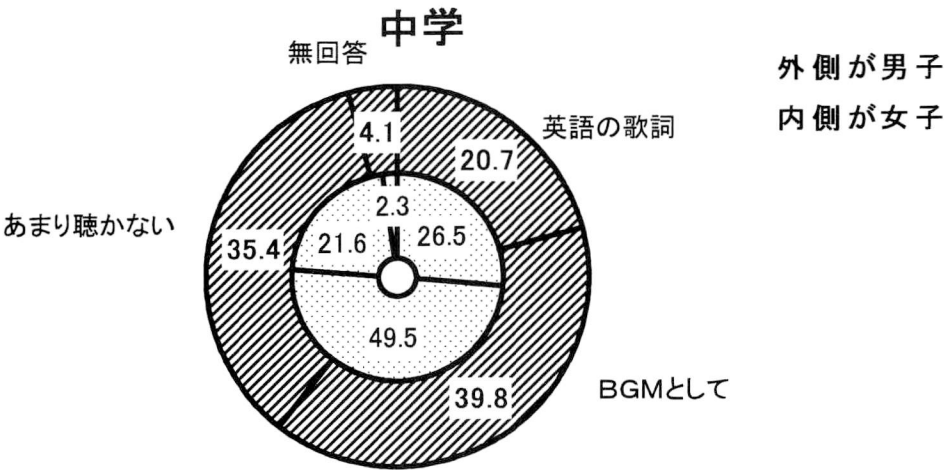
性別でみると、男性、女性とも1本～10本という枠内が最も多く、各約44%、50%の数値を示す。ただ、全く見ない(0本)割合が男性で約13%と、女性の2倍を示し、中でも男子高校生は17%が0本と答え、英語に対する無関心か、異文化に対する無関心か、気になるところである。大学生では「11本以上」の回答がちょうど50%という高い数値になっている。興味・関心の強さを反映した数値とみることができよう。

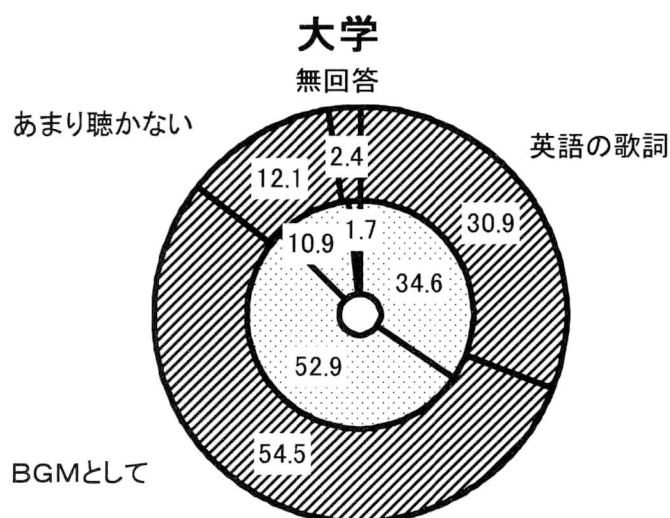
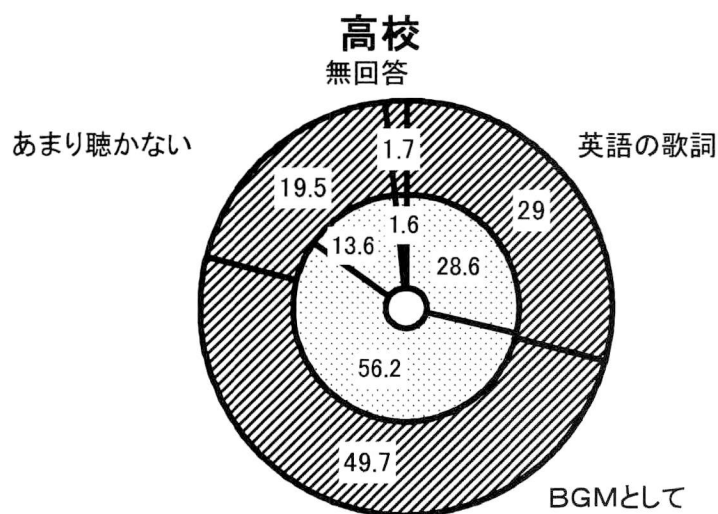
Q15. 英語の音楽をどのように聴きますか (SA)

回答数 3149



中学・高校・大学別及び男女別



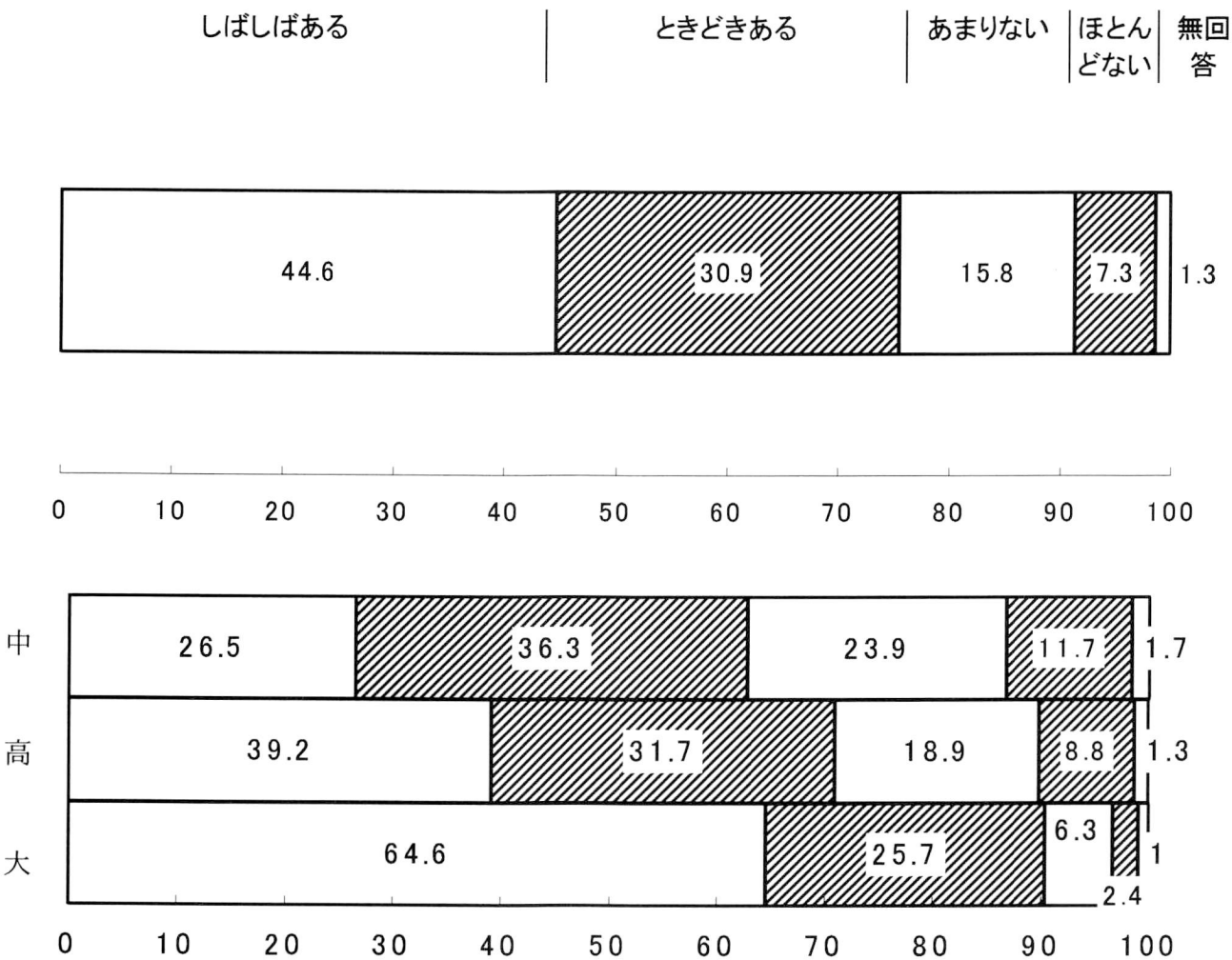


約半数が英語を「BGMとして聞き流している」。「あまり聞かない」という男性が22.3%で女性の14.5%を上回り、「英語の歌詞に興味を持って聞く」割合は女性30.6%で男性の27%をほんのわずかに上回る。高校・大学と学校段階が上がるにつれて「英語の歌詞に興味を持って聞く」比率があがっているが、語彙も豊かになり理解力が高まることに比例するものと思われる。

中学生では「あまり聞かない」が高校生、大学生に比して多いが、中でも中1男子は48.7%である。中1女子の30.8%が「英語の歌詞に興味を持って聞く」と好対照である(男子は13.0%)。この年代の発達の差を考慮すべきであろう。

【英語での自己表現について】(Q16)

Q16. 英語の授業でうまく表現できなくてもどかしく思ったことがありますか(SA) 回答数 3149

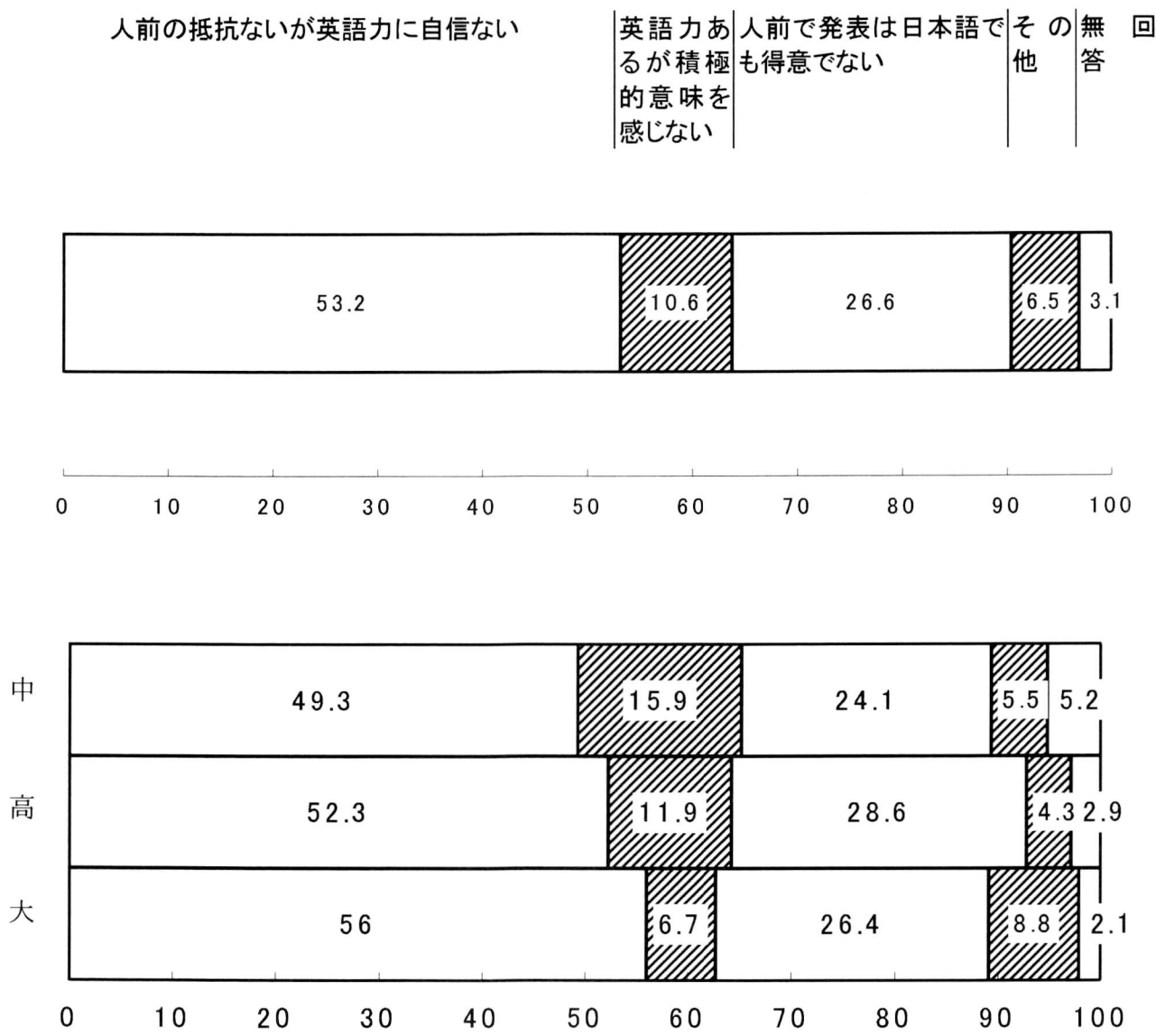


「しばしばある」が約半数を占め、「ときどきある」と合わせると約 75% に達する。「しばしばある」の率は中学生では 26.5%であるが、高校生では 39.2%と 10%以上あがる。大学生になると実に 64.6% の高率に達する。表現したい内容の水準が高くなることがその原因だろう。回答に性差はそれほど見られないが、全体では、「しばしばある」については男性 41.7%に対して女性が 48.1%となっており、女性が 6.4%上回っている。



Q16-1. その理由はどんなことだと思いますか（SA）

回答数 2379

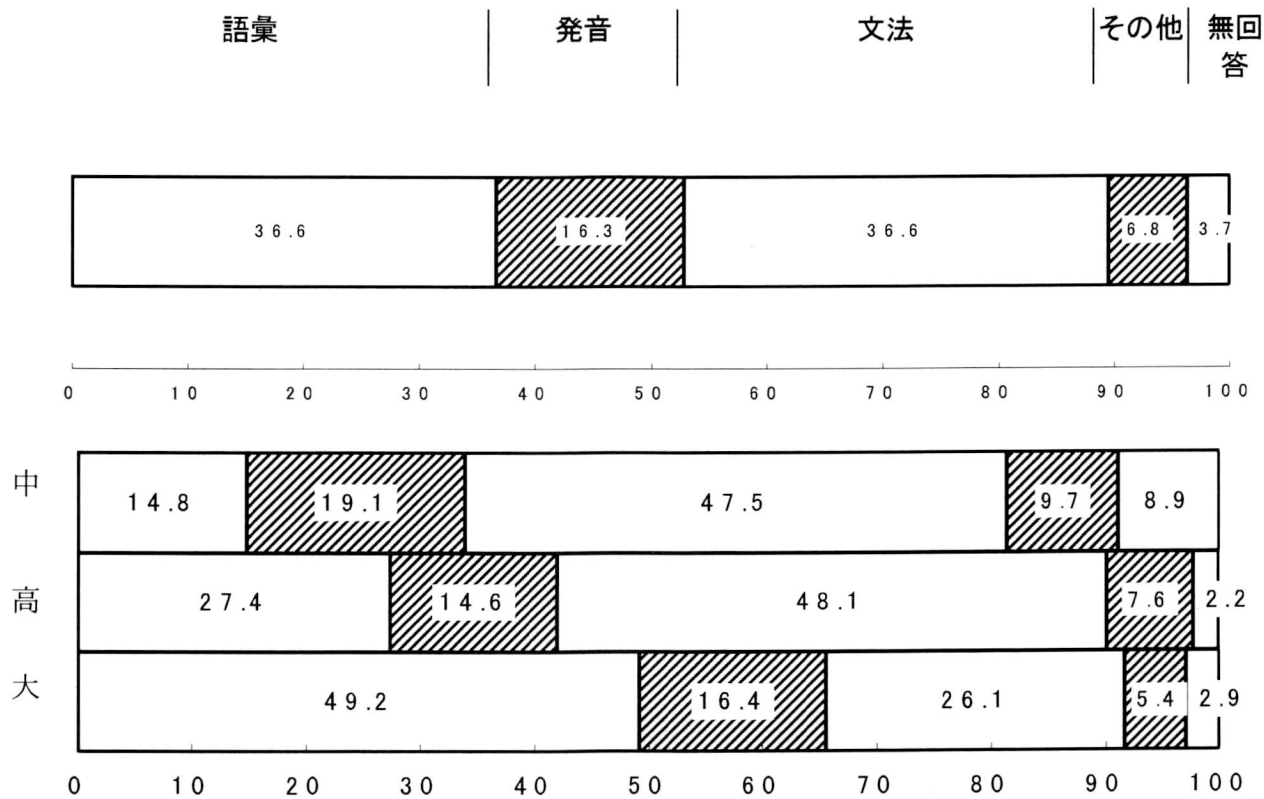


「人前での抵抗はないが英語力に自信がない」が全体で5割強を占める。一方、「人前で発表するのは日本語でも得意でない」が26.6%いる。これらを合わせると、「英語で人前で表現すること」に困難を感じる回答者が79.8%いることになる。回答に性差はほとんどみられない。

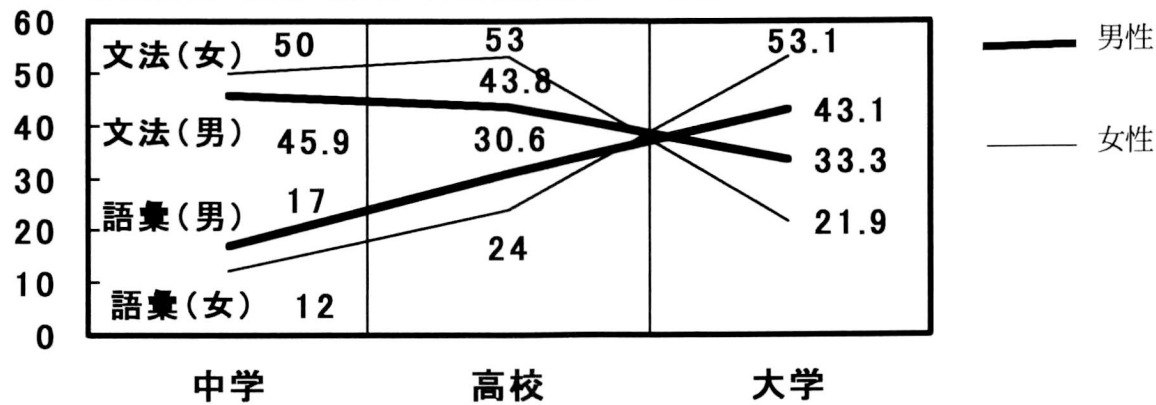
また、年齢が上がるに従って英語力に対する自信が低下し、逆に積極的意味を感じない比率が下がっていくのが特徴的である。

Q16-2. 英語力の何に特に自信がありませんか(SA)

回答数 1406



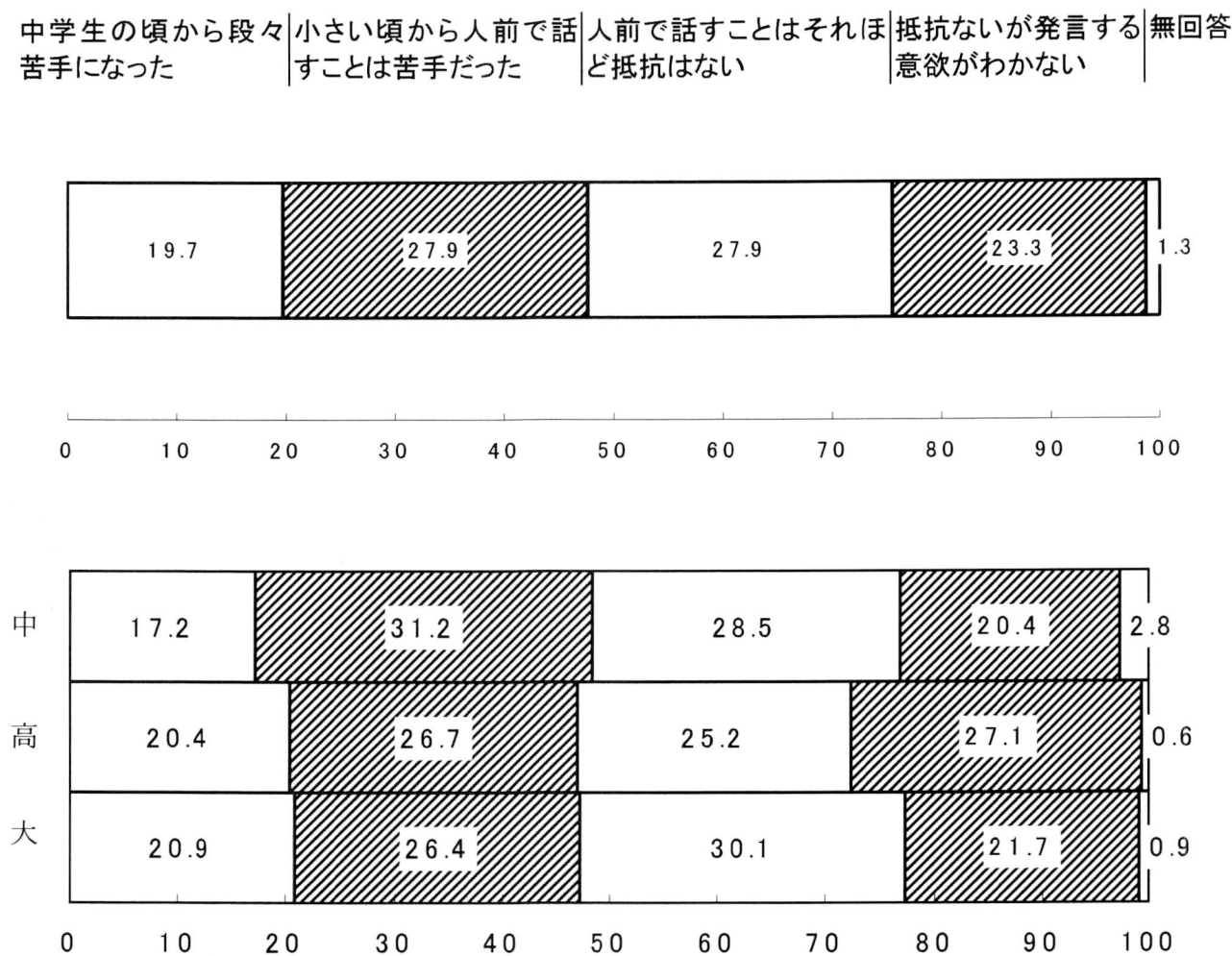
学校段階別・性別で見た「文法、語彙」への自信のなさの推移



性別を全体的に見ると男性では1位が「文法」(39.8%)、2位が「語彙」(33.1%)。女性では1位が「語彙」(39.6%)、2位が「文法」(34.1%)。男女共に1・2位合わせて7割を越えており、「発音」は共に20%以下となっている。この設問では年齢差がかなり現れ、「語彙」に対する自信が、中・高・大と移るにつれ低下し、「文法」に対する自信のなさは相対的に減少していく。「発音」に関しては、中1では4割と高いが、中2以降はほぼ14~15%程度で、大学まであまり変化がない。

# 【教室(人前)で話をするについて】(Q17)

Q17. 教室で発言することについて、あなたは次のどれにあたりますか(SA) 回答数 3149



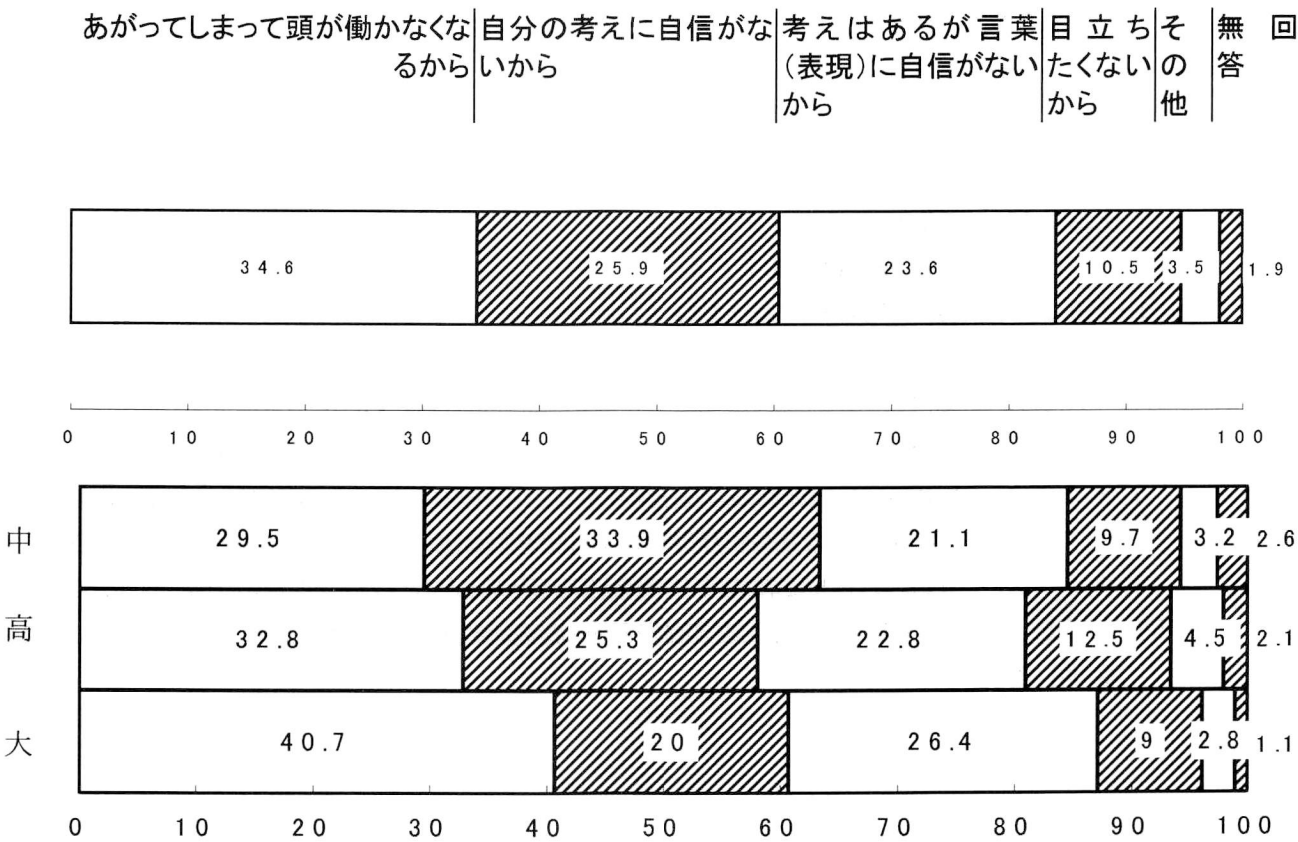
全体では「小さい頃から人前で話すことは苦手」と「人前で話すことはそれほど抵抗がない」が 27.9% で同率である。

思春期になると他人の目が気になり人前で話すのが苦手になると思われていたが、その選択肢は 19.7%にとどまり、「人前で話すことはそれほど抵抗がない」が予想していたより多い結果となった。特に中 1 男子は 39.6%、大学 3 年女子 36.8%である。

また、「抵抗ないが発言する意欲がわからない」は、どの年齢集団においても男子の比率が高い傾向がある。中学では女子 19.1%に対して男子 21.9%。高校では女子 24.1%に対して男子 29.0%。大学では女子 18.0%に対して男子 26.9%。

Q17-1. その理由はそんなことだと思いますか (SA)

回答数 1496



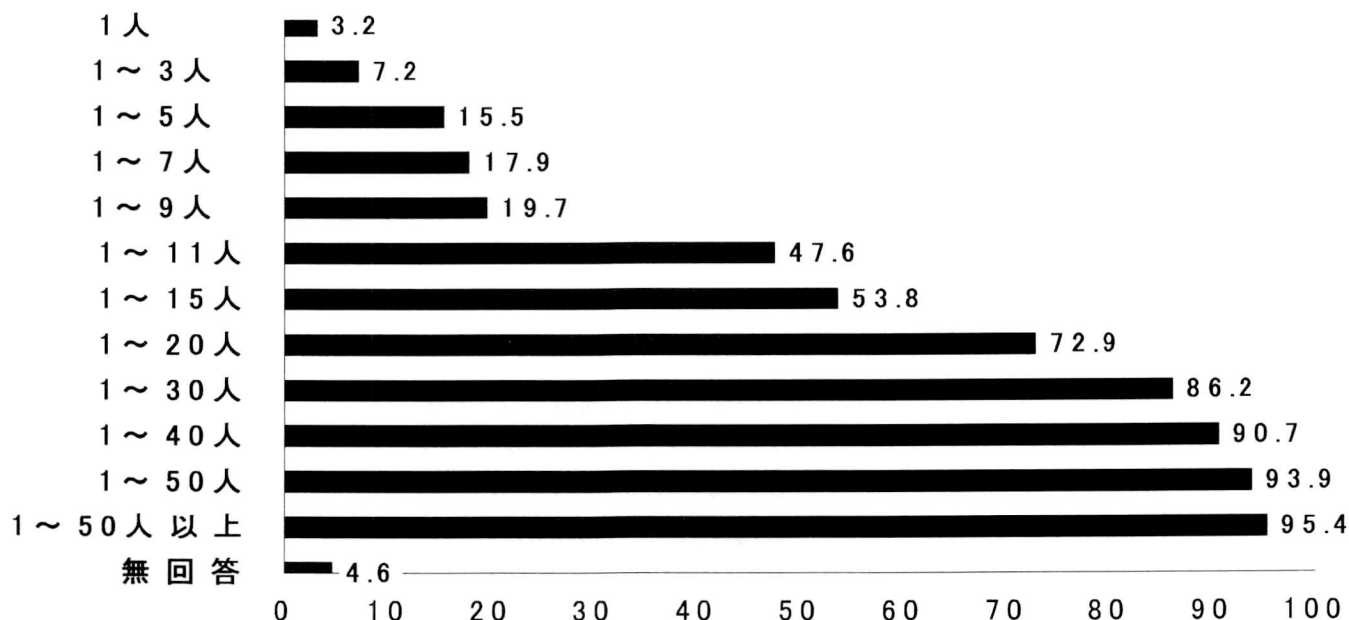
「あがってしまっ て頭が働かなくなるから」は中・高・大と年齢が上がるに従って比率が高まり、29.5%、32.8%、40.7%へと上昇するが、これと反比例するかたちで「自分の考えに自信がないから」が年齢とともに 33.9%、25.3%、20.0%という数値に減少する。

「あがってしまう」理由については種々の要素が複雑に関与しているであろうが、ここではその内実を探ることまではできていない。また、「目立ちたくない」の回答は、予期していたより少なく、どの年齢層においても 1 割前後にとどまった。目立ちたくない気持ちより、なんらかのプレッシャーにより、十分に自己表現ができず「あがってしまう」ことが発言に対する最も大きな阻害要因といえることができる。

なお、中学生段階で最も多い「自分の考えに自信がないから」は、英語以前の<考え方の訓練>の必要性を訴えかけているのではないかと推察される。<論理的思考力>の涵養、<論理的表現>の体得も「考えに自信がもてる」ようになり、「あがらない」ですむようになる大きな要素といえるのではないだろうか。

Q17-2. 教室で発言するとき、何人ぐらいの前だと抵抗を感じるようになりますか(人数を記入する)

回答数 905



この質問は、前問の Q17-1 で「あがってしまって、頭が働かなくなる」、「自分の考えに自信がない」と答えた人を対象としている。

回答形式は各自数字を記入するものだったので、集計の際に適当な数字で区切った。中学、高校、大学の差があまりなく、性差はあまり見られない。

教室で発言するときに抵抗を感じる実人数は全体を平均して 17～18 名である。現在の中学校や高校の 40 人というクラスサイズでは実に 90.7% の人が発言に抵抗があることになり、個別の発表に際してはかなり抵抗を感じており、発言を妨げていることが窺われる。

しかし、ペアワークのように相手が 1 人の場合は 3.2%、4 人とするグループワークのように相手が 3 人の場合は 7.2%、さらに相手が 7 人いる 8 人のグループでは 17.9% が抵抗を感じる程度で、抵抗も少ないことから集団の中での個別発表などの練習形態としてもっと利用されてよいといえる。

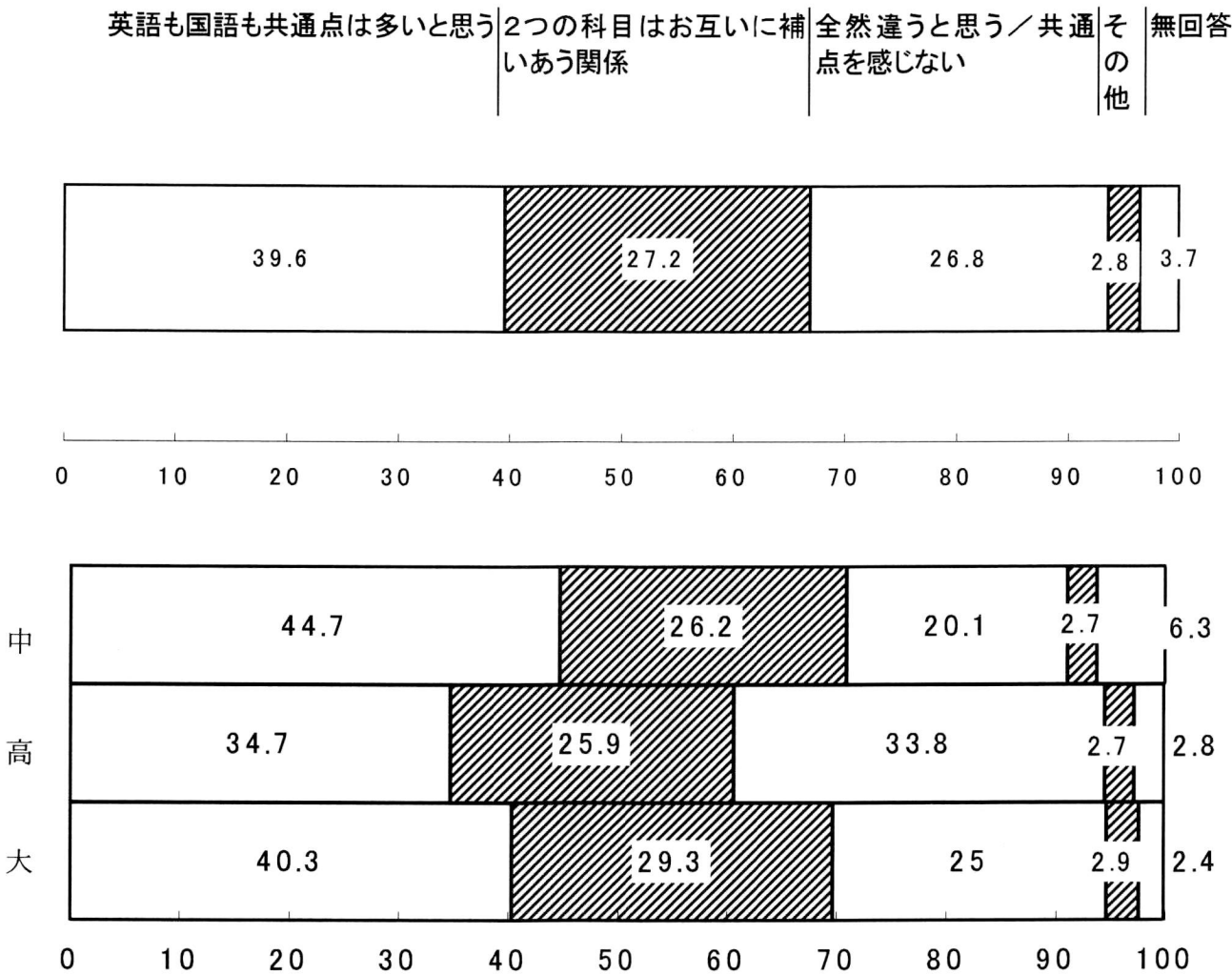
相手が 9 人までだと 19.7% (中高大を通じて) が抵抗を感じるが、10 人までだと抵抗感は 29.0% に上がり、11 人までになると抵抗感が 47.6% にも跳ね上がっている。また、15 人までだと抵抗感が 53.8% だが、20 人までとなると抵抗感が 72.9% にも跳ね上がっている。

なおこれらの数値はおそらく日本と異なった文化圏の世界ではかなり差が表れる可能性があるだろう。

【言語活動全般について】(Q18、Q19)

Q18. 学校でならっている英語と国語はどちらも「言語」に関する授業ですが、この2つの科目の授業の間には、どんな関係があると思いますか (SA)

回答数 3149

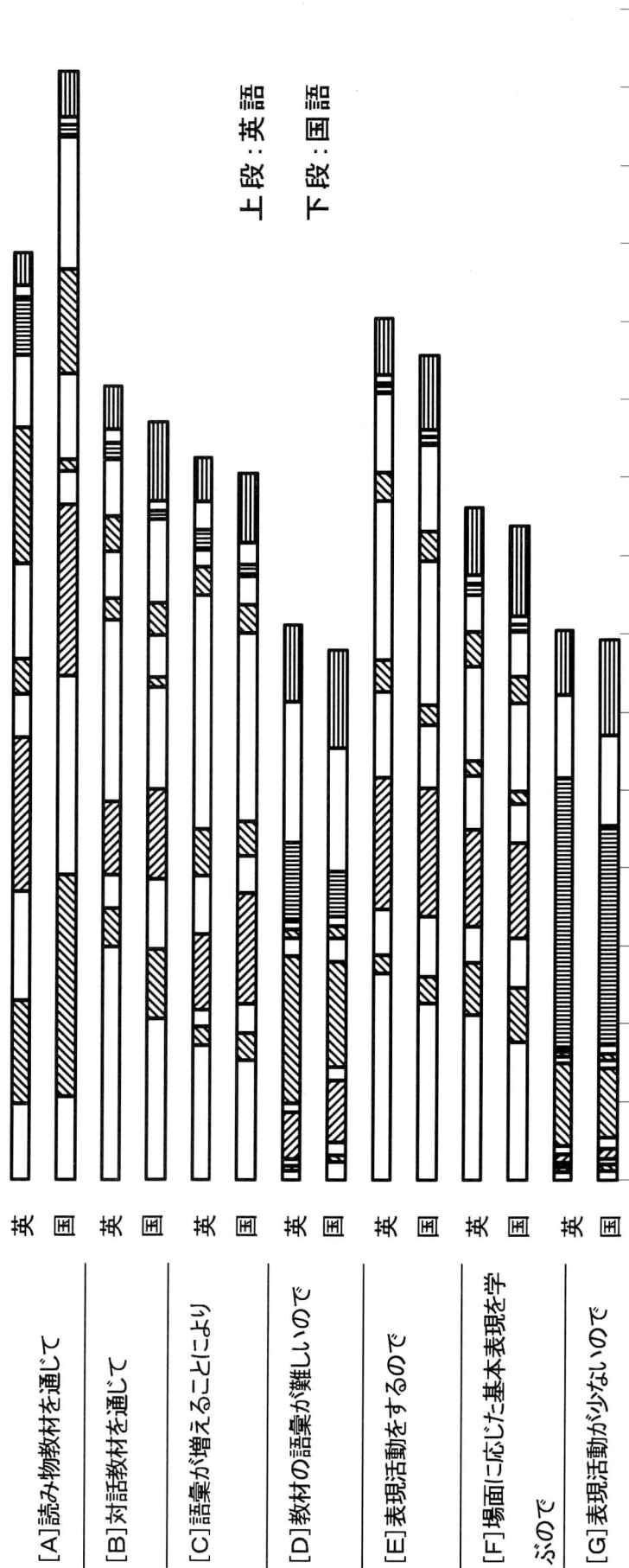


興味深いことに、中学生と大学生の捉え方が似通っている。「英語も国語も共通点は多いと思う」が中学 44.7%、大学 40.3%で、高校生では「全然違う／共通点を感じない」が中学生、大学生より多くて 33.8%である。そして、「2つの科目はお互いに補い合う関係」とするのが中、高、大学ともに数値はほぼ同じである。また、「共通点を感じる」のは、女性のほうが度合いが高く、逆に「全然違う／共通点を感じない」とするのは男性が高い。ただし、この点においては中学生では一概にそうとも言い切れない結果となった。

Q19. あなたの受けている英語と国語の授業について、各項目についてお答えください(MA)

回答数 3149

話す力が身に つく	登場人物の 気持ちが分る ようになる	人の生き方 や考え方を 学ぶ	思考力が 身に つく	文章を作る のが 難しい	文章が 作られる ように 高まる	世界の文化や 言語への関心 が高まる	自分と違 う意見を受 け入れられ る	話す力が 身に つかない 落ちる	読解力 が 落ちる	無回答



0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220 240 260 280 300



国語と英語は共に言語教育という共通点をもっているが、学習者の意識はどのようなものであるか、その相違点と共通点を調べてみた。ちなみに回答者は該当すると思われるものはいくつ選んでもよいことになっている。前ページは、各選択肢について、上段を英語、下段を国語としてグラフ化したものである。

[A]「読み物教材を通じて」という項目に関しては、国語と英語の違いがほかの項目よりも顕著である。「登場人物の気持ちがわかるようになる」、「人の生き方や考え方を学べる」、「自分と違う意見を知り受け入れられる」などで、国語が大変高い数値を示し、英語との差が大きい。これに対して英語では「思考力が身につく」や「世界の文化や言語への関心が高まる」などが高い数値を示している。なお「世界の文化や言語への関心が高まる」は両者共通して高い数値を示している。

[B]「対話教材を通じて」という項目に関しては、「話す力が身につく」と「聴く力が身につく」がいずれも英語では高く、国語では低く、両者の間に開きがある。

[C]「語彙が増えることにより」という項目については、「文章が作れるようになる」が英語では高く、国語の数値と差がある。また「話す力が身につく」では、英語と国語共に比較的高い数値を示している。英語が書けるように、話せるようになるためには語彙力増強が重要だと考えている。

[D]「教材の語彙が難しいので」では、共通して高い数値を示したのは「読解力が落ちる」であり、これは予想できる結果である。「文章を作るのが難しい」との結びつきが英語は高く、国語はやや低い。また「話す力が身につかない」との関連も英語は高く、国語は多少低い。英語において、教材の語彙の難しさが書く力や話す力などの表現力を伸ばすことを妨げているという学習者の意識は注目すべきであろう。

[E]「表現活動をするので」では、「話す力が身につく」、「思考力が身につく」、「文章が作れるようになる」との結びつきが国語も英語も共に高い数値を示している。

[F]「場面に応じた基本表現を学ぶので」では、両者ほぼ同じような傾向を示している。共通して高い数値を示しているのは「話す力が身につく」である。

[G]「表現活動が少ないので」では、やはり「話す力が身につかない」が共通して大変高い数値を示している。英語の方は分かるが、国語でも高い数値を示していることは興味深い。



### III. 全体を通して



すでに「はしがき」や 1.2「研究テーマ」などで述べたように、本研究は学習者に「コミュニケーションをしようという積極的態度が養われない問題点は何なのか」という問題を中心に、実態調査によって様々な分析を試みた。この「全体を通して」では、本研究で得られたことをもう一度整理して見直し、さらに調査結果の持つ意味を考察する。

この分野に関連する先行研究の代表的なものとして挙げられるのは、英語教育実態調査研究会（研究代表者：小池生夫）による『わが国の英語教育に関する実態と将来像の総合的研究』\*（以下、『総合的研究』と略す）であろう。これは、10 年余りにわたる全国的規模での調査分析についての 4 つの報告書をまとめたいわば総集編であるが、その規模や調査項目の多角性と詳細さなどにおいて群を抜いており、日本の英語教育の現状の包括的な把握と将来の方向性を示した研究であると言えよう。本節においては、本研究の発見を裏付けたり調査結果を比較するためにも、また両研究のある意味で相補的な関係からも、『総合的研究』を参照しながら論を進めることにする。

まず、本研究の持つ独自性のいくつかを以下に挙げ、その特徴を確認する。

- ① 中学校、高校、大学を通して学習者自身が抱える問題点や意識を洗い出しており、横断的な面と縦断的な面とを併せ持っている。
- ② 学年別、学校段階別だけでなく、男女の性差による違いにも注目している。
- ③ 規模の点では、関東一円の中学生 892 名、高校生 1134 名、大学生 1123 名、合計 3149 名から回答を得た広範囲な調査となっている。
- ④ 学校における英語教育の現状と問題点に関するトピックとして、従来の「授業、教材、教員、入試」などの環境要因ももちろん扱っているが、さらに学習者の内面的な情意面でのコミュニケーション能力養成上の阻害要因や、また成績評価に関する学習者の意識も取り上げている。
- ⑤ 言語活動全般に関する複層的な質問を設けて、英語だけでなく国語についても調査することにより、同じ言語教育科目である英語と国語の関係に対する学習者の意識を調査している。

以上のような点を確認し留意しながら、本研究によって見出された特徴的事項を整理して考察することにより、今後の言語教育に対する本研

---

\* 平成 2 年（1990 年）3 月。英語教育実態調査委員会。平成元年度文部省科学研究費補助金研究（総合研究 A、慶應義塾大学）研究成果報告書。研究課題番号：63301037。研究代表者：小池生夫。

究ならではの提案としたい。

## 1. 学校段階別に見た特徴

### 1.1 「興味が持て、よく分かる授業が面白い」は、中・高・大に共通した反応

Q1-1「いままでに英語の授業がおもしろいと思ったのは、どのような授業のときでしたか」に対して回答者が答えた選択肢の比率に関し、中・高・大で共通した結果が得られた。すべての学校段階で1位であったのが、「授業内容がよくわかった時」であり、男女差もあまり見られなかった（男性61.6%、女性66.9%）。そして、この回答は『総合的研究』の結果とも一致している（p.61）。ただ、授業内容や教材が興味が持てるものであるのが前提となる。この裏づけとして、Q2-1で「つまらない授業」の理由に挙げられた回答で最も多かったのは、「難しすぎて授業がわからないから」が38.2%、「教科書がつまらないから」が36.6%で、それぞれ1位と2位の比率になっていた。この「授業の難しさ」については、さらに別の質問で学校段階別に見て「いつ頃から英語がつまらなくなったか」という質問をしたが（Q2-3）、中・高をすでに経た大学生の回答では高校期が32.0%と最も高くなっており（中学期19.8%、大学期14.0%）、受験準備や学習の難易度が高くなることとの同調が窺われる。

また、本研究の発見としては、学習者は発信する能力、つまり「話す力」をもっとも伸ばしたいと思っている者が圧倒的に多いにもかかわらず、「正しく答えられた時」や「発表や意見が認められた時」に授業が面白いと感じた回答者の数の合計は、「授業内容がよくわかった時」の半数程度でしかなかったことである。教室内での発言や発表が、成績評価に十分に組み入れられていないという可能性もある。

### 1.2 「単調な授業」に対する不満は大学で最も高い

英語が嫌いになったきっかけを問う質問（Q2-4）への7つの回答の選択肢のうち、全体回答の上位は次の順であった。

- 1位（42.5%）授業が単調なので
- 2位（37.9%）授業内容が分からなくて
- 3位（37.7%）英文解釈や文法ばかりで
- 4位（31.3%）先生がおもしろくなくて

この点に関して、『総合的研究』では、教員に対して調査当時の数年間での指導法の変化を問うていて、「かなり、あるいは非常に変わった」と

答えた教員が中学で 45.6%、高校で 50.2%、また大学では 65.4%もいた。しかし、それから 10 年近く経過した現在でも、やはり授業の単調さに対する不満が依然として高いことを考えると、まだまだ授業改善の余地は残されていると考えられる。特に、本研究の調査結果では、単調な授業に対する不満は学校段階が上がるに従って高くなり、中学 30.7%、高校 41.4%、大学 51.0%となっている。

また、我々にとって意外な結果は、次の 3 項目の選択率が低かったことである。

5 位 (13.6%) 授業中の質問に答えられなかったから

6 位 (7.8%) 発音が難しくて

7 位 (3.2%) 授業中に注意されて

### 1. 3 実用英語が「実際に役立ちそうにない」と考える者が中・高・大と増加する

授業の中での聞き取りや発表・会話練習に興味がわからない生徒・学生は特に中学 (48.2%) と高校 (54.1%) で多い。ちなみに、大学では 29.4% に激減する (Q6 参照)。

興味がわからない理由として特に多かったのは、「実際に役立ちそうにないから」と「聞いたり話したりがつまらない」の二つであった。ただ面白いことに、この二つの比率は学校段階別にみると、逆転の現象が見られた。つまり、「実際に役立ちそうにないから」は中学期では 23% 程度であるが、それが上級学校に進むに従って高くなり、大学期には 45.2% と 2 倍に膨れ上がっている。一方の「聞いたり話したりがつまらない」は、中学期には 39.5% と高い数値を示したが、大学期には 23.6% にまで減少している。「実際に役立ちそうにないから」という回答が学校段階が上がるに従って増加するのは、おそらく上級学校に進むに従って、教室以外の英語に触れ、より広い視野に立って英語をとらえるようになるため、授業という制約の中での実用英語教育に対する限界を感じとるようになる」と推論する。

### 1. 4 成績評価に対する不満は比較的少ない

Q9 と Q10 では成績評価に関する現状への反応と改善の余地について尋ねたが、学校段階別に異なった結果が得られた。現状の評価についての質問に対する選択肢は次の 3 つを設定した。

① 定期テストの点数で

② 定期テストと小テスト等の点数を加味して

③ テスト以外に発表や作品なども考慮して

中・高・大のうち、最も多様な観点から評価をしているのが中学、次



いで大学、そして高校となっていた。特に中学では、「テスト以外に発表や作品なども考慮」した評価が 50.8%と非常に多く、大学（26.9%）や高校（13.6%）を大きく引き離している。また、大学では、①～③の選択肢の比率がほぼ同じ数値を示しており、成績評価法が分散していることが分かる。

現状の成績評価に対する不満は意外に少なく、「特に不満がない」と答えた者は中学で 75.1%、高校 74.1%、大学 68.4%であり、『総合的研究』でも評価は比較的妥当という結果になっている。ただ、大学期には、「不満がある」とする回答者が 31.3%とかなり増加していることから、中学や高校段階では評価法の是非に対する判断力そのものがまだ十分に発達していない可能性があるとも考えられる。

また、回答者が望む評価法で最も高い数値を示した選択肢は、中・高・大と共通して「自分の長所・短所が分かるような評価」であり、いずれの学校段階でも 40%以上の回答であった。ただ、選択肢のうち、「積極的に発表する態度を重視の評価」を望んだ者が意外に少なく、中学 9.2%、高校 5.4%、大学 11.1%にとどまっており、学校段階を問わず学習者のやや消極的な姿勢が見られる。

## 2. 性差から見た特徴

### 2. 1 英文解釈や文法を嫌う傾向は高校女子が強い

「英文解釈や文法ばかりで英語が嫌いになった」者の数において、高校期の男女に差が見られた(Q2-4 参照)。中学期では、英文や文法そのものがそれほど複雑でないからか、男女の差はほとんどなく、特に中学 1 年では男子の方が多くなっているくらいである。また、大学期は中学に近く、大学 1 年で若干女性の比率が高くなっている以外は、2 年～4 年までは男女の数値がほとんど同じであった。

ところが、高校期だけがまったく異なった数値を示しており、その内訳は次表のとおり、3 年間を通じて女子の数値が高い。

高校期に「英文解釈や文法ばかりで英語が嫌いになった」者の比率		
学 年 \ 性 別	男 性	女 性
高校 1 年	28.8%	53.3%
高校 2 年	39.2%	48.1%
高校 3 年	38.4%	46.6%

## 2.2 英語の聞き取りや発表・会話練習に対する興味は女性の方が強い

前項の「英文解釈や文法」よりも、女性は「聞き取り、発表・会話練習」といったオーラル面でのドリルをより好んでいることがわかる（Q6 参照）。中・高・大を総じた比率では、聞き取りや会話練習に興味をわく者は、男性 47.3%、女性 63.7%であり、女性の興味が強いという傾向はかなりはっきりと出ていると言えよう。どの学校段階でもその傾向は出ているが、特に大学期で強く、男性が 50～60%台であるのに対し、女性は 75～90%と非常に高い数値を示している。またこの興味の強さは、裏を返せば現実の授業に対する厳しい観察にも反映されることになる。特に大学の 3・4 年の女性では、現在の英語授業での聞き取りや発表・会話練習が「実際の役に立ちそうにない」と考えている者が非常に多く、興味がある分なおさら今の授業が不十分だと感じている。

女性のこうした実用英語志向は、別の質問にも表れている。Q7 の「英語に関して授業以外で興味のあること」に対しても、6 つの選択肢のうち 5 つにおいて女性の方が高い数値を示した。この 5 つは「英会話」、「海外の雑誌など」といった実用性の高い項目であり、ただ一つ男性の方が高い数値だったのは「インターネットや電子メール」という選択肢だった（男性 30.7%、女性 29.2%）。また、Q8 の「英語をやっていてよかったのはどんな時か」に対する回答で、「英語を話し外国人と友達になれた時」という選択肢に対する回答数は、女性が男性の 2 倍であった（男性 6.4%、女性 12.6%）。

## 2.3 「英語を学ぶ意味」に関して、男性は消極的、女性は積極的

「なぜ英語を勉強するのか」（Q13）に対する理由や動機については、女性の方がより積極的であることが分かった。4 つの選択肢から男性が選んだ最上位は、「就職や受験に必要なだから」と「授業にあるのでしかたなく」の 2 つであった。一方、女性の回答の上位の 2 つは、「好きで興味があるから」と「将来英語を使う仕事をしたいから」で、女性の方がより積極的な動機で英語を学ぼうとしていることが確認された。ちなみに、『総合的研究』の調査では、英語授業に進んで取り組んだ理由に関する大学生の回答のうち上位になったのは、「英語が必要だから」と「英語が好きだったから」であり、次いで「よい成績をとりたいから」となっている。

### 3. 情意面から見た特徴

#### 3. 1 半数が人前での発言が苦手

Q17 で「教室で発言することについて」の調査を行ったが、小さい頃からあるいは中学生から人前で話すことが苦手と回答した者は合わせて 47.6% であった。教室で発言することが苦手と答えた者が理由としてあげたうち、「あがってしまって頭が働かなくなるから」が最も多くて 34.6%、次に多かったのが「自分の考えに自信がないから」の 25.9% であった。ただ、ここで一点注意すべきなのは、「人前で発言することに抵抗はないが発言する意欲がわからない」と答えた者が回答者全体の 23.3% もおり、意欲のわく授業改善が望まれよう。『総合的研究』においても、例えば高校生で学習意欲がないと思われる生徒は全体の 30% を超えており、授業方法や教材などを含む改善への必要性がまだまだ求められていることは明らかである。

#### 3. 2 小さなクラス・サイズでも発言への抵抗がある

Q17-2 では、クラスがどの位の人数になると発言するときに抵抗を感じるかという質問をしたが、小人数でも抵抗を感じるということが分かった。10 人の前で発言することに抵抗を感じる人は 29.0% に上り、40 人というクラス・サイズでは、実に 90.7% になる。回答者全体を平均すると、クラス・サイズが 18 人を超えると抵抗を感じる人が大きく増えるという結果である。これは、『総合的研究』での大学生に対する質問でも「20 人以下が望ましい」と回答した者が 35.5% と最も多く、本研究の調査結果と一致した。小さなクラス・サイズを求める声は予想以上に多いことが確認された。

### 4. 英語と国語の授業の関係から見た特徴

本研究の特徴の一つは、発足以来の本共同研究の性質から、言語教育という点で共通する英語と国語の授業に関しての調査を行い、中学生・高校生・大学生が、2 つの教科の関係をどのように捉えているかを探ることであった。

Q19-1 および 2 の質問を設定し、様々な角度から調査を行ったが、その結果は 52 ページのグラフに一本化し、各項目の上段が英語、下段が国語となっている。表に示されている調査項目は、縦軸には[A]から[G]

の順に、読み物・対話の教材、表現活動、場面による基本表現、語彙に関しての項目が並べられている。横軸には、これら縦軸の項目に対応した学習効果・結果が並んでいる。そして、縦軸と横軸の各項目との関連の有無についての意識を尋ねる設問になっている。

まず、縦軸の始めに配置されている[A]の「読み物教材を通じて」という項目との関連付けで、英語の調査で最も多かったのが「思考力がつく」であった。思考力の向上と結び付けたということは、語彙・語法・文法などいわばミクロな面にとどまらず、学習者は自身のスキーマや経験に照らしてもっとマクロなプロセスをも直感的に察知していると予測される。これは更に、国語・英語ともに高い数値を示した「登場人物の気持ちがわかるようになる」、「人の生き方や考え方を学べる」などの項目を勘案すると、読解学習に関して大きく深い捉え方をしていることがより明確になろう。これらの関連項目の数値で男女の差があるのは「人の生き方…」の選択肢で、男性 23.1%に対して、女性 32.8%と女性が多くなっている。中学がやや低い、高校と大学は同様に女性が高いという結果を示している。

一方、[B]の「対話教材を通じて」に対する回答は直接的で、「話す力が身につく」、「聴く力が身につく」という関連付けが英語・国語ともに最上位を占めた。英語では、それぞれ 59.9%、46.5%であり、国語では 41.3%、26.2%となっている。この数字から、対話教材を、表現を覚えたり練習したりというドリル的な役割を担うものとして捉えていることが窺われる。

[C]の「語彙が増えることにより」に対しては、英語・国語ともに最上位の2項目が一致しており、「文章が作れるようになる」(英語 60.0%、国語 48.5%)がトップで、次いで「話す力が身につく」(英語 34.5%、国語 30.6%)となっている。ただ、「聴く力がつく」という理解面との関連付けが希薄であり(英語 15.0%、国語 9.5%)、語彙力は「話す、書く」といった運用面との強い関係が表れている。

[D]の「教材の語彙が難しいので」との関連に対する回答は、英語と国語の間で多少の違いが見られる。英語では、1位の「文章を作るのが難しい」(38.0%)と、2位の「読解力が落ちる」(36.1%)がほぼ同数で、これらとかなりの差をつけて「話す力が身につかない」(20.5%)が3位に続いている。国語の場合は、「読解力が落ちる」が1位で 31.6%を占め、次いで「文章を作るのが難しい」が 27.2%で続いているが、「話す力が身につかない」と答えたのはわずか 11.7%にとどまっている。この質問とちょうど表裏の関係にある前項[C]と比較してみると、英語では両項目とも「文章力」との関連を最上位に挙げ、また「話す力」との関連も強いことから、語彙力と表現力とを強く結び付けていることが分かる。これ

に比べて、国語では語彙が難しい場合の「話す力」との関連が低く、語彙の難易レベルに関して英語と国語の間では異なった認識をしている可能性が示唆されている。

〔E〕から〔G〕の項目は、表現に関するものである。〔E〕の「表現活動をするので」と、〔G〕の「表現活動が少ないので」は同じ事項を両面から質問しているので、回答の信頼度が増すはずである。まず、〔E〕の「表現活動をするので」に対する回答は、英語・国語とも1位から3位までの順位が一致しており、順に「話す力が身につく」(英語 53.1%、国語 45.4%)、「文章が作れるようになる」(英語 40.8%、国語 36.8%)、「思考力が身につく」(英語 33.8%、国語 33.0%)となっている。ただ、3位の「思考力が身につく」に関しては、学校段階間での差がかなり顕著に見られる。つまり、中学と高校での英語での数値はそれぞれ 26.9%、28.8%と殆ど差がないが、大学での数値が 44.2%と跳ね上がっている。おそらく、ある程度自分の考えを表現するだけの英語力がつくまでは、言語と思考を結びつけるという考えを持つには至らないからだと推論できよう。

これと逆の関係にある項目〔G〕の「表現活動が少ないので」に対しては、「話す力が身につかない」と関連付けた回答が英語・国語ともに群を抜いて高く、英語で 69.2%、国語で 56.3%になっている。これと並んで、文章力や読解力に対するマイナス要因との関連付けは、両選択肢ともに 20%程度にとどまっているが、国語では「表現活動の少なさ」と「読解力が落ちる」との関連がやや強くなっている。この点に関しては、国語は回答者にとって母国語であるので、本来話す能力の向上には、英語に対するほどには意識が向かないからではないかと考えられる。

〔F〕の「場面に応じた基本表現を学ぶ」に対する回答は、やはり「話す力が身につく」が英語・国語とも断然1位になっており、英語 42.5%、国語 35.3%という数値になっている。

以上に述べたことを総合すると、読み物教材に関しては、英語・国語ともに「思考力」というマクロな見地からの捉え方をしていることが分かる。また語彙や表現活動に関しては、英語では発表能力との関連が最も強くなっているが、国語の場合は読解力との結び付きも強くなっていて、両言語に対する回答者の意識の違いが表れた。

## I V . 資 料

1 . アンケート用紙

2 . アンケート結果データ





# 1. アンケート用紙

## 【 語学教育に関するアンケート 】

- F1. 性別                      1. 男性                      2. 女性
- F2. 所属                      1. 中学生                      2. 高校生                      3. 大学生
- F3. 学年                      (       )年生

### [ 英語の授業全般について ]

Q1. いままでに英語の授業がおもしろいと思ったことがありますか。(1つに○)

1. はい                      2. いいえ

< Q1で「1. はい」とお答えの方にお伺いします >

Q1-1. それはどのような授業の時でしたか。(3つまで○)

- |                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 先生がおもしろかった時  | 4. 正しく答えられた時                   |
| 2. 教材がおもしろかった時  | 5. 発表や意見が認められた時                |
| 3. 授業内容がよくわかった時 | 6. その他(                      ) |

Q2. いままでに英語の授業がつまらないと思ったことがありますか。(1つに○)

1. はい                      2. いいえ

< Q2で「1. はい」とお答えの方にお伺いします >

Q2-1. 内容に関して。(2つまで○)

- |                  |                                |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 受験のことばかり      | 4. 教科書がつまらない                   |
| 2. 受験に役立たないことばかり | 5. 自分の考えていることを英語で言えない          |
| 3. 難しすぎて授業がわからない | 6. その他(                      ) |

Q2-2. 方法に関して。(2つまで○)

1. 自分たちで発言したり、発表したりする活動があまりない
2. 先生にユーモアがない
3. 毎回同じような授業で単調である
4. 頑張っても認めてもらえない
5. その他(                      )

Q2-3. いつ頃から英語がつまらなくなりましたか。(1つに○)

1. 最初から
2. 中学生                      ( 1・2・3 年 ) の ( 1・2・3 学期頃 ) から
3. 高校生                      ( 1・2・3 年 ) の ( 1・2・3 学期頃 ) から
4. 大学入学後
5. いつのまにか

Q2-4. どんなきっかけで英語が嫌いになりましたか。(いくつでも○)

- |                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 授業中に質問されたが答えられなかった | 5. 授業が単調なので                    |
| 2. 英文解釈や文法ばかりで        | 6. 先生がおもしろくない                  |
| 3. 発音が難しくて            | 7. 授業内容が分からなくて                 |
| 4. 授業中に注意されて          | 8. その他(                      ) |

Q3. どんなことがきっかけで英語が分からなくなりましたか。(1つに○)

1. 最初から
2. 毎日の授業の小さな疑問をそのままにしておいた
3. 先生の話の中のことで疑問に思っていたら話が先に行ってしまった
4. 予習をしなかった
5. 復習をしなかった
6. その他( )

Q4. 現在の英語の授業全般について、どのようなことをもっと重点的にやってほしいですか。(1つに○)

1. 聴く力
2. 話す力
3. 読む力
4. 書く力

Q5. 英語の授業全般についての不満。(1つに○)

1. 単調である → ( )
2. 受験を意識しすぎ
3. 実用的でない
4. 予備校や塾のほうがおもしろい
5. 英語の聞き取りや英語での発表・会話練習は、受験や就職に役立たないのでやめてもらいたい
6. その他( )

Q6. 授業の中での英語の聞き取りや、発表・会話練習について。(1つに○)

1. 興味がわく
2. 興味がわからない

< Q6で「1. 興味がわく」とお答えの方にお伺いします >

Q6-1. どのような理由で興味がわきますか。(1つに○)

1. 受験や就職試験に役立ちそうだから
2. 実際に役立ちそうだから
3. 英語を聞いたり・話したりすることがおもしろいから
4. その他( )

< Q6で「2. 興味がわからない」とお答えの方にお伺いします >

Q6-2. どのような理由で興味がわきませんか。(1つに○)

1. 受験や就職試験に役立ちそうにないから
2. 実際に役立ちそうにないから
3. 英語を聞いたり・話したりすることがつまらないから
4. その他( )

Q7. 現在、英語に関して授業以外で興味のあることは。(いくつでも○)

1. インターネットや電子メール
2. 洋画や英語の歌
3. 英会話
4. 海外留学
5. 海外の商品を通信販売で
6. 海外の雑誌など
7. その他( )

Q8. 英語をやっていてよかったのはどんな時ですか。(1つに○)

1. 外国人に話しかけられた時
2. 映画や歌の内容が少しでも分かった時
3. 英語で外国人と文通ができた時
4. 英語の本を読んだ時
5. 英語を話し外国人と友達になれた時
6. 英語で通信販売などを利用した時
7. その他( )

Q9. あなたの先生は、どのような方法で成績をつけていますか。(1つに○)

1. 定期テストの点数でつけている
2. 定期テストの点数に、小テストなどの点数も加味している
3. テスト以外に、発表や作品なども考慮に入れている
4. その他( )

Q10. 今の成績のつけ方や評価の方法全般で不満はありますか。(1つに○)

1. ある
2. 特にない

< Q10で「1. ある」とお答えの方にお伺いします >

Q10-1. どのような評価をしてほしいと思いますか。(1つに○)

1. 自分の長所・短所が分かるような評価
2. 通常の授業での活動を重視した評価
3. 積極的に発表する態度を重視した評価
4. 定期テストの点数のみでつける評価
5. その他( )

## [ 学習の目的・到達目標などについて ]

Q11. あなたの英語力のうち、一番伸ばしたいと思っているものは次のどれですか。(2つまで○)

1. 聴く力
2. 話す力
3. 読む力
4. 書く力

Q12. 今の学校を卒業するまでに、どの程度の英語力をつけたいですか。各項目についてお答え下さい。  
(各項目ごとに2つまで○)

Q12-1. 聴くこと

1. 外国人の英語が聞き取れる
2. 一般の外国人の話が聞き取れる
3. 入試のリスニングテストに合格できる
4. 各種資格試験のリスニングテストに合格できる
5. ラジオやテレビの英語のニュースが聞き取れる

Q12-2. 話すこと

1. 教室で話せる(ペアワーク・スキット・スピーチ・外国人の先生とのやりとり等)
2. 買い物や道案内などの日常生活レベル
3. 入試、資格試験のスピーキングテストに合格できる
4. 筋道に沿って論理的に話せる
5. 時事問題、政治経済、科学など専門的な会話や討論ができる

Q12-3. 読むこと

1. 教科書の教材が読める
2. 入試問題の読解問題が分かる
3. 資格試験の読解問題がわかる
4. 英字新聞や原書が読める
5. インターネット上の情報をすばやく読み、理解できる

Q12-4. 書くこと

1. 教室内で書ける(自己紹介・英作文・スピーチ原稿など)
2. 手紙、物品の購入など生活上必要な文章が書ける
3. 入試の作文(小論文)が書ける
4. 資格試験の作文(小論文)が書ける
5. 筋道に沿った論理的な文章が書ける

Q13. あなたにとって、英語を学ぶ意味は何ですか。(1つに○)

1. 好きで興味があるから
2. 就職や受験に必要なだから
3. 将来英語を使う仕事をしたいから
4. 授業にあるのでしかたなく

Q14. 英語の映画(ビデオ、テレビでの放映も含む)を1年間に何本ぐらい見ますか。

--	--	--

 本

Q15. 英語の音楽をどのように聴きますか。(1つに○)

1. 英語の歌詞に興味をもって聴く
2. BGMとして聞き流している
3. あまり聴かない

[ 英語での自己表現について ]

Q16. 英語の授業で自分の考えをうまく表現できなくてもどかしく思ったことがありますか。(1つに○)

1. しばしばある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない

< Q16で「1. しばしばある」「2. ときどきある」とお答えの方にお伺いします >

Q16-1. その理由はどんなことだと思いますか。(1つに○)

1. 教室(人前)で話をする事自体にはそれほど抵抗はないが、英語力に自信がないので
2. 何とか表現できるだけの英語力はあると思うが、特に発言しようという積極的な意味をあまり感じないので
3. 人前での発表は日本語でも得意でなく、ましてや英語ではとても発言する勇気がない
4. その他( )

< Q16で「1. しばしばある」とお答えの方にお伺いします >

Q16-2. 英語力の何に特に自信がありませんか。(1つに○)

1. 語彙
2. 発音
3. 文法
4. その他( )

## [ 教室(人前)で話をするについて ]

Q17. 教室で発言することについて、あなたは次のどれにあたりますか。(1つに○)

1. 小さい頃(たとえば小学生の頃)は、割と平気だったが、中学生の頃から段々苦手になった
2. 小さい頃から、人前で話すことは苦手だった
3. 人前で話すことはそれほど抵抗はない
4. 抵抗はないが、発言する意欲がわからない

< Q17で「1」または「2」とお答えの方にお伺いします >

Q17-1. その理由はどんなことだと思いますか。(1つに○)

1. あがってしまって、頭が働かなくなるから
2. 自分の考えに自信がないから
3. 自分なりの考えはあるが、それをまとめるだけの言葉(表現力)に自信がないから
4. 目立ちたくないから
5. その他( )

< Q17-1で「1」または「2」とお答えの方にお伺いします >

Q17-2. 教室で発言するとき、何人ぐらいの前だと抵抗を感じるようになりますか。

人

## [ 言語活動全般について ]

Q18. 学校でならっている英語と国語はどちらも「言語」に関する授業ですが、この2つの科目の授業の間には、どんな関係があると思いますか。(1つに○)

1. 言葉を通して、それぞれの国の文化や物の考え方などについて、知識を増やしたり考えたりという点で、英語も国語も共通点は多いと思う
2. 母国語の「国語」と外国語の「英語」とでは、勉強する角度(アプローチ)は異なっても当然だが、2つの科目はお互いに補いあう関係にあると思う
3. 母国語でやっている「国語」と、知らない単語や文法を覚えてばかりの英語とでは、全然違うと思う(あまり共通点を感じない)
4. その他( )

Q19. あなたの受けている英語と国語の授業について、各項目についてお答え下さい。(いくつでも○)

	(1) 話す力が身につく	(2) 登場人物の気持ちが分かるようになる	(3) 人の生き方や考え方を学ぶことができる	(4) 思考力が身につく	(5) 聴く力が身につく	(6) 文章を作るのが難しい	(7) 文章が作れるようになる	(8) 世界の文化や言語に対する関心が高まる	(9) 自分と違った意見を知り、受け入れることができるようになる	(10) 話す力が身につかない	(11) 読解力が落ちる
--	-----------------	--------------------------	---------------------------	-----------------	-----------------	-------------------	--------------------	---------------------------	-------------------------------------	--------------------	-----------------

◎ 英語について

(A) 読み物教材を通じて	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(B) 対話教材を通じて	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(C) 語彙が増えることにより (単語や熟語)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(D) 教材の語彙が難しいので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(E) 表現活動をするので (スピーチや作文など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(F) 場面に応じた基本表現 を学ぶので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(G) 表現活動が少ないので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

◎ 国語について

(A) 読み物教材を通じて	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(B) 対話教材を通じて	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(C) 語彙が増えることにより (単語や熟語)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(D) 教材の語彙が難しいので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(E) 表現活動をするので (スピーチや作文など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(F) 場面に応じた基本表現 を学ぶので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(G) 表現活動が少ないので	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

## 2. アンケート結果データ

【語学教育に関するアンケート】

F 2. 所 属

**【 総 数 】**	合 計	中学生	高校生	大学生
3149 100.0	892 28.3	1134 36.0	1123 35.7	
【 属 性 】				
男性	1566 100.0	483 30.8	630 40.2	453 28.9
女性	1535 100.0	388 25.3	493 32.1	654 42.6
無回答	48 100.0	21 43.8	11 22.9	16 33.3
中 学 - 合 計	892 100.0	892 100.0	-	-
男 性	483 100.0	483 100.0	-	-
女 性	388 100.0	388 100.0	-	-
無回答	21 100.0	21 100.0	-	-
高 校 - 合 計	1134 100.0	-	1134 100.0	-
男 性	630 100.0	-	630 100.0	-
女 性	493 100.0	-	493 100.0	-
無回答	11 100.0	-	11 100.0	-
大 学 - 合 計	1123 100.0	-	-	1123 100.0
男 性	453 100.0	-	-	453 100.0
女 性	654 100.0	-	-	654 100.0
無回答	16 100.0	-	-	16 100.0

【語学教育に関するアンケート】

F 1. 性 別

**【 総 数 】**	合 計	男 性	女 性	無回答
3149 100.0	1566 49.7	1535 48.7	48 1.5	
【 属 性 】				
男性	1566 100.0	-	-	-
女性	1535 100.0	-	1535 100.0	-
無回答	48 100.0	-	-	48 100.0
中 学 - 合 計	892 100.0	483 54.1	388 43.5	21 2.4
男 性	483 100.0	483 100.0	-	-
女 性	388 100.0	-	388 100.0	-
無回答	21 100.0	-	-	21 100.0
高 校 - 合 計	1134 100.0	630 55.6	493 43.5	11 1.0
男 性	630 100.0	630 100.0	-	-
女 性	493 100.0	-	493 100.0	-
無回答	11 100.0	-	-	11 100.0
大 学 - 合 計	1123 100.0	453 40.3	654 58.2	16 1.4
男 性	453 100.0	453 100.0	-	-
女 性	654 100.0	-	654 100.0	-
無回答	16 100.0	-	-	16 100.0



【語学教育に関するアンケート】

F3. 学 年

**【 総 数 】 **	合 計				
	1年生	2年生	3年生	4年生	無回答
3149	1217	931	862	72	67
100.0	38.6	29.6	27.4	2.3	2.1
【 属 性 】					
男性	1566	549	437	38	20
	100.0	35.1	27.9	2.4	1.3
女性	1535	661	418	34	21
	100.0	43.1	27.2	2.2	1.4
無回答	48	7	7	-	26
	100.0	14.6	14.6	-	54.2
中 学 - 合 計					
892	289	283	298	-	22
100.0	32.4	31.7	33.4	-	2.5
男性	483	154	170	-	5
	100.0	31.9	35.2	-	1.0
女性	388	133	123	-	3
	100.0	34.3	31.7	-	0.8
無回答	21	2	5	-	14
	100.0	9.5	23.8	-	66.7
高 校 - 合 計					
1134	373	372	370	-	19
100.0	32.9	32.8	32.6	-	1.7
男性	630	211	191	-	7
	100.0	33.5	30.3	-	1.1
女性	493	161	178	-	7
	100.0	32.7	36.1	-	1.4
無回答	11	4	1	-	5
	100.0	9.1	9.1	-	45.5
大 学 - 合 計					
1123	555	276	194	72	26
100.0	49.4	24.6	17.3	6.4	2.3
男性	453	184	76	38	8
	100.0	40.6	16.8	8.4	1.8
女性	654	367	117	34	11
	100.0	56.1	17.9	5.2	1.7
無回答	16	4	1	-	7
	100.0	25.0	6.3	-	43.8

【語学教育に関するアンケート】

所 属 × 学 年

	中 学			高 校			大 学							
	合 計	1 年生	2 年生	3 年生	無回答	1 年生	2 年生	3 年生	無回答	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	無回答
**【 総 数 】**	3149 100.0	289 9.2	283 9.0	298 9.5	22 0.7	373 11.8	372 11.8	370 11.7	19 0.6	555 17.6	276 8.8	194 6.2	72 2.3	26 0.8
【 属 性 】														
男 性	1566 100.0	154 9.8	154 9.8	170 10.9	5 0.3	211 13.5	221 14.1	191 12.2	7 0.4	184 11.7	147 9.4	76 4.9	38 2.4	8 0.5
女 性	1535 100.0	133 8.7	129 8.4	123 8.0	3 0.2	161 10.5	147 9.6	178 11.6	7 0.5	367 23.9	125 8.1	117 7.6	34 2.2	11 0.7
無回答	48 100.0	2 4.2	-	5 10.4	14 29.2	1 2.1	4 8.3	1 2.1	5 10.4	4 8.3	4 8.3	1 2.1	-	7 14.6
中 学 - 合 計	892 100.0	289 32.4	283 31.7	298 33.4	22 2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男 性	483 100.0	154 31.9	154 31.9	170 35.2	5 1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女 性	388 100.0	133 34.3	129 33.2	123 31.7	3 0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	21 100.0	2 9.5	-	5 23.8	14 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 校 - 合 計	1134 100.0	-	-	-	-	373 32.9	372 32.8	370 32.6	19 1.7	-	-	-	-	-
男 性	630 100.0	-	-	-	-	211 33.5	221 35.1	191 30.3	7 1.1	-	-	-	-	-
女 性	493 100.0	-	-	-	-	161 32.7	147 29.8	178 36.1	7 1.4	-	-	-	-	-
無回答	11 100.0	-	-	-	-	1 9.1	4 36.4	1 9.1	5 45.5	-	-	-	-	-
大 学 - 合 計	1123 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	555 49.4	276 24.6	194 17.3	72 6.4	26 2.3
男 性	453 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	184 40.6	147 32.5	76 16.8	38 8.4	8 1.8
女 性	654 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	367 56.1	125 19.1	117 17.9	34 5.2	11 1.7
無回答	16 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	4 25.0	4 25.0	1 6.3	-	7 43.8

【語学教育に関するアンケート】

Q1. いまままでに英語の授業がおもしろいと思ったこと (SA)

※【 総 数 】**	合計	はい	いいえ	無回答
【 属 性 】				
男性	1566 100.0	1173 74.9	391 25.0	2 0.1
女性	1535 100.0	1346 87.7	183 11.9	6 0.4
無回答	48 100.0	30 62.5	8 16.7	10 20.8
中学 - 合計	892 100.0	704 78.9	177 19.8	11 1.2
男性	483 100.0	364 75.4	119 24.6	-
女性	388 100.0	330 85.1	56 14.4	2 0.5
無回答	21 100.0	10 47.6	2 9.5	9 42.9
高校 - 合計	1134 100.0	826 72.8	304 26.8	4 0.4
男性	630 100.0	432 68.6	196 31.1	2 0.3
女性	493 100.0	388 78.7	103 20.9	2 0.4
無回答	11 100.0	6 54.5	5 45.5	-
大学 - 合計	1123 100.0	1019 90.7	101 9.0	3 0.3
男性	453 100.0	377 83.2	76 16.8	-
女性	654 100.0	628 96.0	24 3.7	2 0.3
無回答	16 100.0	14 87.5	1 6.3	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q1-1. それほどのような授業の時でしたか (3 LA)

※【 総 数 】**	該当者/ Q1=1	先生がおもしろかった時	教材がおもしろかった時	授業内容がよくわかった時	正しく答えられた時	発表や意見が認められた時	その他	無回答
【 属 性 】								
男性	1173 100.0	583 49.7	315 26.9	722 61.6	254 21.7	133 11.3	74 6.3	26 2.2
女性	1346 100.0	757 56.2	483 35.9	900 66.9	257 19.1	181 13.4	91 6.8	12 0.9
無回答	30 100.0	11 36.7	7 23.3	20 66.7	6 20.0	5 16.7	3 10.0	-
中学 - 合計	704 100.0	318 45.2	178 25.3	416 59.1	183 26.0	78 11.1	54 7.7	19 2.7
男性	364 100.0	165 45.3	89 24.5	195 53.6	98 26.9	43 11.8	21 5.8	15 4.1
女性	330 100.0	152 46.1	87 26.4	214 64.8	81 24.5	34 10.3	32 9.7	4 1.2
無回答	10 100.0	1 10.0	2 20.0	7 70.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	-
高校 - 合計	826 100.0	399 48.3	251 30.4	552 66.8	153 18.5	78 9.4	59 7.1	12 1.5
男性	432 100.0	205 47.5	110 25.5	282 65.3	92 21.3	46 10.6	34 7.9	7 1.6
女性	388 100.0	193 49.7	138 35.6	265 68.3	61 15.7	32 8.2	25 6.4	5 1.3
無回答	6 100.0	1 16.7	3 50.0	5 83.3	-	-	-	-
大学 - 合計	1019 100.0	634 62.2	376 36.9	674 66.1	181 17.8	163 16.0	55 5.4	7 0.7
男性	377 100.0	213 56.5	116 30.8	245 65.0	64 17.0	44 11.7	19 5.0	4 1.1
女性	628 100.0	412 65.6	258 41.1	421 67.0	115 18.3	115 18.3	34 5.4	3 0.5
無回答	14 100.0	9 64.3	2 14.3	8 57.1	2 14.3	4 28.6	2 14.3	-

【語学教育に関するアンケート】

Q 2. いまままでに英語の授業がつまらなと思ったこと (S A)

※【 総 数 】※	合 計	は い	いいえ	無回答
【 属 性 】				
男 性	1566 100.0	1297 82.8	257 16.4	12 0.8
女 性	1535 100.0	1334 86.9	194 12.6	7 0.5
無回答	48 100.0	31 64.6	7 14.6	10 20.8
中 学 - 合 計	892 100.0	641 71.9	238 26.7	13 1.5
男 性	483 100.0	342 70.8	137 28.4	4 0.8
女 性	388 100.0	292 75.3	96 24.7	- -
無回答	21 100.0	7 33.3	5 23.8	9 42.9
高 校 - 合 計	1134 100.0	991 87.4	134 11.8	9 0.8
男 性	630 100.0	544 86.3	81 12.9	5 0.8
女 性	493 100.0	437 88.6	52 10.5	4 0.8
無回答	11 100.0	10 90.9	1 9.1	- -
大 学 - 合 計	1123 100.0	1030 91.7	86 7.7	7 0.6
男 性	453 100.0	411 90.7	39 8.6	3 0.7
女 性	654 100.0	605 92.5	46 7.0	3 0.5
無回答	16 100.0	14 87.5	1 6.3	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q 2-1. つまらないと思った授業内容に関して (2 L A)

※【 総 数 】※	該当者/ Q 2 = 1	受験のこ とばかり	受験に役 立たない ことばかり	難しすぎ て授業が わからな い	教科書が つまらな い	自分の考 えが英語 で言えな い	その他	無回答
【 属 性 】								
男 性	1297 100.0	203 15.7	78 6.0	481 37.1	450 34.7	370 28.5	190 14.6	60 4.6
女 性	1334 100.0	199 14.9	58 4.3	526 39.4	509 38.2	411 30.8	188 14.1	84 6.3
無回答	31 100.0	8 25.8	1 3.2	10 32.3	14 45.2	7 22.6	4 12.9	2 6.5
中 学 - 合 計	641 100.0	37 5.8	33 5.1	278 43.4	216 33.7	206 32.1	82 12.8	34 5.3
男 性	342 100.0	27 7.9	22 6.4	142 41.5	126 36.8	101 29.5	40 11.7	12 3.5
女 性	292 100.0	10 3.4	11 3.8	132 45.2	87 29.8	103 35.3	42 14.4	22 7.5
無回答	7 100.0	- -	- -	4 57.1	3 42.9	2 28.6	- -	- -
高 校 - 合 計	991 100.0	134 13.5	61 6.2	415 41.9	321 32.4	238 24.0	167 16.9	59 6.0
男 性	544 100.0	84 15.4	40 7.4	202 37.1	170 31.3	112 20.6	103 18.9	32 5.9
女 性	437 100.0	47 10.8	20 4.6	210 48.1	147 33.6	124 28.4	63 14.4	26 5.9
無回答	10 100.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0
大 学 - 合 計	1030 100.0	239 23.2	43 4.2	324 31.5	436 42.3	344 33.4	133 12.9	53 5.1
男 性	411 100.0	92 22.4	16 3.9	137 33.3	154 37.5	157 38.2	47 11.4	16 3.9
女 性	605 100.0	142 23.5	27 4.5	184 30.4	275 45.5	184 30.4	83 13.7	36 6.0
無回答	14 100.0	5 35.7	- -	3 21.4	7 50.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1

【語学教育に関するアンケート】

Q 2-2. つまらなと思う授業方法に関して (2 L A)

※【 総 数 】※	該当者／ Q 2 = 1	発言した り発表す る機会が ない	先生にコ ーモアが ない	毎回同じ ような授 業で単調 である	頑張っ ても認め もらえな い	その他	無回答
【 属 性 】							
男性	1297 100.0	168 13.0	412 31.8	892 68.8	104 8.0	91 7.0	106 8.2
女性	1334 100.0	187 14.0	420 31.5	937 70.2	123 9.2	90 6.7	105 7.9
無回答	31 100.0	6 19.4	7 22.6	21 67.7	3 9.7	1 3.2	3 9.7
中学 - 合計	641 100.0	73 11.4	191 29.8	359 56.0	80 12.5	43 6.7	96 15.0
男性	342 100.0	42 12.3	111 32.5	190 55.6	45 13.2	24 7.0	46 13.5
女性	292 100.0	30 10.3	78 26.7	166 56.8	33 11.3	19 6.5	49 16.8
無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	3 42.9	2 28.6	-	1 14.3
高校 - 合計	991 100.0	102 10.3	272 27.4	709 71.5	73 7.4	79 8.0	84 8.5
男性	544 100.0	54 9.9	151 27.8	395 72.6	33 6.1	44 8.1	44 8.5
女性	437 100.0	46 10.5	119 27.2	309 70.7	39 8.9	34 7.8	39 8.9
無回答	10 100.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
大学 - 合計	1030 100.0	186 18.1	376 36.5	782 75.9	77 7.5	60 5.8	34 3.3
男性	411 100.0	72 17.5	150 36.5	307 74.7	26 6.3	23 5.6	16 3.9
女性	605 100.0	111 18.3	223 36.9	462 76.4	51 8.4	37 6.1	17 2.8
無回答	14 100.0	3 21.4	3 21.4	13 92.9	-	-	1 7.1

【語学教育に関するアンケート】

Q 2-3. いつ頃から英語がつまらなくなったか (S A)

※【 総 数 】※	該当者／ Q 2 = 1	最初から	中学生	高校生	大学入学 後	いつのま にか	無回答
【 属 性 】							
男性	1297 100.0	179 13.8	463 35.7	265 20.4	45 3.5	248 19.1	97 7.5
女性	1334 100.0	94 7.0	382 28.6	338 25.3	99 7.4	272 20.4	149 11.2
無回答	31 100.0	6 19.4	5 16.1	8 25.8	1 3.2	6 19.4	5 16.1
中学 - 合計	641 100.0	103 16.1	323 50.4	-	1 0.2	141 22.0	73 11.4
男性	342 100.0	64 18.7	182 53.2	-	1 0.3	67 19.6	28 8.2
女性	292 100.0	37 12.7	140 47.9	-	-	72 24.7	43 14.7
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	-	-	2 28.6	2 28.6
高校 - 合計	991 100.0	118 11.9	323 32.6	281 28.4	-	181 18.3	88 8.9
男性	544 100.0	75 13.8	177 32.5	146 26.8	-	105 19.3	41 7.5
女性	437 100.0	40 9.2	144 33.0	131 30.0	-	76 17.4	46 10.5
無回答	10 100.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	-	-	1 10.0
大学 - 合計	1030 100.0	58 5.6	204 19.8	330 32.0	144 14.0	204 19.8	90 8.7
男性	411 100.0	40 9.7	104 25.3	119 29.0	44 10.7	76 18.5	28 6.8
女性	605 100.0	17 2.8	98 16.2	207 34.2	99 16.4	124 20.5	60 9.9
無回答	14 100.0	1 7.1	2 14.3	4 28.6	1 7.1	4 28.6	2 14.3

【語学教育に関するアンケート】

Q2-3 「中学生」つまらなくなった時期

**【 総 数 】**	該当者／ Q2-3 = 2		1年の 1学期頃 から	1年の 2学期頃 から	1年の 3学期頃 から	2年の 1学期頃 から	2年の 2学期頃 から	2年の 3学期頃 から	3年の 1学期頃 から	3年の 2学期頃 から	3年の 3学期頃 から	無回答
	850 100.0	108 12.7	165 19.4	69 8.1	150 17.6	133 15.6	25 2.9	76 8.9	38 4.5	12 1.4	74 8.7	
【 属 性 】	男性	463 100.0	68 14.7	93 20.1	35 7.6	80 17.3	70 15.1	14 3.0	37 8.0	15 3.2	5 1.1	46 9.9
	女性	382 100.0	39 10.2	70 18.3	34 8.9	69 18.1	63 16.5	11 2.9	39 10.2	22 5.8	7 1.8	28 7.3
	無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-	-
中 学 - 合 計	323 100.0	51 15.8	90 27.9	38 11.8	52 16.1	41 12.7	6 1.9	18 5.6	4 1.2	-	23 7.1	
	男性	182 100.0	32 17.6	45 24.7	23 12.6	29 15.9	24 13.2	2 1.1	8 4.4	3 1.6	-	16 8.8
	女性	140 100.0	18 12.9	45 32.1	15 10.7	23 16.4	17 12.1	4 2.9	10 7.1	1 0.7	-	7 5.0
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 校 - 合 計	323 100.0	35 10.8	44 13.6	18 5.6	65 20.1	59 18.3	13 4.0	37 11.5	22 6.8	8 2.5	22 6.8	
	男性	177 100.0	25 14.1	30 16.9	7 4.0	33 18.6	9 5.1	18 10.2	8 4.5	5 2.8	12 6.8	
	女性	144 100.0	10 6.9	13 9.0	11 7.6	31 21.5	29 20.1	4 2.8	14 9.7	3 2.1	10 6.9	
	無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-
大 学 - 合 計	204 100.0	22 10.8	31 15.2	13 6.4	33 16.2	33 16.2	6 2.9	21 10.3	12 5.9	4 2.0	29 14.2	
	男性	104 100.0	11 10.6	18 17.3	5 4.8	18 17.3	3 11.4	11 10.6	4 3.8	-	18 17.3	
	女性	98 100.0	11 11.2	12 12.2	8 8.2	15 15.3	17 17.3	3 3.1	10 7.1	4 4.1	11 11.2	
	無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-

【語学教育に関するアンケート】

Q2-3「高校生」つまらなくなった時期

政 当 者 Q 2 - 3 = 3		1 年 1 学 期 頃 か ら	1 年 2 学 期 頃 か ら	1 年 3 学 期 頃 か ら	2 年 1 学 期 頃 か ら	2 年 2 学 期 頃 か ら	2 年 3 学 期 頃 か ら	3 年 1 学 期 頃 か ら	3 年 2 学 期 頃 か ら	3 年 3 学 期 頃 か ら	無 回 答
**【 総 数 】**		611 100.0	70 11.5	12 2.0	79 12.9	41 6.7	12 2.0	54 8.8	25 4.1	5 0.8	83 13.6
【 属 性 】											
男 性		265 100.0	111 41.9	28 10.6	7 2.6	40 15.1	11 4.2	3 1.1	20 7.5	5 1.9	40 15.1
女 性		338 100.0	117 34.6	40 11.8	5 1.5	37 10.9	29 8.6	9 2.7	34 10.1	20 5.9	42 12.4
無 回 答		8 100.0	2 25.0	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-	1 12.5
中 学 - 合 計											
男 性		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女 性		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 回 答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 校 - 合 計											
男 性		281 100.0	148 52.7	37 13.2	3 1.1	29 10.3	15 5.3	2 0.7	14 5.0	1 0.4	32 11.4
女 性		146 100.0	80 54.8	12 8.2	1 0.7	19 13.0	6 4.1	1 0.7	7 4.8	1 0.7	19 13.0
無 回 答		131 100.0	68 51.9	23 17.6	2 1.5	9 6.9	8 6.1	1 0.8	7 5.3	-	13 9.9
		4 100.0	-	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-
大 学 - 合 計											
男 性		330 100.0	82 24.8	33 10.0	9 2.7	50 15.2	26 7.9	10 3.0	40 12.1	24 7.3	51 15.5
女 性		119 100.0	31 26.1	16 13.4	6 5.0	21 17.6	5 4.2	2 1.7	13 10.9	4 3.4	21 17.6
無 回 答		207 100.0	49 23.7	17 8.2	3 1.4	28 13.5	21 10.1	8 3.9	27 13.0	20 9.7	29 14.0
		4 100.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0



【語学教育に関するアンケート】

Q2-4. どれなきっけで英語が嫌いになったか (MA)

**【 総 数 】**		授業中の 該当者/ Q2=1	授業中の 質問に答 えられな かった	英文解釈 や文法ば かりで	発音が難 しくて	授業中に 注意され て	授業が単 調なので	先生がお もしろく ない	授業内容 が分から なくて	その他	無回答
2662 100.0		363 13.6	1003 37.7	207 7.8	85 3.2	1132 42.5	832 31.3	1010 37.9	272 10.2	218 8.2	
【 属 性 】											
男 性 女 性 無回答	1297 100.0	166 12.8	444 34.2	110 8.5	53 4.1	535 41.2	381 29.4	491 37.9	145 11.2	97 7.5	
	1334 100.0	195 14.6	551 41.3	96 7.2	31 2.3	582 43.6	443 33.2	513 38.5	124 9.3	116 8.7	
	31 100.0	2 6.5	8 25.8	1 3.2	1 3.2	15 48.4	8 25.8	6 19.4	3 9.7	5 16.1	
中 学 - 合 計		641 100.0	123 19.2	149 23.2	75 11.7	40 6.2	197 30.7	170 26.5	258 40.2	54 8.4	61 9.5
男 性 女 性 無回答	342 100.0	57 16.7	84 24.6	42 12.3	28 8.2	106 31.0	91 26.6	136 39.8	28 8.2	30 8.8	
	292 100.0	64 21.9	65 22.3	33 11.3	11 3.8	90 30.8	78 26.7	121 41.4	26 8.9	28 9.6	
	7 100.0	2 28.6	- -	- -	- -	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- 42.9	3
高 校 - 合 計		991 100.0	130 13.1	410 41.4	60 6.1	17 1.7	410 41.4	285 28.8	423 42.7	112 11.3	75 7.6
男 性 女 性 無回答	544 100.0	59 10.8	192 35.3	31 5.7	12 2.2	237 43.6	155 28.5	204 37.5	77 14.2	38 7.0	
	437 100.0	71 16.2	215 49.2	28 6.4	5 1.1	169 38.7	129 29.5	216 49.4	33 7.6	36 8.2	
	10 100.0	- -	3 30.0	1 10.0	- -	4 40.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	
大 学 - 合 計		1030 100.0	110 10.7	444 43.1	72 7.0	28 2.7	525 51.0	377 36.6	329 31.9	106 10.3	82 8.0
男 性 女 性 無回答	411 100.0	50 12.2	168 40.9	37 9.0	13 3.2	192 46.7	135 32.8	151 36.7	40 9.7	29 7.1	
	605 100.0	60 9.9	271 44.8	35 5.8	15 2.5	323 53.4	236 39.0	176 29.1	65 10.7	52 8.6	
	14 100.0	- -	5 35.7	- -	- -	10 71.4	6 42.9	2 14.3	1 7.1	1 7.1	

【語学教育に関するアンケート】

Q3. どのようなことがきっかけで英語が分からなくなりましたか (SA)

※【 総 数 】 **	合 計	最初から	授業での疑問をそのままにしていた	先生の話を先に行っていた	予習をしなかった	復習をしなかった	その他	無回答
※【 総 数 】 **	3149 100.0	231 7.3	599 19.0	454 14.4	369 11.7	587 18.6	307 9.7	602 19.1
【 属 性 】								
男 性	1566 100.0	145 9.3	274 17.5	204 13.0	180 11.5	311 19.9	165 10.5	287 18.3
女 性	1535 100.0	83 5.4	319 20.8	248 16.2	181 11.8	272 17.7	137 8.9	295 19.2
無回答	48 100.0	3 6.3	6 12.5	2 4.2	8 16.7	4 8.3	5 10.4	20 41.7
中 学 - 合 計	892 100.0	72 8.1	162 18.2	120 13.5	60 6.7	158 17.7	86 9.6	234 26.2
男 性	483 100.0	50 10.4	84 17.4	62 12.8	31 6.4	89 18.4	54 11.2	113 23.4
女 性	388 100.0	21 5.4	76 19.6	57 14.7	26 6.7	69 17.8	32 8.2	107 27.6
無回答	21 100.0	1 4.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3	-	-	14 66.7
高 校 - 合 計	1134 100.0	104 9.2	193 17.0	175 15.4	161 14.2	216 19.0	103 9.1	182 16.0
男 性	630 100.0	63 10.0	92 14.6	87 13.8	93 14.8	124 19.7	71 11.3	100 15.9
女 性	493 100.0	39 7.9	99 20.1	88 17.8	65 13.2	91 18.5	31 6.3	80 16.2
無回答	11 100.0	2 18.2	2 18.2	-	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2
大 学 - 合 計	1123 100.0	55 4.9	244 21.7	159 14.2	148 13.2	213 19.0	118 10.5	186 16.6
男 性	453 100.0	32 7.1	98 21.6	55 12.1	56 12.4	98 21.6	40 8.8	74 16.3
女 性	654 100.0	23 3.5	144 22.0	103 15.7	90 13.8	112 17.1	74 11.3	108 16.5
無回答	16 100.0	-	2 12.5	1 6.3	2 12.5	3 18.8	4 25.0	4 25.0

【語学教育に関するアンケート】

Q4. 現在の英語の授業で重点的にやってほしいこと (SA)

※【 総 数 】 **	合 計	聴く力	話す力	読む力	書く力	無回答
※【 総 数 】 **	3149 100.0	618 19.6	1676 53.2	327 10.4	414 13.1	114 3.6
【 属 性 】						
男 性	1566 100.0	326 20.8	738 47.1	196 12.5	250 16.0	56 3.6
女 性	1535 100.0	282 18.4	918 59.8	129 8.4	159 10.4	47 3.1
無回答	48 100.0	10 20.8	20 41.7	2 4.2	5 10.4	11 22.9
中 学 - 合 計	892 100.0	175 19.6	342 38.3	110 12.3	223 25.0	42 4.7
男 性	483 100.0	95 19.7	171 35.4	60 12.4	139 28.8	18 3.7
女 性	388 100.0	77 19.8	166 42.8	49 12.6	81 20.9	15 3.9
無回答	21 100.0	3 14.3	5 23.8	1 4.8	3 14.3	9 42.9
高 校 - 合 計	1134 100.0	189 16.7	616 54.3	154 13.6	141 12.4	34 3.0
男 性	630 100.0	106 16.8	314 49.8	100 15.9	84 13.3	26 4.1
女 性	493 100.0	81 16.4	295 59.8	53 10.8	57 11.6	7 1.4
無回答	11 100.0	2 18.2	7 63.6	1 9.1	-	1 9.1
大 学 - 合 計	1123 100.0	254 22.6	718 63.9	63 5.6	50 4.5	38 3.4
男 性	453 100.0	125 27.6	253 55.8	36 7.9	27 6.0	12 2.6
女 性	654 100.0	124 19.0	457 69.9	27 4.1	21 3.2	25 3.8
無回答	16 100.0	5 31.3	8 50.0	-	2 12.5	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q 5. 英語の授業全般についての不満 (SA)

合 計	単調である	受験を意識しすぎ	実用的でない	予備校や塾のおもしろい	聞く話すは受験や就職に役立たない	その他	無回答
**【 総 数 】**	3149 100.0	501 15.9	283 9.0	1237 39.3	298 9.5	272 8.6	441 14.0
【 属 性 】							
男 性	1566 100.0	240 15.3	163 10.4	581 37.1	156 10.0	144 9.2	205 13.1
女 性	1535 100.0	258 16.8	115 7.5	645 42.0	138 9.0	125 8.1	217 14.1
無回答	48 100.0	3 6.3	5 10.4	11 22.9	4 8.3	3 6.3	19 39.6
中 学 - 合 計	892 100.0	99 11.1	49 5.5	188 21.1	124 13.9	100 11.2	278 31.2
男 性	483 100.0	55 11.4	36 7.5	101 20.9	67 13.9	57 11.8	134 27.7
女 性	388 100.0	44 11.3	11 2.8	87 22.4	55 14.2	42 10.8	129 33.2
無回答	21 100.0	-	2 9.5	-	2 9.5	1 4.8	15 71.4
高 校 - 合 計	1134 100.0	215 19.0	112 9.9	480 42.3	74 6.5	104 9.2	104 9.2
男 性	630 100.0	119 18.9	77 12.2	253 40.2	49 7.8	55 8.7	48 7.6
女 性	493 100.0	94 19.1	33 6.7	222 45.0	25 5.1	49 9.9	55 11.2
無回答	11 100.0	2 18.2	2 18.2	5 45.5	-	-	1 9.1
大 学 - 合 計	1123 100.0	187 16.7	122 10.9	569 50.7	100 8.9	68 6.1	59 5.3
男 性	453 100.0	66 14.6	50 11.0	227 50.1	40 8.8	32 7.1	23 5.1
女 性	654 100.0	120 18.3	71 10.9	336 51.4	58 8.9	34 5.2	33 5.0
無回答	16 100.0	1 6.3	1 6.3	6 37.5	2 12.5	2 12.5	3 18.8

【語学教育に関するアンケート】

Q 6. 授業の中で英語の聞き取りや、発表・会話練習 (SA)

合 計	興味がある	興味がない	無回答
**【 総 数 】**	3149 100.0	1742 55.3	1373 43.6
【 属 性 】			
男 性	1566 100.0	741 47.3	811 51.8
女 性	1535 100.0	978 63.7	547 35.6
無回答	48 100.0	23 47.9	15 31.3
中 学 - 合 計	892 100.0	445 49.9	430 48.2
男 性	483 100.0	212 43.9	266 55.1
女 性	388 100.0	226 58.2	159 41.0
無回答	21 100.0	7 33.3	5 23.8
高 校 - 合 計	1134 100.0	512 45.1	613 54.1
男 性	630 100.0	261 41.4	361 57.3
女 性	493 100.0	246 49.9	246 49.9
無回答	11 100.0	5 45.5	6 54.5
大 学 - 合 計	1123 100.0	785 69.9	330 29.4
男 性	453 100.0	268 59.2	184 40.6
女 性	654 100.0	506 77.4	142 21.7
無回答	16 100.0	11 68.8	4 25.0

【語学教育に関するアンケート】

Q6-1. どのような理由で興味がわくか (SA)

**【総数】**	該当者／ Q6=1	受験や就 職試験に 立ちそ うだから	実際に役 立ちそ うだから	英語を聞 いたり話 したりが 面白い	その他	無回答
男性	741 100.0	33 4.5	430 58.0	233 31.4	28 3.8	17 2.3
女性	978 100.0	19 1.9	498 50.9	430 44.0	22 2.2	9 0.9
無回答	23 100.0	-	15 65.2	8 34.8	-	-
中学 - 合計	445 100.0	32 7.2	193 43.4	194 43.6	17 3.8	9 2.0
男性	212 100.0	20 9.4	100 47.2	79 37.3	8 3.8	5 2.4
女性	226 100.0	12 5.3	89 39.4	112 49.6	9 4.0	4 1.8
無回答	7 100.0	-	4 57.1	3 42.9	-	-
高校 - 合計	512 100.0	14 2.7	298 58.2	183 35.7	11 2.1	6 1.2
男性	261 100.0	10 3.8	162 62.1	75 28.7	8 3.1	6 2.3
女性	246 100.0	4 1.6	133 54.1	106 43.1	3 1.2	-
無回答	5 100.0	-	3 60.0	2 40.0	-	-
大学 - 合計	785 100.0	6 0.8	452 57.6	294 37.5	22 2.8	11 1.4
男性	268 100.0	3 1.1	168 62.7	79 29.5	12 4.5	6 2.2
女性	506 100.0	3 0.6	276 54.5	212 41.9	10 2.0	5 1.0
無回答	11 100.0	-	8 72.7	3 27.3	-	-

【語学教育に関するアンケート】

Q6-2. どのような理由で興味がわかないか (SA)

**【総数】**	該当者／ Q6=2	受験や就 職試験に 立ちそ うでない	実際に役 立ちそ うでない	聞いたり 話したり がつまら ない	その他	無回答
男性	811 100.0	49 6.0	253 31.2	285 35.1	140 17.3	84 10.4
女性	547 100.0	24 4.4	189 34.6	147 26.9	125 22.9	62 11.3
無回答	15 100.0	1 6.7	4 26.7	7 46.7	2 13.3	1 6.7
中学 - 合計	430 100.0	15 3.5	99 23.0	170 39.5	86 20.0	60 14.0
男性	266 100.0	8 3.0	64 24.1	114 42.9	42 15.8	38 14.3
女性	159 100.0	6 3.8	35 22.0	53 33.3	43 27.0	22 13.8
無回答	5 100.0	1 20.0	-	3 60.0	1 20.0	-
高校 - 合計	613 100.0	48 7.8	198 32.3	191 31.2	110 17.9	66 10.8
男性	361 100.0	33 9.1	114 31.6	121 33.5	61 16.9	32 8.9
女性	246 100.0	15 6.1	83 33.7	67 27.2	48 19.5	33 13.4
無回答	6 100.0	-	1 16.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7
大学 - 合計	330 100.0	11 3.3	149 45.2	78 23.6	71 21.5	21 6.4
男性	184 100.0	8 4.3	75 40.8	50 27.2	37 20.1	14 7.6
女性	142 100.0	3 2.1	71 50.0	27 19.0	34 23.9	7 4.9
無回答	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	-	-

【語学教育に関するアンケート】

Q 7. 現在、英語に関して授業以外で興味のあること (MA)

※【 総 数 】※	合計	インターネットや電子メール	洋画や英語の歌	英会話	海外留学	海外の商品を通信販売で	海外の雑誌など	その他	無回答
3149 100.0	939 29.8	1823 57.9	939 29.8	1010 32.1	375 11.9	547 17.4	184 5.8	278 8.8	
【 属 性 】									
男性	1566 100.0	480 30.7	818 52.2	352 22.5	349 22.3	163 10.4	219 14.0	112 7.2	183 11.7
女性	1535 100.0	448 29.2	991 64.6	578 37.7	646 42.1	207 13.5	318 20.7	70 4.6	81 5.3
無回答	48 100.0	11 22.9	14 29.2	9 18.8	15 31.3	5 10.4	10 20.8	2 4.2	14 29.2
中学 - 合計	892 100.0	226 25.3	405 45.4	137 15.4	166 18.6	87 9.8	119 13.3	70 7.8	159 17.8
男性	483 100.0	132 27.3	187 38.7	59 12.2	61 12.6	49 10.1	61 12.6	39 8.1	100 20.7
女性	388 100.0	93 24.0	216 55.7	76 19.6	102 26.3	36 9.3	56 14.4	31 8.0	47 12.1
無回答	21 100.0	1 4.8	2 9.5	2 9.5	3 14.3	2 9.5	2 9.5	- 57.1	12 57.1
高校 - 合計	1134 100.0	325 28.7	680 60.0	290 25.6	316 27.9	148 13.1	181 16.0	57 5.0	95 8.4
男性	630 100.0	192 30.5	348 55.2	138 21.9	132 21.0	61 9.7	73 11.6	43 6.8	68 10.8
女性	493 100.0	129 26.2	328 66.5	150 30.4	181 36.7	86 17.4	106 21.5	13 2.6	26 5.3
無回答	11 100.0	4 36.4	4 36.4	2 18.2	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1
大学 - 合計	1123 100.0	388 34.6	738 65.7	512 45.6	528 47.0	140 12.5	247 22.0	57 5.1	24 2.1
男性	453 100.0	156 34.4	283 62.5	155 34.2	156 34.4	53 11.7	85 18.8	30 6.6	15 3.3
女性	654 100.0	226 34.6	447 68.3	352 53.8	363 55.5	85 13.0	156 23.9	26 4.0	8 1.2
無回答	16 100.0	6 37.5	8 50.0	5 31.3	9 56.3	2 12.5	6 37.5	1 6.3	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q 8. 英語をやっているのはどんな時か (S A)

※【 総 数 】※	外国人に話しかけられた時	映画や歌の内容が少しでも分った時	英語で外国人と文通ができた時	英語の本を読んだ時	英語を話し外国人と友達になれた時	英語で通信販売などを利用した時	その他	無回答
合 計	282 100.0	1638 52.0	47 1.5	158 5.0	301 9.6	17 0.5	219 7.0	487 15.5
【 属 性 】								
男 性	152 100.0	828 52.9	12 0.8	85 5.4	101 6.4	11 0.7	140 8.9	237 15.1
女 性	1535 100.0	794 51.7	35 2.3	73 4.8	193 12.6	4 0.3	78 5.1	231 15.0
無回答	48 100.0	16 33.3	-	-	7 14.6	2 4.2	1 2.1	19 39.6
中 学 - 合 計	892 100.0	467 52.4	10 1.1	43 4.8	36 4.0	8 0.9	67 7.5	177 19.8
男 性	483 100.0	234 48.4	5 1.0	23 4.8	14 2.9	5 1.0	48 9.9	100 20.7
女 性	388 100.0	228 58.8	5 1.3	20 5.2	21 5.4	2 0.5	19 4.9	64 16.5
無回答	21 100.0	5 23.8	-	-	1 4.8	1 4.8	-	13 61.9
高 校 - 合 計	1134 100.0	661 58.3	13 1.1	48 4.2	55 4.9	6 0.5	98 8.6	169 14.9
男 性	630 100.0	348 55.2	6 1.0	34 5.4	28 4.4	4 0.6	68 10.8	91 14.4
女 性	493 100.0	309 62.7	7 1.4	14 2.8	25 5.1	1 0.2	29 5.9	76 15.4
無回答	11 100.0	4 36.4	-	-	2 18.2	1 9.1	1 9.1	2 18.2
大 学 - 合 計	1123 100.0	510 45.4	24 2.1	67 6.0	210 18.7	3 0.3	54 4.8	141 12.6
男 性	453 100.0	246 54.3	1 0.2	28 6.2	59 13.0	2 0.4	24 5.3	46 10.2
女 性	654 100.0	257 39.3	23 3.5	39 6.0	147 22.5	1 0.2	30 4.6	91 13.9
無回答	16 100.0	7 43.8	-	-	4 25.0	-	-	4 25.0

【語学教育に関するアンケート】

Q 9．先生は、どのような方法で成績をつけるか (SA)

※【 総 数 】※	合 計	定期テストの点数でつけている	定期テストと小テスト等の点数加味	テスト以外に発表や作品なども考慮	その他	無回答
※【 総 数 】※	3149 100.0	686 21.8	1013 32.2	909 28.9	306 9.7	235 7.5
【 属 性 】						
男 性	1566 100.0	394 25.2	463 29.6	423 27.0	181 11.6	105 6.7
女 性	1535 100.0	282 18.4	539 35.1	476 31.0	122 7.9	116 7.6
無回答	48 100.0	10 20.8	11 22.9	10 20.8	3 6.3	14 29.2
中 学 - 合 計	892 100.0	58 6.5	128 14.3	453 50.8	110 12.3	143 16.0
男 性	483 100.0	33 6.8	74 15.3	243 50.3	68 14.1	65 13.5
女 性	388 100.0	23 5.9	51 13.1	207 53.4	42 10.8	65 16.8
無回答	21 100.0	2 9.5	3 14.3	3 14.3	-	13 61.9
高 校 - 合 計	1134 100.0	299 26.4	536 47.3	154 13.6	91 8.0	54 4.8
男 性	630 100.0	180 28.6	286 45.4	74 11.7	66 10.5	24 3.8
女 性	493 100.0	116 23.5	246 49.9	77 15.6	24 4.9	30 6.1
無回答	11 100.0	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1	-
大 学 - 合 計	1123 100.0	329 29.3	349 31.1	302 26.9	105 9.3	38 3.4
男 性	453 100.0	181 40.0	103 22.7	106 23.4	47 10.4	16 3.5
女 性	654 100.0	143 21.9	242 37.0	192 29.4	56 8.6	21 3.2
無回答	16 100.0	5 31.3	4 25.0	4 25.0	2 12.5	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q 1 0．今の成績のつけ方や評価の方法全般での不満 (SA)

※【 総 数 】※	合 計	あ る	特 に ない	無回答
※【 総 数 】※	3149 100.0	816 25.9	2278 72.3	55 1.7
【 属 性 】				
男 性	1566 100.0	393 25.1	1154 73.7	19 1.2
女 性	1535 100.0	410 26.7	1099 71.6	26 1.7
無回答	48 100.0	13 27.1	25 52.1	10 20.8
中 学 - 合 計	892 100.0	185 20.7	670 75.1	37 4.1
男 性	483 100.0	107 22.2	365 75.6	11 2.3
女 性	388 100.0	73 18.8	298 76.8	17 4.4
無回答	21 100.0	5 23.8	7 33.3	9 42.9
高 校 - 合 計	1134 100.0	280 24.7	840 74.1	14 1.2
男 性	630 100.0	173 27.5	450 71.4	7 1.1
女 性	493 100.0	105 21.3	381 77.3	7 1.4
無回答	11 100.0	2 18.2	9 81.8	-
大 学 - 合 計	1123 100.0	351 31.3	768 68.4	4 0.4
男 性	453 100.0	113 24.9	339 74.8	1 0.2
女 性	654 100.0	232 35.5	420 64.2	2 0.3
無回答	16 100.0	6 37.5	9 56.3	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q10-1. どのような評価をしてほしいと思うか (SA)

※【 総 数 】※	該当者／ Q10-1	自分の長 所・短所 が分かる 様な評価	通常の授 業での活 動を重視 した評価	積極的に 発表する のみの評 価	その他	無回答
【 属 性 】						
男性	393 100.0	173 44.0	69 17.6	32 8.1	52 13.2	23 5.9
女性	410 100.0	187 45.6	92 22.4	37 9.0	38 9.3	14 3.4
無回答	13 100.0	5 38.5	1 7.7	2 15.4	-	2 15.4
中学 - 合 計	185 100.0	80 43.2	26 14.1	17 9.2	29 15.7	13 7.0
男性	107 100.0	45 42.1	14 13.1	12 11.2	19 17.8	8 7.5
女性	73 100.0	32 43.8	12 16.4	5 6.8	9 11.1	4 5.5
無回答	5 100.0	3 60.0	-	-	1 20.0	1 20.0
高校 - 合 計	280 100.0	122 43.6	63 22.5	15 5.4	33 11.8	16 5.7
男性	173 100.0	80 46.2	33 19.1	9 5.2	23 13.3	9 5.2
女性	105 100.0	41 39.0	30 28.6	6 5.7	8 7.6	6 5.7
無回答	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
大学 - 合 計	351 100.0	163 46.4	73 20.8	39 11.1	35 10.0	10 2.8
男性	113 100.0	48 42.5	22 19.5	11 9.7	8.8 10.6	6 5.3
女性	232 100.0	114 49.1	50 21.6	26 11.2	19 8.2	4 1.7
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-

【語学教育に関するアンケート】

Q11. 英語力のなかで一番伸ばしたいと思うもの (2LA)

※【 総 数 】※	合 計	聴く力	話す力	読む力	書く力	無回答
【 属 性 】						
男性	1566 100.0	639 40.8	1028 65.6	336 21.5	319 20.4	19 1.2
女性	1535 100.0	666 43.4	1215 79.2	229 14.9	289 18.8	5 0.3
無回答	48 100.0	12 25.0	28 58.3	3 6.3	8 16.7	11 22.9
中学 - 合 計	892 100.0	310 34.8	562 63.0	190 21.3	301 33.7	19 2.1
男性	483 100.0	161 33.3	279 57.8	113 23.4	161 33.3	10 2.1
女性	388 100.0	145 37.4	276 71.1	75 19.3	137 35.3	-
無回答	21 100.0	4 19.0	7 33.3	2 9.5	3 14.3	9 42.9
高校 - 合 計	1134 100.0	428 37.7	804 70.9	253 22.3	219 19.3	10 0.9
男性	630 100.0	232 36.8	412 65.4	161 25.6	123 19.5	6 1.0
女性	493 100.0	194 39.4	384 77.9	92 18.7	95 19.3	3 0.6
無回答	11 100.0	2 18.2	8 72.7	-	1 9.1	1 9.1
大学 - 合 計	1123 100.0	579 51.6	905 80.6	125 11.1	96 8.5	6 0.5
男性	453 100.0	246 54.3	337 74.4	62 13.7	35 7.7	3 0.7
女性	654 100.0	327 50.0	555 84.9	62 9.5	57 8.7	2 0.3
無回答	16 100.0	6 37.5	13 81.3	1 6.3	4 25.0	1 6.3



【語学教育に関するアンケート】

Q12-1. 今の学校を卒業するまでにつきたい英語力 (2 L A)  
「 聴くこと 」

数	合 計	外国人の 英語が聞 き取れる	一般の外 国人の話 が聞き取 れる	入試のリ スニング テストに 合格	各種資格 試験のテ ストに合 格	テレビ等 の英語ニ ューズが 聞取れる	無回答
【 総 数 】 **	3149 100.0	1252 39.8	1301 41.3	589 18.7	447 14.2	994 31.6	138 4.4
【 属 性 】							
男 性	1566 100.0	636 40.6	610 39.0	332 21.2	203 13.0	443 28.3	67 4.3
女 性	1535 100.0	603 39.3	677 44.1	251 16.4	240 15.6	541 35.2	57 3.7
無回答	48 100.0	13 27.1	14 29.2	6 12.5	4 8.3	10 20.8	14 29.2
中 学 - 合 計	892 100.0	330 37.0	296 33.2	318 35.7	137 15.4	207 23.2	66 7.4
男 性	483 100.0	181 37.5	149 30.8	170 35.2	74 15.3	122 25.3	29 6.0
女 性	388 100.0	145 37.4	144 37.1	144 37.1	60 15.5	83 21.4	27 7.0
無回答	21 100.0	4 19.0	3 14.3	4 19.0	3 14.3	2 9.5	10 47.6
高 校 - 合 計	1134 100.0	440 38.8	467 41.2	255 22.5	138 12.2	289 25.5	55 4.9
男 性	630 100.0	247 39.2	237 37.6	154 24.4	72 11.4	162 25.7	30 4.8
女 性	493 100.0	189 38.3	227 46.0	99 20.1	66 13.4	127 25.8	22 4.5
無回答	11 100.0	4 36.4	3 27.3	2 18.2	-	-	3 27.3
大 学 - 合 計	1123 100.0	482 42.9	538 47.9	16 1.4	172 15.3	498 44.3	17 1.5
男 性	453 100.0	208 45.9	224 49.4	8 1.8	57 12.6	159 35.1	8 1.8
女 性	654 100.0	269 41.1	306 46.8	8 1.2	114 17.4	331 50.6	8 1.2
無回答	16 100.0	5 31.3	8 50.0	-	1 6.3	8 50.0	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q12-2. 今の学校を卒業するまでにつきたい英語力 (2 L A)  
「 話すこと 」

数	合 計	教室で話 せる	買い物や 通案内等 の日常生 活レベル	入試、資 格試験の テストに 合格	筋道に沿 って論理 的に話せ る	専門的な 会話や討 論ができ る	無回答
【 総 数 】 **	3149 100.0	913 29.0	1907 60.6	724 23.0	587 18.6	273 8.7	105 3.3
【 属 性 】							
男 性	1566 100.0	429 27.4	951 60.7	338 21.6	252 16.1	148 9.5	60 3.8
女 性	1535 100.0	479 31.2	933 60.8	382 24.9	327 21.3	122 7.9	32 2.1
無回答	48 100.0	5 10.4	23 47.9	4 8.3	8 16.7	3 6.3	13 27.1
中 学 - 合 計	892 100.0	306 34.3	481 53.9	292 32.7	82 9.2	54 6.1	66 7.4
男 性	483 100.0	154 31.9	254 52.6	149 30.8	48 9.9	38 7.9	40 8.3
女 性	388 100.0	150 38.7	218 56.2	142 36.6	33 8.5	16 4.1	16 4.1
無回答	21 100.0	2 9.5	9 42.9	1 4.8	1 4.8	-	10 47.6
高 校 - 合 計	1134 100.0	287 25.3	789 69.6	254 22.4	143 12.6	69 6.1	29 2.6
男 性	630 100.0	159 25.2	408 64.8	143 22.7	90 14.3	48 7.6	14 2.2
女 性	493 100.0	126 25.6	374 75.9	110 22.3	53 10.8	21 4.3	13 2.6
無回答	11 100.0	2 18.2	7 63.6	1 9.1	-	-	2 18.2
大 学 - 合 計	1123 100.0	320 28.5	637 56.7	178 15.9	362 32.2	150 13.4	10 0.9
男 性	453 100.0	116 25.6	289 63.8	46 10.2	114 25.2	62 13.7	6 1.3
女 性	654 100.0	203 31.0	341 52.1	130 19.9	241 36.9	85 13.0	3 0.5
無回答	16 100.0	1 6.3	7 43.8	2 12.5	7 43.8	3 18.8	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q12-3. 今の学校を卒業するまでにつきたい英語力 (2LA)  
 「読むこと」

※【総数】※	合計	教科書の 教材が読 める	入試問題 の読解問 題が分か る	資格試験 の読解問 題がわか る	英字新聞 や原書が 読める	インター ネット情 報を読み 理解する	無回答
※【総数】※	3149 100.0	921 29.2	953 30.3	598 19.0	1296 41.2	659 20.9	166 5.3
【属性】							
男性	1566	479	509	261	563	351	84
女性	100.0	30.6	32.5	16.7	36.0	22.4	5.4
無回答	1535	438	432	331	718	301	68
	100.0	28.5	28.1	21.6	46.8	19.6	4.4
	48	4	12	6	15	7	14
	100.0	8.3	25.0	12.5	31.3	14.6	29.2
中学 - 合計	892	338	407	161	202	141	76
男性	100.0	37.9	45.6	18.0	22.6	15.8	8.5
女性	483	182	207	85	103	92	41
無回答	100.0	37.7	42.9	17.6	21.3	19.0	8.5
	388	155	192	74	96	49	25
	100.0	39.9	49.5	19.1	24.7	12.6	6.4
	21	1	8	2	3	-	10
	100.0	4.8	38.1	9.5	14.3	-	47.6
高校 - 合計	1134	339	497	178	366	183	61
男性	100.0	29.9	43.8	15.7	32.3	16.1	5.4
女性	630	178	277	97	191	126	30
無回答	100.0	28.3	44.0	15.4	30.3	20.0	4.8
	493	160	217	78	174	56	28
	100.0	32.5	44.0	15.8	35.3	11.4	5.7
	11	1	3	3	1	1	3
	100.0	9.1	27.3	27.3	9.1	9.1	27.3
大学 - 合計	1123	244	49	259	728	335	29
男性	100.0	21.7	4.4	23.1	64.8	29.8	2.6
女性	453	119	25	79	269	133	13
無回答	100.0	26.3	5.5	17.4	59.4	29.4	2.9
	654	123	23	179	448	196	15
	100.0	18.8	3.5	27.4	68.5	30.0	2.3
	16	2	1	1	11	6	1
	100.0	12.5	6.3	6.3	68.8	37.5	6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q12-4. 今の学校を卒業するまでにつきたい英語力 (2LA)  
 「書くこと」

※【総数】※	合計	教室内で 書ける／ 英作文・ 原稿等	手紙、物 品購入等 生活上で 必要な文章	入試の作 文（小論 文）が書 ける	資格試験 の作文（ 小論文） が書ける	筋道に沿 った論理 的な文章 が書ける	無回答
※【総数】※	3149 100.0	939 29.8	1661 52.7	650 20.6	437 13.9	624 19.8	175 5.6
【属性】							
男性	1566	449	762	384	212	290	88
女性	100.0	28.7	48.7	24.5	13.5	18.5	5.6
無回答	1535	482	882	259	223	326	74
	100.0	31.4	57.5	16.9	14.5	21.2	4.8
	48	8	17	7	2	8	13
	100.0	16.7	35.4	14.6	4.2	16.7	27.1
中学 - 合計	892	326	432	290	102	72	77
男性	100.0	36.5	48.4	32.5	11.4	8.1	8.6
女性	483	165	218	157	64	43	38
無回答	100.0	34.2	45.1	32.5	13.3	8.9	7.9
	388	158	207	128	38	29	30
	100.0	40.7	53.4	33.0	9.8	7.5	7.7
	21	3	7	5	-	-	9
	100.0	14.3	33.3	23.8	-	-	42.9
高校 - 合計	1134	346	611	304	125	137	65
男性	100.0	30.5	53.9	26.8	11.0	12.1	5.7
女性	630	175	294	201	82	93	35
無回答	100.0	27.8	46.7	31.9	13.0	14.8	5.6
	493	169	313	101	42	44	27
	100.0	34.3	63.5	20.5	8.5	8.9	5.5
	11	2	4	2	1	-	3
	100.0	18.2	36.4	18.2	9.1	-	27.3
大学 - 合計	1123	267	618	56	210	415	33
男性	100.0	23.8	55.0	5.0	18.7	37.0	2.9
女性	453	109	250	26	66	154	15
無回答	100.0	24.1	55.2	5.7	14.6	34.0	3.3
	654	155	362	30	143	253	17
	100.0	23.7	55.4	4.6	21.9	38.7	2.6
	16	3	6	-	1	8	1
	100.0	18.8	37.5	-	6.3	50.0	6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q13. あなたにとって、英語を学ぶ意味（SA）

※【総数】※	合計	好きで興味があるから	就職や受験に必要だから	将来英語を使う仕事したいから	授業にあるのだから	無回答
	3149 100.0	893 28.4	858 27.2	580 18.4	664 21.1	154 4.9
【属性】						
男性	1566 100.0	337 21.5	508 32.4	226 14.4	416 26.6	79 5.0
女性	1535 100.0	543 35.4	340 22.1	348 22.7	241 15.7	63 4.1
無回答	48 100.0	13 27.1	10 20.8	6 12.5	7 14.6	12 25.0
中学 - 合計	892 100.0	192 21.5	329 36.9	95 10.7	217 24.3	59 6.6
男性	483 100.0	82 17.0	188 38.9	52 10.8	139 28.8	22 4.6
女性	388 100.0	107 27.6	137 35.3	42 10.8	74 19.1	28 7.2
無回答	21 100.0	3 14.3	4 19.0	1 4.8	4 19.0	9 42.9
高校 - 合計	1134 100.0	236 20.8	394 34.7	161 14.2	293 25.8	50 4.4
男性	630 100.0	106 16.8	241 38.3	81 12.9	170 27.0	32 5.1
女性	493 100.0	128 26.0	150 30.4	78 15.8	120 24.3	17 3.4
無回答	11 100.0	2 18.2	3 27.3	2 18.2	3 27.3	1 9.1
大学 - 合計	1123 100.0	465 41.4	135 12.0	324 28.9	154 13.7	45 4.0
男性	453 100.0	149 32.9	79 17.4	93 20.5	107 23.6	25 5.5
女性	654 100.0	308 47.1	53 8.1	228 34.9	47 7.2	18 2.8
無回答	16 100.0	8 50.0	3 18.8	3 18.8	-	2 12.5

Q14. 英語の映画（ビデオ、TV放映含む）の1年間鑑賞本数

92

【語学教育に関するアンケート】

Q15. 英語の音楽をどのように聴くか (SA)

合 計	英語の歌 詞に興味 をもっ て聴く	BGMと して聞き 流してい る	あまり聴 かない	無回答
【 総 数 】 **	3149 100.0	902 28.6	1585 50.3	579 18.4
【 属 性 】				
男 性	1566 100.0	423 27.0	752 48.0	349 22.3
女 性	1535 100.0	470 30.6	815 53.1	222 14.5
無回答	48 100.0	9 18.8	18 37.5	8 16.7
中 学 - 合 計	892 100.0	205 23.0	390 43.7	258 28.9
男 性	483 100.0	100 20.7	192 39.8	171 35.4
女 性	388 100.0	103 26.5	192 49.5	84 21.6
無回答	21 100.0	2 9.5	6 28.6	3 14.3
高 校 - 合 計	1134 100.0	326 28.7	594 52.4	194 17.1
男 性	630 100.0	183 29.0	313 49.7	123 19.5
女 性	493 100.0	141 28.6	277 56.2	67 13.6
無回答	11 100.0	2 18.2	4 36.4	4 36.4
大 学 - 合 計	1123 100.0	371 33.0	601 53.5	127 11.3
男 性	453 100.0	140 30.9	247 54.5	55 12.1
女 性	654 100.0	226 34.6	346 52.9	71 10.9
無回答	16 100.0	5 31.3	8 50.0	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q16. 英語の授業でうまく表現できず、もどかしい思い (SA)

合 計	しばしば ある	ときどき ある	あまりな い	ほとんど ない	無回答
【 総 数 】 **	3149 100.0	1406 44.6	973 30.9	498 15.8	231 7.3
【 属 性 】					
男 性	1566 100.0	653 41.7	484 30.9	272 17.4	143 9.1
女 性	1535 100.0	739 48.1	476 31.0	221 14.4	83 5.4
無回答	48 100.0	14 29.2	13 27.1	5 10.4	5 22.9
中 学 - 合 計	892 100.0	236 26.5	324 36.3	213 23.9	104 11.7
男 性	483 100.0	135 28.0	163 33.7	115 23.8	66 13.7
女 性	388 100.0	100 25.8	154 39.7	95 24.5	37 9.5
無回答	21 100.0	1 4.8	7 33.3	3 14.3	1 4.8
高 校 - 合 計	1134 100.0	445 39.2	360 31.7	214 18.9	100 8.8
男 性	630 100.0	242 38.4	200 31.7	119 18.9	63 10.0
女 性	493 100.0	200 40.6	157 31.8	93 18.9	35 7.1
無回答	11 100.0	3 27.3	3 27.3	2 18.2	2 18.2
大 学 - 合 計	1123 100.0	725 64.6	289 25.7	71 6.3	27 2.4
男 性	453 100.0	276 60.9	121 26.7	38 8.4	14 3.1
女 性	654 100.0	439 67.1	165 25.2	33 5.0	11 1.7
無回答	16 100.0	10 62.5	3 18.8	-	2 12.5

【語学教育に関するアンケート】

Q16-1. その理由 (SA)

※【 総 数 】※	該当者／ Q16-1・2	人前の抵抗がないか 英語力に自信がない	英語力もあるが積極的 的意味を感じない	人前で発表は日本 語でも得意でない	その他	無回答
【 属 性 】						
男 性	1137 100.0	616 54.2	135 11.9	281 24.7	72 6.3	33 2.9
女 性	1215 100.0	632 52.0	114 9.4	349 28.7	81 6.7	39 3.2
無回答	27 100.0	17 63.0	4 14.8	3 11.1	2 7.4	1 3.7
中 学 - 合 計	560 100.0	276 49.3	89 15.9	135 24.1	31 5.5	29 5.2
男 性	298 100.0	148 49.7	49 16.4	70 23.5	18 6.0	13 4.4
女 性	254 100.0	126 49.6	37 14.6	62 24.4	13 5.1	16 6.3
無回答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	-	-
高 校 - 合 計	805 100.0	421 52.3	96 11.9	230 28.6	35 4.3	23 2.9
男 性	442 100.0	235 53.2	59 13.3	115 26.0	24 5.4	9 2.0
女 性	357 100.0	182 51.0	36 10.1	115 32.2	11 3.1	13 3.6
無回答	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 -	-	1 16.7
大 学 - 合 計	1014 100.0	568 56.0	68 6.7	268 26.4	89 8.8	21 2.1
男 性	397 100.0	233 58.7	27 6.8	96 24.2	30 7.6	11 2.8
女 性	604 100.0	324 53.6	41 6.8	172 28.5	57 9.4	10 1.7
無回答	13 100.0	11 84.6	-	-	2 15.4	-

【語学教育に関するアンケート】

Q16-2. 英語力の何に特に自信がないか (SA)

※【 総 数 】※	該当者／ Q16-1	語 彙	発 音	文 法	その他	無回答
【 属 性 】						
男 性	653 100.0	216 33.1	94 14.4	260 39.8	58 8.9	25 3.8
女 性	739 100.0	293 39.6	133 18.0	252 34.1	37 5.0	24 3.2
無回答	14 100.0	5 35.7	2 14.3	3 21.4	1 7.1	3 21.4
中 学 - 合 計	236 100.0	35 14.8	45 19.1	112 47.5	23 9.7	21 8.9
男 性	135 100.0	23 17.0	25 18.5	62 45.9	15 11.1	10 7.4
女 性	100 100.0	12 12.0	20 20.0	50 50.0	8 8.0	10 10.0
無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
高 校 - 合 計	445 100.0	122 27.4	65 14.6	214 48.1	34 7.6	10 2.2
男 性	242 100.0	74 30.6	32 13.2	106 43.8	24 9.9	6 2.5
女 性	200 100.0	48 24.0	33 16.5	106 53.0	10 5.0	3 1.5
無回答	3 100.0	-	-	2 66.7	-	1 33.3
大 学 - 合 計	725 100.0	357 49.2	119 16.4	189 26.1	39 5.4	21 2.9
男 性	276 100.0	119 43.1	37 13.4	92 33.3	19 6.9	9 3.3
女 性	439 100.0	233 53.1	80 18.2	96 21.9	19 4.3	11 2.5
無回答	10 100.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0

【語学教育に関するアンケート】

Q17. 教室で発言することについて (SA)

※【総数】**	合計	中学生の頃から段々苦手になった	小さい頃から人前で話すことは苦手	人前で話すことは抵抗ない	抵抗ないが発言する意欲がわかない	無回答
【属性】						
男性	1566 100.0	301 19.2	403 25.7	437 27.9	411 26.2	14 0.9
女性	1535 100.0	314 20.5	464 30.2	431 28.1	311 20.3	15 1.0
無回答	48 100.0	4 8.3	10 20.8	10 20.8	11 22.9	13 27.1
中学 - 合計	892 100.0	153 17.2	278 31.2	254 28.5	182 20.4	25 2.8
男性	483 100.0	78 16.1	146 30.2	144 29.8	106 21.9	9 1.9
女性	388 100.0	74 19.1	127 32.7	107 27.6	74 19.1	6 1.5
無回答	21 100.0	1 4.8	5 23.8	3 14.3	2 9.5	10 47.6
高校 - 合計	1134 100.0	231 20.4	303 26.7	286 25.2	307 27.1	7 0.6
男性	630 100.0	133 21.1	153 24.3	159 25.2	183 29.0	2 0.3
女性	493 100.0	96 19.5	147 29.8	126 25.6	119 24.1	5 1.0
無回答	11 100.0	2 18.2	3 27.3	1 9.1	5 45.5	-
大学 - 合計	1123 100.0	235 20.9	296 26.4	338 30.1	244 21.7	10 0.9
男性	453 100.0	90 19.9	104 23.0	134 29.6	122 26.9	3 0.7
女性	654 100.0	144 22.0	190 29.1	198 30.3	118 18.0	4 0.6
無回答	16 100.0	1 6.3	2 12.5	6 37.5	4 25.0	3 18.8

【語学教育に関するアンケート】

Q17-1. その理由 (SA)

※【総数】**	該当者/ Q17=1・2	あがってしまっ頭が働かなくなる	自分の考えに自信がないから	考えはあがあるが言葉に自信がない	目立ちたくないから	その他	無回答
【属性】							
男性	704 100.0	242 34.4	165 23.4	160 22.7	91 12.9	32 4.5	14 2.0
女性	778 100.0	271 34.8	217 27.9	190 24.4	65 8.4	21 2.7	14 1.8
無回答	14 100.0	5 35.7	5 21.4	3 21.4	1 7.1	-	-
中学 - 合計	431 100.0	127 29.5	146 33.9	91 21.1	42 9.7	14 3.2	11 2.6
男性	224 100.0	61 27.2	72 32.1	52 23.2	26 11.6	8 3.6	5 2.2
女性	201 100.0	64 31.8	71 35.3	38 18.9	16 8.0	6 3.0	6 3.0
無回答	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	-	-	-
高校 - 合計	534 100.0	175 32.8	135 25.3	122 22.8	67 12.5	24 4.5	11 2.1
男性	286 100.0	100 35.0	62 21.7	56 19.6	43 15.0	18 6.3	7 2.4
女性	243 100.0	73 30.0	71 29.2	66 27.2	23 9.5	6 2.5	4 1.6
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	-	-
大学 - 合計	531 100.0	216 40.7	106 20.0	140 26.4	48 9.0	15 2.8	6 1.1
男性	194 100.0	81 41.8	31 16.0	52 26.8	22 11.3	6 3.1	2 1.0
女性	334 100.0	134 40.1	75 22.5	86 25.7	26 7.8	9 2.7	4 1.2
無回答	3 100.0	1 33.3	-	2 66.7	-	-	-

【語学教育に関するアンケート】

Q17-2. 教室で発言するときに抵抗を感じる人数

**【総数】**	該当者/ Q17 -1= 1.2	1人	1～3人	1～5人	1～7人	1～9人	1～11人	1～15人	1～20人	1～30人	1～40人	1～50人	1人以上	無回答	平均 (人)
【属性】	**【総数】**	905 100.0	29 3.2	65 7.2	140 15.5	162 17.9	178 19.7	431 47.6	487 53.8	660 72.9	780 86.2	821 90.7	850 93.9	863 95.4	15354 17.79
	男性	407 100.0	16 3.9	30 7.4	65 16.0	77 18.9	83 20.4	205 50.4	230 56.5	298 73.2	342 84.0	362 88.9	376 92.4	388 95.3	7174 18.49
	女性	488 100.0	13 2.7	35 7.2	74 15.2	84 17.2	94 19.3	224 45.9	255 52.3	358 73.4	432 88.5	451 92.4	465 95.3	466 95.5	7936 17.03
	無回答	10 100.0	-	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	6 60.0	8 80.0	9 90.0	9 10.0	244 27.11
中学	合計	273 100.0	9 3.3	19 7.0	42 15.4	52 19.0	58 21.2	115 42.1	139 50.9	192 70.3	227 83.2	240 87.9	250 91.6	255 93.4	4734 18.56
	男性	133 100.0	5 3.8	7 5.3	19 14.3	26 19.5	29 21.8	63 47.4	74 55.6	93 69.9	107 80.5	114 85.7	118 88.7	123 92.5	2363 19.21
	女性	135 100.0	4 3.0	12 8.9	23 17.0	26 19.3	29 21.5	52 38.5	65 48.1	98 72.6	117 86.7	123 91.1	128 94.8	128 94.8	2241 17.51
	無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	3 60.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	130 32.50
高校	合計	310 100.0	11 3.5	25 8.1	51 16.5	56 18.1	62 20.0	159 51.3	175 56.5	230 74.2	270 87.1	284 91.6	290 93.5	294 94.8	4957 16.86
	男性	162 100.0	8 4.9	15 9.3	30 18.5	32 19.8	35 21.6	85 52.5	93 57.4	117 72.2	140 86.4	147 90.7	152 93.8	156 96.3	2796 17.92
	女性	144 100.0	3 2.1	10 6.9	20 13.9	23 16.0	26 18.1	72 50.0	80 55.6	110 76.4	127 88.2	133 92.4	134 93.1	134 93.1	2087 15.57
	無回答	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	4 100.0	4 100.0	4 100.0	74 18.50
大学	合計	322 100.0	9 2.8	21 6.5	47 14.6	54 16.8	58 18.0	157 48.8	173 53.7	238 73.9	283 87.9	297 92.2	310 96.3	314 97.5	5663 18.04
	男性	112 100.0	3 2.7	8 7.1	16 14.3	19 17.0	19 17.0	57 50.9	63 56.3	88 78.6	95 84.8	101 90.2	106 94.6	109 97.3	2015 18.49
	女性	209 100.0	6 2.9	13 6.2	31 14.8	35 16.7	39 18.7	100 47.8	110 52.6	150 71.8	188 90.0	195 93.3	203 97.1	204 97.6	3608 17.69
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	40 40.00



【語学教育に関するアンケート】

Q18. 学校でなっている英語と国語との関係 (SA)

	合 計	英語も国語も共通点が多いと思う	2つの科目はお互いに補いあう関係	全然違うと思う／共通点を感じない	その他	無回答
＊＊【 総 数 】＊＊	3149 100.0	1246 39.6	857 27.2	843 26.8	88 2.8	115 3.7
【 属 性 】						
男 性	1566 100.0	578 36.9	401 25.6	473 30.2	54 3.4	60 3.8
女 性	1535 100.0	655 42.7	445 29.0	361 23.5	33 2.1	41 2.7
無回答	48 100.0	13 27.1	11 22.9	9 18.8	1 2.1	14 29.2
中 学 - 合 計	892 100.0	399 44.7	234 26.2	179 20.1	24 2.7	56 6.3
男 性	483 100.0	209 43.3	133 27.5	98 20.3	17 3.5	26 5.4
女 性	388 100.0	186 47.9	96 24.7	79 20.4	7 1.8	20 5.2
無回答	21 100.0	4 19.0	5 23.8	2 9.5	- -	10 47.6
高 校 - 合 計	1134 100.0	394 34.7	294 25.9	383 33.8	31 2.7	32 2.8
男 性	630 100.0	191 30.3	164 26.0	238 37.8	18 2.9	19 3.0
女 性	493 100.0	199 40.4	129 26.2	141 28.6	12 2.4	12 2.4
無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	4 36.4	1 9.1	1 9.1
大 学 - 合 計	1123 100.0	453 40.3	329 29.3	281 25.0	33 2.9	27 2.4
男 性	453 100.0	178 39.3	104 23.0	137 30.2	19 4.2	15 3.3
女 性	654 100.0	270 41.3	220 33.6	141 21.6	14 2.1	9 1.4
無回答	16 100.0	5 31.3	5 31.3	3 18.8	- -	3 18.8

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[A] 読み物教材を通じて

*【 総 数 】**	合 計		話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かるよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのか難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく ない	読解力が 落ちる	無回答
	3149 100.0	611 19.4	840 26.7	877 27.9	1246 39.6	354 11.2	284 9.0	771 24.5	1098 34.9	584 18.5	476 15.1	94 3.0	263 8.4	
【 属 性 】	男性	1566	379	374	362	624	205	157	399	461	263	238	57	148
	女性	100.0	24.2	23.9	23.1	39.8	13.1	10.0	25.5	29.4	16.8	15.2	3.6	9.5
	無回答	1535	224	458	504	608	145	126	362	623	315	234	33	102
		100.0	14.6	29.8	32.8	39.6	9.4	8.2	23.6	40.6	20.5	15.2	2.1	6.6
中 学	男性	48	8	8	11	14	4	1	10	14	6	4	4	13
	女性	100.0	16.7	16.7	22.9	29.2	8.3	2.1	20.8	29.2	12.5	8.3	8.3	27.1
	無回答	892	357	215	123	269	200	103	319	189	107	75	44	110
		100.0	40.0	24.1	13.8	30.2	22.4	11.5	35.8	21.2	12.0	8.4	4.9	12.3
高 校	男性	483	216	112	68	164	117	55	169	94	67	47	28	59
	女性	100.0	44.7	23.2	14.1	34.0	24.2	11.4	35.0	19.5	13.9	9.7	5.8	12.2
	無回答	388	138	102	54	102	80	48	147	92	40	26	14	42
		100.0	35.6	26.3	13.9	26.3	20.6	12.4	37.9	23.7	10.3	6.7	3.6	10.8
大 学	男性	21	3	1	1	3	3	-	3	3	-	2	2	9
	女性	100.0	14.3	4.8	4.8	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	9.5	9.5	42.9
	無回答	1134	171	309	327	452	105	119	229	389	191	194	31	91
		100.0	15.1	27.2	28.8	39.9	9.3	10.5	20.2	34.3	16.8	17.1	2.7	8.0
大 学	男性	630	111	166	161	265	61	63	128	202	106	101	20	53
	女性	100.0	17.6	26.3	25.6	42.1	9.7	10.0	20.3	32.1	16.8	16.0	3.2	8.4
	無回答	493	58	140	164	183	44	55	96	185	85	92	9	36
		100.0	11.8	28.4	33.3	37.1	8.9	11.2	19.5	37.5	17.2	18.7	1.8	7.3
大 学	男性	11	2	3	2	4	-	1	5	2	-	1	2	2
	女性	100.0	18.2	27.3	18.2	36.4	-	9.1	45.5	18.2	-	9.1	18.2	18.2
	無回答	1123	83	316	427	525	49	62	223	520	286	207	19	62
		100.0	7.4	28.1	38.0	46.7	4.4	5.5	19.9	46.3	25.5	18.4	1.7	5.5
大 学	男性	453	52	96	133	195	27	39	102	165	90	90	9	36
	女性	100.0	11.5	21.2	29.4	43.0	6.0	8.6	22.5	36.4	19.9	19.9	2.0	7.9
	無回答	654	28	216	286	323	21	23	119	346	190	116	10	24
		100.0	4.3	33.0	43.7	49.4	3.2	3.5	18.2	52.9	29.1	17.7	1.5	3.7
大 学	男性	16	3	4	8	7	1	-	2	9	6	1	-	2
	女性	100.0	18.8	25.0	50.0	43.8	6.3	-	12.5	56.3	37.5	6.3	-	12.5
	無回答	1123	83	316	427	525	49	62	223	520	286	207	19	62
		100.0	7.4	28.1	38.0	46.7	4.4	5.5	19.9	46.3	25.5	18.4	1.7	5.5

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[B] 対話教材を通じて

	合 計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分るよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく	読解力が 落ちる	無回答
**【 総 数 】**	3149 100.0	1887 59.9	314 10.0	269 8.5	594 18.9	1464 46.5	175 5.6	378 12.0	286 9.1	457 14.5	139 4.4	103 3.3	351 11.1
【 属 性 】													
男 性	1566 100.0	868 55.4	174 11.1	142 9.1	319 20.4	732 46.7	92 5.9	184 11.7	135 8.6	219 14.0	83 5.3	68 4.3	203 13.0
女 性	1535 100.0	999 65.1	137 8.9	127 8.3	268 17.5	717 46.7	79 5.1	189 12.3	145 9.4	236 15.4	53 3.5	34 2.2	133 8.7
無回答	48 100.0	20 41.7	3 6.3	-	7 14.6	15 31.3	4 8.3	5 10.4	6 12.5	2 4.2	3 6.3	1 2.1	15 31.3
中 学 - 合 計	892	484	139	96	205	420	67	130	116	141	48	39	122
男 性	100.0	54.3	15.6	10.8	23.0	47.1	7.5	14.6	13.0	15.8	5.4	4.4	13.7
女 性	483	248	82	62	118	223	36	71	59	72	32	25	71
無回答	388	232	57	34	84	191	30	58	56	69	14	14	41
無回答	100.0	59.8	14.7	8.8	21.6	49.2	7.7	14.9	14.4	17.8	3.6	3.6	10.6
	21	4	-	-	3	6	1	1	1	-	2	-	10
100.0	19.0	19.0	-	-	14.3	28.6	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-	47.6
高 校 - 合 計	1134	661	88	80	170	531	71	95	66	140	44	35	143
男 性	100.0	58.3	7.8	7.1	15.0	46.8	6.3	8.4	5.8	12.3	3.9	3.1	12.6
女 性	630	354	54	47	104	299	36	57	38	80	26	30	82
無回答	493	300	33	33	64	228	33	38	26	59	18	4	59
無回答	100.0	60.9	6.7	6.7	13.0	46.2	6.7	7.7	5.3	12.0	3.7	0.8	12.0
	11	7	1	-	2	4	2	-	2	1	-	1	2
100.0	63.6	63.6	9.1	-	18.2	36.4	18.2	-	18.2	9.1	-	9.1	18.2
大 学 - 合 計	1123	742	87	93	219	513	37	153	104	176	47	29	86
男 性	100.0	66.1	7.7	8.3	19.5	45.7	3.3	13.6	9.3	15.7	4.2	2.6	7.7
女 性	453	266	38	33	97	210	20	56	38	67	25	13	50
無回答	654	467	47	60	120	298	16	93	63	108	21	16	33
無回答	100.0	71.4	7.2	9.2	18.3	45.6	2.4	14.2	9.6	16.5	3.2	2.4	5.0
	16	9	2	-	2	5	1	4	3	1	1	-	3
100.0	56.3	56.3	12.5	-	12.5	31.3	6.3	25.0	18.8	6.3	6.3	-	18.8

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[C] 語彙が増えることにより

**【 総 数 】**	合 計		話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かるよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につか ない	読解力が 落ちる	無回答
	3149 100.0	1087 34.5	156 5.0	128 4.1	616 19.6	471 15.0	376 11.9	1888 60.0	231 7.3	136 4.3	161 5.1	230 7.3	357 11.3	
【 属 性 】	男性	1566 100.0	507 32.4	90 5.7	83 5.3	329 21.0	219 14.0	205 13.1	881 56.3	111 7.1	74 4.7	98 6.3	132 8.4	189 12.1
	女性	1535 100.0	567 36.9	64 4.2	44 2.9	284 18.5	243 15.8	166 10.8	991 64.6	114 7.4	60 3.9	63 4.1	97 6.3	152 9.9
	無回答	48 100.0	13 27.1	2 4.2	1 2.1	3 6.3	9 18.8	5 10.4	16 33.3	6 12.5	2 4.2	- 2.1	1 2.1	16 33.3
中 学 - 合 計	892 100.0	188 21.1	49 5.5	55 6.2	184 20.6	100 11.2	164 18.4	388 43.5	81 9.1	49 5.5	69 7.7	87 9.8	176 19.7	
	男性	483 100.0	108 22.4	28 5.8	35 7.2	110 22.8	58 12.0	80 16.6	211 43.7	41 8.5	32 6.6	44 9.1	53 11.0	92 19.0
	女性	388 100.0	80 20.6	20 5.2	20 5.2	73 18.8	40 10.3	80 20.6	175 45.1	38 9.8	16 4.1	25 6.4	34 8.8	72 18.6
	無回答	21 100.0	- -	1 4.8	- -	1 4.8	2 9.5	4 19.0	2 9.5	2 9.5	1 4.8	- -	- -	12 57.1
高 校 - 合 計	1134 100.0	319 28.1	53 4.7	34 3.0	223 19.7	116 10.2	144 12.7	691 60.9	64 5.6	36 3.2	66 5.8	103 9.1	124 10.9	
	男性	630 100.0	197 31.3	35 5.6	26 4.1	141 22.4	76 12.1	81 12.9	384 61.0	35 5.6	29 4.6	40 6.3	59 10.6	67 10.6
	女性	493 100.0	120 24.3	17 3.4	7 1.4	82 16.6	37 7.5	62 12.6	304 61.7	27 5.5	7 1.4	26 5.3	43 8.7	54 11.0
	無回答	11 100.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1	- -	3 27.3	1 9.1	3 27.3	2 18.2	- -	- 9.1	1 27.3	3 27.3
大 学 - 合 計	1123 100.0	580 51.6	54 4.8	39 3.5	209 18.6	255 22.7	68 6.1	809 72.0	86 7.7	51 4.5	26 2.3	40 3.6	57 5.1	
	男性	453 100.0	202 44.6	27 6.0	22 4.9	78 17.2	85 18.8	44 9.7	286 63.1	35 7.7	13 2.9	14 3.1	20 4.4	30 6.6
	女性	654 100.0	367 56.1	27 4.1	17 2.6	129 19.7	166 25.4	24 3.7	512 78.3	49 7.5	37 5.7	12 1.8	20 3.1	26 4.0
	無回答	16 100.0	11 68.8	- -	- -	2 12.5	4 25.0	- -	11 68.8	2 12.5	1 6.3	- -	- -	1 6.3

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[D] 教材の語彙が難しいので

属性	合計	話す力が身につく	登場人物の気持ちや関係性が分かるようになる	人の生き方や考え方を学べる	思考力が身につく	聴く力が身につく	文章を作るのが難しい	文章が作られるようになる	世界の変化や言語への関心が高まる	自分と違う意見を聞き入れられる	話す力が身につかない	読解力が落ちる	無回答
男女別	3149 100.0	77 2.4	41 1.3	49 1.6	379 12.0	75 2.4	1198 38.0	141 4.5	68 2.2	60 1.9	644 20.5	1136 36.1	619 19.7
【属性】													
男性	1566 100.0	53 3.4	33 2.1	34 2.2	189 12.1	51 3.3	597 38.1	89 5.7	44 2.8	40 2.6	339 21.6	503 32.1	327 20.9
女性	1535 100.0	22 1.4	8 0.5	14 0.9	185 12.1	21 1.4	593 38.6	51 3.3	20 1.3	20 1.3	299 19.5	624 40.7	269 17.5
無回答	48 100.0	2 4.2	-	1 2.1	5 10.4	3 6.3	8 16.7	1 2.1	4 8.3	-	6 12.5	9 18.8	23 47.9
中学 - 合計	892 100.0	40 4.5	26 2.9	31 3.5	93 10.4	47 5.3	337 37.8	56 6.3	41 4.6	36 4.0	186 20.9	236 26.5	236 26.5
男性	483 100.0	28 5.8	23 4.8	24 5.0	53 11.0	33 6.8	181 37.5	39 8.1	29 6.0	25 5.2	108 22.4	119 24.6	121 25.1
女性	388 100.0	12 3.1	3 0.8	6 1.5	40 10.3	12 3.1	154 39.7	17 4.4	9 2.3	11 2.8	78 20.1	117 30.2	101 26.0
無回答	21 100.0	-	-	1 4.8	-	2 9.5	2 9.5	-	3 14.3	-	-	-	14 66.7
高校 - 合計	1134 100.0	26 2.3	12 1.1	12 1.1	133 11.7	19 1.7	479 42.2	51 4.5	12 1.1	17 1.5	220 19.4	404 35.6	204 18.0
男性	630 100.0	21 3.3	8 1.3	7 1.1	82 13.0	14 2.2	262 41.6	35 5.6	6 1.0	10 1.6	115 18.3	213 33.8	117 18.6
女性	493 100.0	5 1.0	4 0.8	5 1.0	49 9.9	5 1.0	215 43.6	16 3.2	5 1.0	7 1.4	103 20.9	185 37.5	83 16.8
無回答	11 100.0	-	-	-	2 18.2	-	2 18.2	-	1 9.1	-	2 18.2	6 54.5	4 36.4
大学 - 合計	1123 100.0	11 1.0	3 0.3	6 0.5	153 13.6	9 0.8	382 34.0	34 3.0	15 1.3	7 0.6	238 21.2	496 44.2	179 15.9
男性	453 100.0	4 0.9	2 0.4	3 0.7	54 11.9	4 0.9	154 34.0	15 3.3	9 2.0	5 1.1	116 25.6	171 37.7	89 19.6
女性	654 100.0	5 0.8	1 0.2	3 0.5	96 14.7	4 0.6	224 34.3	18 2.8	6 0.9	2 0.3	118 18.0	322 49.2	85 13.0
無回答	16 100.0	2 12.5	-	-	3 18.8	1 6.3	4 25.0	1 6.3	-	-	4 25.0	3 18.8	5 31.3

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[E] 表現活動をするので

**【 総 数 】**		合 計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく	読解力が 落ちる	無回答
【 属 性 】	男性	3149	1671	148	372	1063	694	258	1284	224	647	82	66	460
	女性	100.0	53.1	4.7	11.8	33.8	22.0	8.2	40.8	7.1	20.5	2.6	2.1	14.6
	無回答													
		1566	740	85	181	496	332	140	575	115	276	56	47	274
中 学	男性	100.0	47.3	5.4	11.6	31.7	21.2	8.9	36.7	7.3	17.6	3.6	3.0	17.5
	女性	1535	917	61	186	553	353	115	693	105	366	26	18	168
	無回答	100.0	59.7	4.0	12.1	36.0	23.0	7.5	45.1	6.8	23.8	1.7	1.2	10.9
		48	14	2	5	14	9	3	16	4	5	-	1	18
高 校	男性	100.0	29.2	4.2	10.4	29.2	18.8	6.3	33.3	8.3	10.4	-	2.1	37.5
	女性	892	373	82	109	240	226	96	293	67	157	37	30	171
	無回答	100.0	41.8	9.2	12.2	26.9	25.3	10.8	32.8	7.5	17.6	4.1	3.4	19.2
		483	178	47	64	134	116	65	142	40	81	30	22	99
大 学	男性	100.0	36.9	9.7	13.3	27.7	24.0	13.5	29.4	8.3	16.8	6.2	4.6	20.5
	女性	388	193	34	45	103	107	31	147	27	75	7	8	60
	無回答	100.0	49.7	8.8	11.6	26.5	27.6	8.0	37.9	7.0	19.3	1.8	2.1	15.5
		21	2	1	-	3	3	-	4	-	1	-	-	12
高 校	男性	100.0	9.5	4.8	-	14.3	14.3	-	19.0	-	4.8	-	-	57.1
	女性	1134	545	33	114	327	231	106	415	68	219	28	27	206
	無回答	100.0	48.1	2.9	10.1	28.8	20.4	9.3	36.6	6.0	19.3	2.5	2.4	18.2
		630	286	27	65	184	131	53	231	43	117	16	19	124
大 学	男性	100.0	45.4	4.3	10.3	29.2	20.8	8.4	36.7	6.8	18.6	2.5	3.0	19.7
	女性	493	257	6	48	140	98	52	180	23	100	12	7	79
	無回答	100.0	52.1	1.2	9.7	28.4	19.9	10.5	36.5	4.7	20.3	2.4	1.4	16.0
		11	2	-	1	3	2	1	4	2	2	-	1	3
大 学	男性	100.0	18.2	-	9.1	27.3	18.2	9.1	36.4	18.2	18.2	-	9.1	27.3
	女性	1123	753	33	149	496	237	56	576	89	271	17	9	83
	無回答	100.0	67.1	2.9	13.3	44.2	21.1	5.0	51.3	7.9	24.1	1.5	0.8	7.4
		453	276	11	52	178	85	22	202	32	78	10	6	51
大 学	男性	100.0	60.9	2.4	11.5	39.3	18.8	4.9	44.6	7.1	17.2	2.2	1.3	11.3
	女性	654	467	21	93	310	148	32	366	55	191	7	3	29
	無回答	100.0	71.4	3.2	14.2	47.4	22.6	4.9	56.0	8.4	29.2	1.1	0.5	4.4
		16	10	1	4	8	4	2	8	2	2	-	-	3
大 学	男性	100.0	62.5	6.3	25.0	50.0	25.0	12.5	50.0	12.5	12.5	-	-	18.8
	女性													
	無回答													

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
 [F] 場面に応じた基本表現を学ぶ

**【 総 数 】**	合 計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分るよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく 落ちる	読解力が 落ちる	無回答
【 属 性 】	3149	1339	419	297	782	437	123	758	276	293	102	65	541
	100.0	42.5	13.3	9.4	24.8	13.9	3.9	24.1	8.8	9.3	3.2	2.1	17.2
	1566	591	216	165	446	219	76	358	136	159	61	47	310
	100.0	37.7	13.8	10.5	28.5	14.0	4.9	22.9	8.7	10.2	3.9	3.0	19.8
中 学	1535	737	200	126	327	210	44	391	136	129	39	16	214
	100.0	48.0	13.0	8.2	21.3	13.7	2.9	25.5	8.9	8.4	2.5	1.0	13.9
	48	11	3	6	9	8	3	9	4	5	2	2	17
	100.0	22.9	6.3	12.5	18.8	16.7	6.3	18.8	8.3	10.4	4.2	4.2	35.4
中 学 - 合 計	892	265	159	119	232	147	60	167	97	109	40	32	210
	100.0	29.7	17.8	13.3	26.0	16.5	6.7	18.7	10.9	12.2	4.5	3.6	23.5
	483	135	86	67	145	83	40	86	58	67	27	23	116
	100.0	28.0	17.8	13.9	30.0	17.2	8.3	17.8	12.0	13.9	5.6	4.8	24.0
高 校	388	128	73	50	85	62	19	79	39	41	12	9	82
	100.0	33.0	18.8	12.9	21.9	16.0	4.9	20.4	10.1	10.6	3.1	2.3	21.1
	21	2	-	2	2	2	1	2	-	1	1	-	12
	100.0	9.5	-	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	-	4.8	4.8	-	57.1
高 校 - 合 計	1134	445	126	92	283	110	41	281	73	86	40	25	214
	100.0	39.2	11.1	8.1	25.0	9.7	3.6	24.8	6.4	7.6	3.5	2.2	18.9
	630	237	72	55	180	60	22	165	44	53	21	20	127
	100.0	37.6	11.4	8.7	28.6	9.5	3.5	26.2	7.0	8.4	3.3	3.2	20.2
大 学	493	205	53	36	101	49	17	116	28	33	18	3	84
	100.0	41.6	10.8	7.3	20.5	9.9	3.4	23.5	5.7	6.7	3.7	0.6	17.0
	11	3	1	1	2	1	2	-	1	-	1	2	3
	100.0	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	-	9.1	-	9.1	18.2	27.3
大 学 - 合 計	1123	629	134	86	267	180	22	310	106	98	22	8	117
	100.0	56.0	11.9	7.7	23.8	16.0	2.0	27.6	9.4	8.7	2.0	0.7	10.4
	453	219	58	43	121	76	14	107	34	39	13	4	67
	100.0	48.3	12.8	9.5	26.7	16.8	3.1	23.6	7.5	8.6	2.9	0.9	14.8
大 学 - 女 性	654	404	74	40	141	99	8	196	69	55	9	4	48
	100.0	61.8	11.3	6.1	21.6	15.1	1.2	30.0	10.6	8.4	1.4	0.6	7.3
	16	6	2	3	5	5	-	7	3	4	-	-	2
	100.0	37.5	12.5	18.8	31.3	31.3	-	43.8	18.8	25.0	-	-	12.5

【語学教育に関するアンケート】

Q19-1. 英語の授業について  
[G] 表現活動が少ないので

合 計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かるよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく ない	読解力が 落ちる	無回答
**【 総 数 】**	3149 100.0	68 2.2	41 1.3	30 1.0	69 2.2	67 2.1	668 21.2	50 1.6	45 1.4	36 1.1	674 21.4	517 16.4
【 属 性 】												
男 性	1566 100.0	45 2.9	35 2.2	23 1.5	51 3.3	39 2.5	317 20.2	34 2.2	33 2.1	30 1.9	377 24.1	290 18.5
女 性	1535 100.0	22 1.4	6 0.4	6 0.4	16 1.0	25 1.6	344 22.4	15 1.0	11 0.7	5 0.3	291 19.0	210 13.7
無回答	48 100.0	1 2.1	-	1 2.1	2 4.2	3 6.3	7 14.6	1 2.1	1 2.1	1 2.1	6 12.5	17 35.4
中 学 - 合 計	892 100.0	32 3.6	27 3.0	15 1.7	40 4.5	37 4.1	155 17.4	24 2.7	23 2.6	25 2.8	254 28.5	234 26.2
男 性	483 100.0	23 4.8	25 5.2	14 2.9	30 6.2	22 4.6	84 17.4	16 3.3	19 3.9	21 4.3	233 30.0	126 26.1
女 性	388 100.0	9 2.3	2 0.5	-	8 2.1	12 3.1	69 17.8	8 2.1	4 1.0	3 0.8	107 27.6	97 25.0
無回答	21 100.0	-	-	1 4.8	2 9.5	3 14.3	2 9.5	-	-	1 4.8	2 9.5	11 52.4
高 校 - 合 計	1134 100.0	27 2.4	12 1.1	10 0.9	20 1.8	18 1.6	205 18.1	20 1.8	16 1.4	9 0.8	219 19.3	187 16.5
男 性	630 100.0	19 3.0	8 1.3	7 1.1	14 2.2	12 1.9	114 18.1	15 2.4	9 1.4	8 1.3	136 21.6	110 17.5
女 性	493 100.0	7 1.4	4 0.8	3 0.6	6 1.2	6 1.2	89 18.1	4 0.8	6 1.2	1 0.2	81 16.4	74 15.0
無回答	11 100.0	1 9.1	-	-	-	-	2 18.2	1 9.1	1 9.1	-	2 18.2	3 27.3
大 学 - 合 計	1123 100.0	9 0.8	2 0.2	5 0.4	9 0.8	12 1.1	308 27.4	6 0.5	6 0.5	2 0.2	201 17.9	96 8.5
男 性	453 100.0	3 0.7	2 0.4	2 0.4	7 1.5	5 1.1	119 26.3	3 0.7	5 1.1	1 0.2	96 21.2	54 11.9
女 性	654 100.0	6 0.9	-	3 0.5	2 0.3	7 1.1	186 28.4	3 0.5	1 0.2	1 0.2	103 15.7	39 6.0
無回答	16 100.0	-	-	-	-	-	3 18.8	-	-	-	2 12.5	3 18.8



【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
[A] 読み物教材を通じて

**【総数】**		合計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分るよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につか ない	読解力が 落ちる	無回答
【属性】	男性	1566	417	754	684	683	162	65	375	382	481	59	47	228
	女性	1535	249	1020	912	684	106	28	306	24.4	30.7	3.8	3.0	14.6
	無回答	48	12	15	16	20	4	1	9	29.4	37.7	2.8	1.2	8.2
		100.0	25.0	31.3	33.3	41.7	8.3	2.1	18.8	22.9	20.8	-	2.1	31.3
中学 - 合計	男性	892	330	442	309	335	156	54	232	159	198	30	31	123
	女性	483	197	204	127	188	89	37	129	17.8	22.2	3.4	3.5	13.8
	無回答	388	129	235	180	143	64	16	100	15.7	19.0	4.3	4.3	15.3
		100.0	33.2	60.6	46.4	36.9	16.5	4.1	25.8	21.4	27.1	2.3	2.6	10.1
高校 - 合計	男性	1134	216	676	624	530	72	26	215	326	414	44	28	106
	女性	630	139	342	330	297	45	19	134	28.7	36.5	3.9	2.5	9.3
	無回答	493	75	331	289	227	27	7	79	183	183	26	22	65
		100.0	15.2	67.1	58.6	46.0	5.5	1.4	16.0	28.4	37.1	3.7	1.0	7.9
大学 - 合計	男性	1123	132	671	679	522	44	14	243	27.3	27.3	-	9.1	18.2
	女性	453	81	208	227	198	28	9	112	32.0	40.8	2.5	0.6	12.5
	無回答	654	45	454	443	314	15	5	127	27.2	35.5	2.6	0.9	19.6
		100.0	6.9	69.4	67.7	48.0	2.3	0.8	19.4	34.9	44.5	2.4	0.5	7.3
大学 - 合計	男性	1123	132	671	679	522	44	14	243	27.3	27.3	-	9.1	18.2
	女性	453	81	208	227	198	28	9	112	32.0	40.8	2.5	0.6	12.5
	無回答	654	45	454	443	314	15	5	127	27.2	35.5	2.6	0.9	19.6
		100.0	6.9	69.4	67.7	48.0	2.3	0.8	19.4	34.9	44.5	2.4	0.5	7.3

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
[B] 対話教材を通じて

	合計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かる ようになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につか ない	読解力が 落ちる	無回答
※【総数】**	3149 100.0	1300 41.3	566 18.0	567 18.0	728 23.1	825 26.2	81 2.6	334 10.6	264 8.4	672 21.3	73 2.3	82 2.6	636 20.2
【属性】													
男性	1566 100.0	644 41.1	278 17.8	260 16.6	371 23.7	447 28.5	54 3.4	178 11.4	139 8.9	285 18.2	52 3.3	47 3.0	337 21.5
女性	1535 100.0	642 41.8	281 18.3	304 19.8	349 22.7	367 23.9	26 1.7	152 9.9	121 7.9	381 24.8	19 1.2	34 2.2	282 18.4
無回答	48 100.0	14 29.2	7 14.6	3 6.3	8 16.7	11 22.9	1 2.1	4 8.3	4 8.3	6 12.5	2 4.2	1 2.1	17 35.4
中学 - 合計	892 100.0	357 40.0	192 21.5	151 16.9	225 25.2	304 34.1	45 5.0	121 13.6	103 11.5	177 19.8	29 3.3	33 3.7	176 19.7
男性	483 100.0	199 41.2	94 19.5	78 16.1	125 25.9	173 35.8	31 6.4	73 15.1	57 11.8	79 16.4	26 5.4	20 4.1	91 18.8
女性	388 100.0	156 40.2	94 24.2	72 18.6	98 25.3	128 33.0	13 3.4	48 12.4	45 11.6	98 25.3	2 0.5	12 3.1	75 19.3
無回答	21 100.0	2 9.5	4 19.0	1 4.8	2 9.5	3 14.3	1 4.8	-	1 4.8	-	1 4.8	1 4.8	10 47.6
高校 - 合計	1134 100.0	445 39.2	173 15.3	193 17.0	247 21.8	288 25.4	24 2.1	81 7.1	69 6.1	222 19.6	26 2.3	23 2.0	249 22.0
男性	630 100.0	259 41.1	98 15.6	100 15.9	140 22.2	171 27.1	16 2.5	50 7.9	46 7.3	113 17.9	17 2.7	15 2.4	138 21.9
女性	493 100.0	182 36.9	74 15.0	93 18.9	106 21.5	112 22.7	8 1.6	30 6.1	22 4.5	106 21.5	8 1.6	8 1.6	108 21.9
無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	-	1 9.1	5 45.5	-	1 9.1	1 9.1	3 27.3	1 9.1	-	3 27.3
大学 - 合計	1123 100.0	498 44.3	201 17.9	223 19.9	256 22.8	233 20.7	12 1.1	132 11.8	92 8.2	273 24.3	18 1.6	26 2.3	211 18.8
男性	453 100.0	186 41.1	86 19.0	82 18.1	106 23.4	103 22.7	7 1.5	55 12.1	36 7.9	93 20.5	9 2.0	12 2.6	108 23.8
女性	654 100.0	304 46.5	113 17.3	139 21.3	145 22.2	127 19.4	5 0.8	74 11.3	54 8.3	177 27.1	9 1.4	14 2.1	99 15.1
無回答	16 100.0	8 50.0	2 12.5	2 12.5	5 31.3	3 18.8	-	3 18.8	2 12.5	3 18.8	-	-	4 25.0

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
〔C〕語彙が増えることにより

	合 計	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分るよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく ない	読解力が 落ちる	無回答
＊＊【 総 数 】＊＊	3149 100.0	964 30.6	221 7.0	239 7.6	897 28.5	298 9.5	276 8.8	1528 48.5	229 7.3	226 7.2	95 3.0	178 5.7	558 17.7
【 属 性 】													
男 性	1566 100.0	440 28.1	112 7.2	132 8.4	424 27.1	161 10.3	143 9.1	741 47.3	115 7.3	113 7.2	66 4.2	91 5.8	306 19.5
女 性	1535 100.0	511 33.3	106 6.9	103 6.7	466 30.4	130 8.5	130 8.5	776 50.6	112 7.3	111 7.2	28 1.8	87 5.7	234 15.2
無回答	48 100.0	13 27.1	3 6.3	4 8.3	7 14.6	7 14.6	3 6.3	11 22.9	2 4.2	2 4.2	1 2.1	- 37.5	18 37.5
中 学 - 合 計	892 100.0	172 19.3	77 8.6	78 8.7	223 25.0	90 10.1	125 14.0	339 38.0	75 8.4	69 7.7	50 5.6	65 7.3	201 22.5
男 性	483 100.0	93 19.3	43 8.9	52 10.8	126 26.1	56 11.6	70 14.5	182 37.7	47 9.7	39 8.1	34 7.0	41 8.5	108 22.4
女 性	388 100.0	79 20.4	33 8.5	24 6.2	96 24.7	31 8.0	54 13.9	154 39.7	28 7.2	29 7.5	16 4.1	24 6.2	82 21.1
無回答	21 100.0	- -	1 4.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3	1 4.8	3 14.3	- -	1 4.8	- -	- -	11 52.4
高 校 - 合 計	1134 100.0	329 29.0	60 5.3	62 5.5	325 28.7	78 6.9	100 8.8	559 49.3	60 5.3	60 5.3	35 3.1	83 7.3	184 16.2
男 性	630 100.0	186 29.5	31 4.9	39 6.2	183 29.0	55 8.7	48 7.6	329 52.2	34 5.4	37 5.9	25 4.0	35 5.6	95 15.1
女 性	493 100.0	139 28.2	28 5.7	23 4.7	142 28.8	21 4.3	51 10.3	228 46.2	25 5.1	22 4.5	9 1.8	48 9.7	85 17.2
無回答	11 100.0	4 36.4	1 9.1	- -	- -	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	- 36.4	4 36.4
大 学 - 合 計	1123 100.0	463 41.2	84 7.5	99 8.8	349 31.1	130 11.6	51 4.5	630 56.1	94 8.4	97 8.6	10 0.9	30 2.7	173 15.4
男 性	453 100.0	161 35.5	38 8.4	41 9.1	115 25.4	50 11.0	25 5.5	230 50.8	34 7.5	37 8.2	7 1.5	15 3.3	103 22.7
女 性	654 100.0	293 44.8	45 6.9	56 8.6	228 34.9	78 11.9	25 3.8	394 60.2	59 9.0	60 9.2	3 0.5	15 2.3	67 10.2
無回答	16 100.0	9 56.3	1 6.3	2 12.5	6 37.5	2 12.5	1 6.3	6 37.5	1 6.3	- -	- -	- -	3 18.8

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
[D] 教材の語彙が難しいので

合 計		話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分るよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく ない	読解力が 落ちる	無回答
【 属 性 】	**【 総 数 】**	3149 100.0	55 1.7	98 3.1	496 15.8	110 3.5	858 27.2	193 6.1	97 3.1	74 2.3	369 11.7	994 31.6	797 25.3
	男 性	1566 100.0	45 2.9	71 4.5	246 15.7	69 4.4	447 28.5	126 8.0	66 4.2	51 3.3	191 12.2	410 26.2	426 27.2
	女 性	1535 100.0	10 0.7	25 1.6	243 15.8	39 2.5	402 26.2	66 4.3	29 1.9	21 1.4	173 11.3	573 37.3	350 22.8
	無回答	48 100.0	-	2 4.2	7 14.6	2 4.2	9 18.8	1 2.1	2 4.2	2 4.2	5 10.4	11 22.9	21 43.8
中 学 -	合 計	892 100.0	24 2.7	49 5.5	130 14.6	55 6.2	280 31.4	64 7.2	46 5.2	34 3.8	130 14.6	209 23.4	248 27.8
	男 性	483 100.0	19 3.9	38 7.9	72 14.9	38 7.9	155 32.1	41 8.5	37 7.7	26 5.4	70 14.5	101 20.9	131 27.1
	女 性	388 100.0	5 1.3	10 2.6	54 13.9	16 4.1	123 31.7	23 5.9	8 2.1	8 2.1	59 15.2	106 27.3	105 27.1
	無回答	21 100.0	-	1 4.8	4 19.0	1 4.8	2 9.5	-	1 4.8	-	1 4.8	2 9.5	12 57.1
高 校 -	合 計	1134 100.0	17 1.5	25 2.2	181 16.0	32 2.8	314 27.7	64 5.6	25 2.2	17 1.5	116 10.2	366 32.3	285 25.1
	男 性	630 100.0	15 2.4	20 3.2	103 16.3	17 2.7	190 30.2	50 7.9	13 2.1	13 2.1	70 11.1	176 27.9	156 24.8
	女 性	493 100.0	2 0.4	4 0.8	77 15.6	14 2.8	121 24.5	14 2.8	11 2.2	3 0.6	45 9.1	184 37.3	127 25.8
	無回答	11 100.0	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	3 27.3	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	6 54.5	2 18.2
大 学 -	合 計	1123 100.0	14 1.2	24 2.1	185 16.5	23 2.0	264 23.5	65 5.8	26 2.3	23 2.0	123 11.0	419 37.3	264 23.5
	男 性	453 100.0	11 2.4	13 2.9	71 15.7	14 3.1	102 22.5	35 7.7	16 3.5	12 2.6	51 11.3	133 29.4	139 30.7
	女 性	654 100.0	3 0.5	11 1.7	112 17.1	9 1.4	158 24.2	29 4.4	10 1.5	10 1.5	69 10.6	283 43.3	118 18.0
	無回答	16 100.0	-	-	2 12.5	-	4 25.0	1 6.3	-	1 6.3	3 18.8	3 18.8	7 43.8

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
[E] 表現活動をするので

*【 総 数 】**	合 計										無回答
	話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かるよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につか ない	読解力が 落ちる
3149 100.0	1430 45.4	215 6.8	487 15.5	1038 33.0	512 16.3	158 5.0	1159 36.8	237 7.5	706 22.4	66 2.1	606 19.2
【 属 性 】											
男性	1566	654	249	494	260	88	551	133	323	39	32
女性	100.0	41.8	15.9	31.5	16.6	5.6	35.2	8.5	20.6	2.5	2.0
無回答	1535	763	234	530	243	69	596	100	377	26	17
	100.0	49.7	15.2	34.5	15.8	4.5	38.8	6.5	24.6	1.7	1.1
	48	13	4	14	9	1	12	4	6	1	1
	100.0	27.1	8.3	29.2	18.8	2.1	25.0	8.3	12.5	2.1	2.1
中 学 - 合 計	892	332	136	241	180	71	286	81	189	33	19
男性	100.0	37.2	15.2	27.0	20.2	8.0	32.1	9.1	21.2	3.7	2.1
女性	483	161	79	126	89	48	150	53	99	23	13
無回答	100.0	33.3	16.4	26.1	18.4	9.9	31.1	11.0	20.5	4.8	2.7
	388	171	56	113	88	23	135	27	90	9	5
	100.0	44.1	14.4	29.1	22.7	5.9	34.8	7.0	23.2	2.3	1.3
	21	-	1	2	3	-	1	1	-	1	1
	100.0	-	4.8	9.5	14.3	-	4.8	4.8	-	4.8	61.9
高 校 - 合 計	1134	495	166	356	171	57	403	78	244	24	19
男性	100.0	43.7	14.6	31.4	15.1	5.0	35.5	6.9	21.5	2.1	1.7
女性	630	270	94	200	103	32	234	52	133	14	15
無回答	100.0	42.9	14.9	31.7	16.3	5.1	37.1	8.3	21.1	2.2	2.4
	493	222	71	152	64	25	166	24	108	10	4
	100.0	45.0	14.4	30.8	13.0	5.1	33.7	4.9	21.9	2.0	0.8
	11	3	1	4	4	-	3	2	3	-	2
	100.0	27.3	9.1	36.4	36.4	-	27.3	18.2	27.3	-	18.2
大 学 - 合 計	1123	603	185	441	161	30	470	78	273	9	12
男性	100.0	53.7	16.5	39.3	14.3	2.7	41.9	6.9	24.3	0.8	1.1
女性	453	223	76	168	68	8	167	28	91	2	4
無回答	100.0	49.2	16.8	37.1	15.0	1.8	36.9	6.2	20.1	0.4	0.9
	654	370	107	265	91	21	295	4.2	179	7	8
	100.0	56.6	16.4	40.5	13.9	3.2	45.1	7.5	27.4	1.1	1.2
	16	10	2	8	2	1	8	1	3	-	4
	100.0	62.5	12.5	50.0	12.5	6.3	50.0	6.3	18.8	-	25.0

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
 [F] 場面に応じた基本表現を学ぶ

**【 総 数 】**	合 計		話す力が 身につく	登場人物 の気持ち が分かるよ うになる	人の生き 方や考え 方を学べ る	思考力が 身につく	聴く力が 身につく	文章を作 るのが難 しい	文章が作 れるよう になる	世界の文 化や言語 への関心 が高まる	自分と違 う意見を 知り受入 れられる	話す力が 身につく ない	読解力が 落ちる	無回答
	3149 100.0	1113 35.3	446 14.2	397 12.6	773 24.5	316 10.0	98 3.1	715 22.7	222 7.0	354 11.2	67 2.1	62 2.0	729 23.2	
【 属 性 】	男性	1566	487	235	228	422	188	67	363	118	190	41	35	398
	女性	100.0	31.1	15.0	14.6	26.9	12.0	4.3	23.2	7.5	12.1	2.6	2.2	25.4
	無回答	1535	613	209	165	344	120	28	346	102	160	26	27	307
		100.0	39.9	13.6	10.7	22.4	7.8	1.8	22.5	6.6	10.4	1.7	1.8	20.0
中 学	合 計	48	13	4	7	8	16.7	3	6	2	4	-	-	24
	男性	100.0	27.1	4.2	8.3	14.6	16.7	6.3	12.5	4.2	8.3	-	-	50.0
	女性	892	230	177	146	224	127	50	176	78	131	30	29	231
	無回答	100.0	25.8	19.8	16.4	25.1	14.2	5.6	19.7	8.7	14.7	3.4	3.3	25.9
高 校	合 計	483	114	88	80	141	79	37	95	49	77	20	19	126
	男性	100.0	23.6	18.2	16.6	29.2	16.4	7.7	19.7	10.1	15.9	4.1	3.9	26.1
	女性	388	114	89	65	83	45	11	80	29	54	10	10	92
	無回答	100.0	29.4	22.9	16.8	21.4	11.6	2.8	20.6	7.5	13.9	2.6	2.6	23.7
大 学	合 計	21	2	-	1	-	3	2	1	-	-	-	-	13
	男性	100.0	9.5	-	4.8	-	14.3	9.5	4.8	-	-	-	-	61.9
	女性	1134	373	142	123	279	84	33	238	71	111	24	21	279
	無回答	100.0	32.9	12.5	10.8	24.6	7.4	2.9	21.0	6.3	9.8	2.1	1.9	24.6
大 学	合 計	630	204	89	84	165	57	21	139	41	68	14	12	155
	男性	100.0	32.4	14.1	13.3	26.2	9.0	3.3	22.1	6.5	10.8	2.2	1.9	24.6
	女性	493	166	53	39	111	25	11	98	30	43	10	9	120
	無回答	100.0	33.7	10.8	7.9	22.5	5.1	2.2	19.9	6.1	8.7	2.0	1.8	24.3
大 学	合 計	11	3	-	-	3	2	1	1	-	-	-	-	4
	男性	100.0	27.3	-	-	27.3	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	36.4
	女性	1123	510	127	128	270	105	15	301	73	112	13	12	219
	無回答	100.0	45.4	11.3	11.4	24.0	9.3	1.3	26.8	6.5	10.0	1.2	1.1	19.5
大 学	合 計	453	169	58	64	116	52	9	129	28	45	7	4	117
	男性	100.0	37.3	12.8	14.1	25.6	11.5	2.0	28.5	6.2	9.9	1.5	0.9	25.8
	女性	654	333	67	61	150	50	6	168	43	63	6	8	95
	無回答	100.0	50.9	10.2	9.3	22.9	7.6	0.9	25.7	6.6	9.6	0.9	1.2	14.5
大 学	合 計	16	8	2	3	4	3	-	4	2	4	-	-	7
	男性	100.0	50.0	12.5	18.8	25.0	18.8	-	25.0	12.5	25.0	-	-	43.8
	女性													
	無回答													

【語学教育に関するアンケート】

Q19-2. 国語の授業について  
[G] 表現活動が少ないので

※【総数】**	合計	話す力が身につく	登場人物の気持ちや分るようになる	人の生き方や考え方を学べる	思考力が身につく	聴く力が身につく	文章を作るのが難しい	文章が作られるようになる	世界の文化や言語への関心が高まる	自分と違う意見を聞き入れられる	話す力が身につかない	読解力が落ちる	無回答
【属性】													
男性	1566	56	42	35	56	54	250	47	46	49	785	385	437
女性	1535	18	12	14	24	29	303	11	11	19	50.1	24.6	27.9
無回答	48	1.2	0.8	0.9	1.6	1.9	19.7	0.7	0.7	1.2	63.3	22.1	20.9
	100.0	-	-	-	1	3	6	2	1	-	16	7	21
	100.0	-	-	-	2.1	6.3	12.5	4.2	2.1	-	33.3	14.6	43.8
中学 - 合計	892	41	38	32	39	36	138	32	40	40	403	261	254
男性	100.0	4.6	4.3	3.6	4.4	4.0	15.5	3.6	4.5	4.5	45.2	29.3	28.5
女性	483	30	30	22	27	25	72	25	33	32	194	137	138
無回答	388	11	8	10	11	9	65	5	6	8	40.2	28.4	28.6
	100.0	2.8	2.1	2.6	2.8	2.3	16.8	1.3	1.5	2.1	53.6	31.4	26.5
	21	-	-	-	1	2	1	2	1	-	1	2	13
	100.0	-	-	-	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8	-	4.8	9.5	61.9
高校 - 合計	1134	22	9	11	24	30	176	18	10	18	621	270	293
男性	100.0	1.9	0.8	1.0	2.1	2.6	15.5	1.6	0.9	1.6	54.8	23.8	25.8
女性	630	18	6	8	18	20	89	12	6	11	338	154	171
無回答	100.0	2.9	1.0	1.3	2.9	3.2	14.1	1.9	1.0	1.7	53.7	24.4	27.1
	493	4	3	3	6	9	82	6	4	7	278	115	119
	100.0	0.8	0.6	0.6	1.2	1.8	16.6	1.2	0.8	1.4	56.4	23.3	24.1
	11	-	-	-	-	1	5	-	-	-	5	1	3
	100.0	-	-	-	-	9.1	45.5	-	-	-	45.5	9.1	27.3
大学 - 合計	1123	11	7	6	18	20	245	10	8	10	749	200	232
男性	100.0	1.0	0.6	0.5	1.6	1.8	21.8	0.9	0.7	0.9	66.7	17.8	20.7
女性	453	8	6	5	11	9	89	10	7	6	253	94	128
無回答	100.0	1.8	1.3	1.1	2.4	2.0	19.6	2.2	1.5	1.3	55.8	20.8	28.3
	654	3	1	1	7	11	156	-	1	4	486	102	99
	100.0	0.5	0.2	0.2	1.1	1.7	23.9	-	0.2	0.6	74.3	15.6	15.1
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	4	5
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	25.0	31.3





## ●あとかき

本研究は同じアンケート項目を中学生、高校生、大学生にほぼ同時期に答えてもらって得られたデータをもとにまとめられております。それだけにそのアンケートから得られたデータは膨大であり、それをどのようにしたら読みやすく、見やすくまた理解しやすくなるかに気を配りました。

本研究から明らかになった事がいくつかあります。発達段階別に性差もあわせた違いは、現場の先生方は経験上漠然とお気づきであったと思いますが、それが具体的数値として示されました。コミュニケーションの苦手な日本人と言われていますが、それがいつ頃から現れてくるのかも調べてみました。もっと詳しい研究はこれからだと思います。生徒・学生のもっている国語と英語に対するイメージから、国語教育と英語教育の共通点と相違点が見えて来るところもあったと思います。

平成8年度から始まった本研究の一つの区切りがようやくつきました。最初の計画では、実態調査を8年度に終わらせて、9年度からは学習者のコミュニケーション能力を阻害する要因を解明し、その研究の上に立った新しい教授法の提言をすることになっていました。しかし諸事情からだいぶ遅れてしまい、財団の関係者にもご迷惑をおかけいたしました。

また、アンケートのデータ入手に快くご協力いただいた現場の先生方には、一日も早く研究の結果をお知らせしなければと思いながら、3年の年月が過ぎてしまいましたこと、大変失礼いたしました。

今後はこのデータをもとにさらに深い考察を加えていく予定ですので、この報告書についてのご意見、今後の研究についてのご助言等をいただければ幸いに存じます。

平成12年7月  
英語小委員会幹事  
志村 修司

財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成 8 ～11 年度）

「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を  
克服するための指導法の開発」にむけて  
—学習者の意識調査とその考察—

英語小委員会

代 表 小池生夫（明海大学教授、大学英語教育学会会長）  
（練馬区大泉学園町 4-1-15）

委 員 醍醐路子（杉並区立阿佐ヶ谷中学校教頭）  
志村修司（都立小平高等学校教諭）  
高本裕迅（白百合女子大学助教授）

発 行 平成 12 年（2000）7 月

印刷所 有限会社 タナカ企画  
〒228-0021 座間市緑ヶ丘 3-46-12  
TEL (0462)51-5775

本書の一部あるいは全部を引用または複写複製する場合には、  
本書より引用したことをお断りください。





